

iVMS-5200 プロフェッショナル コン 트롤 クライアント

目次

免責事項.....	7
概要.....	9
説明.....	9
動作環境.....	9
機能モジュール.....	9
ログイン.....	15
ライブビュー.....	19
ライブビュー.....	19
ライブ ビューの開始と停止.....	23
ライブ ビューでのオート スイッチ.....	24
ライブ ビューでの PTZ 操作.....	26
手動録画とキャプチャ.....	29
インスタント再生.....	33
カスタムウィンドウ分割.....	36
フィッシュアイ モードでのライブ ビュー.....	37
モバイル端末からのビデオのライブ ビュー.....	40
ライブ ビューのその他の機能.....	42
遠隔再生.....	45
遠隔再生.....	45
通常再生.....	46
イベント再生.....	54
POS 再生	55

同期再生.....	57
VCA 再生	58
フィッシュアイ再生.....	60
E マップ管理	63
E マップ管理	63
E マップの追加	64
ホットスポット機能.....	66
ホットスポット機能.....	66
ホットスポットの追加.....	67
ホットスポットの編集.....	71
ホットスポットのプレビュー.....	72
ホットリージョン機能.....	75
ホットリージョン機能.....	75
ホットリージョンの追加.....	76
ホットリージョンの編集.....	77
ホットリージョンのプレビュー.....	77
プリセット機能.....	78
ビジネスインテリジェンス.....	81
POS ライブビュー	85
POS ライブビュー	85
POS ライブビューの開始と停止を参照してください	88
POS 検索	91
人数カウント統計.....	97
ヒートマップ.....	99

アラームセンター.....	101
アラームセンター.....	101
リソースのアラーム情報.....	102
イベント/アラーム ログの検索	105
iVMS-5200 プロのアラーム情報	106
ダウンロードセンター.....	107
ログ管理.....	111
ローカル設定.....	115
ローカル設定.....	115
一般設定.....	116
ファイル保存先パス設定.....	118
キーボードおよびジョイスティック ショートカット設定.....	119
アラーム音設定.....	120
状態検知.....	123
状態検知.....	123
物理ビュー.....	124
論理ビュー.....	124
索引.....	127

免責事項

ユーザマニュアル

COPYRIGHT ©2016 Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd.

無断複写転載等を禁ず。

文章、画像、図表を含むすべての情報は、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその子会社（以下、「Hikvision」とする）の所有するものとします。本ユーザマニュアル（以下、「本マニュアル」とする）は、Hikvisionの事前の書面による許可なく、部分的または全体的にかかわらず再生産、変更、翻訳または配布できないものとします。特に規定されていない限り、Hikvisionは明示的にせよ黙示的にせよ本マニュアルに関して一切の補償、保証または表明を行わないものとします。

本マニュアルについて

このマニュアルは iVMS-5200 Professional Control Client に適用されます。

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明だけを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されるものとします。当社ウェブサイトでの最新版を参照してください (<http://overseas.hikvision.com/en/>)。

専門の技術者の指導の下で本ユーザマニュアルをご利用ください。

商標に関する確認

HIKVISION およびその他 Hikvision の商標およびロゴは、さまざまな裁判管轄地域においても Hikvision の所有物です。以下に示されたその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。

法的免責事項

適用法により許容される範囲内で、記載の製品とそのハードウェア、ソフトウェアおよびファームウェアは、あらゆる誤謬やエラーを含め、そのままの形で提供されるものとし、HIKVISION では明示黙示を問わず一切の保証 (商品性、十分な品質、特定の目的の適合性および第三者の権利非侵害を含むがそれだけに限定されない) を行いません。HIKVISION およびその取締役、役員、従業員または代理人は、本製品の利用に関連する事業利益の損失や事業妨害、データや文書の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して、たとえ HIKVISION がそれらについて通知を受けていたとしても、一切の責任を負いません。

インターネットアクセスを伴う製品に関して、当該製品の一切の使用はお客

様自身の責任によるものとします。HIKVISIONは、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッキング、ウィルス検査やその他のセキュリティリスクから生じるその他の損害に対して一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じてHIKVISIONは適宜技術サポートを提供します。

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。本製品のご使用前に、使用地の裁判管轄地域におけるすべての関連法を確認して、必ず適用法に準拠するように利用してください。本製品が不正な目的で使用された場合に、HIKVISIONは責任を負わないものとします。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、後者が優先されます。

概要

説明

iVMS-5200 プロフェッショナル(以降、iVMS-5200 プロと略します)の主要要素の一つである iVMS-5200 コントロール クライアントは、リアルタイムライブ ビュー、PTZ 操作、ビデオの再生とダウンロード、アラーム受信、ログ照会など、複数の操作機能を提供します。

このユーザ マニュアルでは、iVMS-5200 コントロール クライアントの機能、設定、および操作手順について説明します。クライアントの適正な利用と安定性を確保するために、操作の前に、以降の内容を参照し、マニュアルを注意深く読んでください。

動作環境

オペレーティング システム: Microsoft Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2012 (32/64-bit), Windows 10 (64-bit)

CPU: Intel Core i3-530 またはそれ以上

メモリ: 4GB またはそれ以上

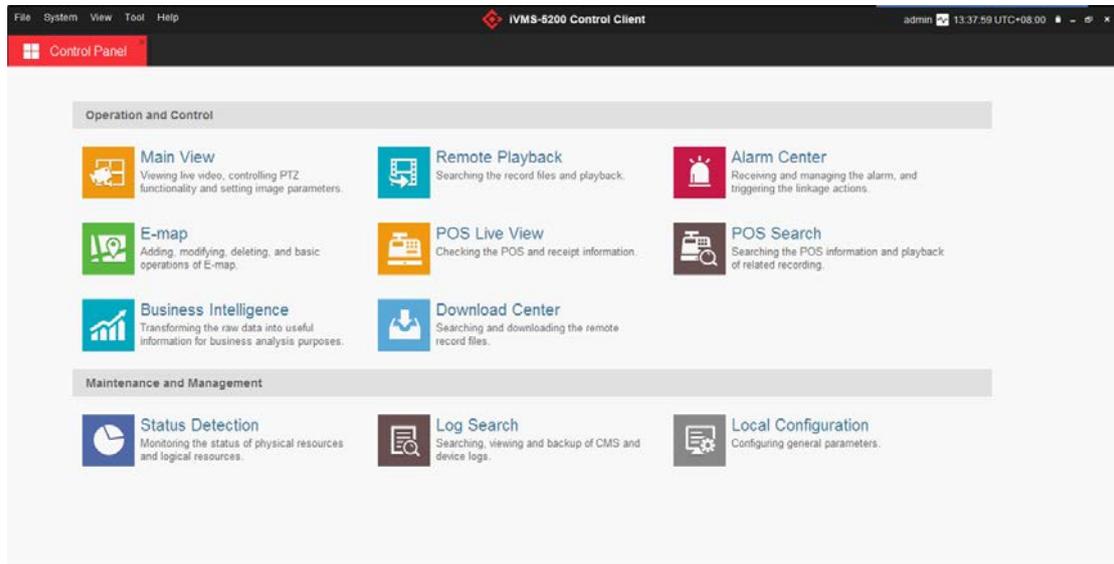
ビデオカード: Geforce GTX 240 またはそれ以上

注意: 高い安定性と、良好なパフォーマンスのために、上記のシステム要件を満たす必要があります。

機能モジュール

iVMS-5200 コントロール クライアントのコントロール パネル:

注意: コントロールパネル上に表示されるモジュールは購入したライセンスに応じて変わります。詳細情報については当社のテクニカルサポートエンジニアにお問い合わせください。



メニューバー:

ファイル	ローカル画像を開く	ローカル PC に保存されたキャプチャ画像を管理します。
	ビデオファイルを開く	ローカル PC に録画されたビデオ ファイルを管理します。
	退出	iVMS-5200 コントロール クライアントを終了します。
システム	ロック	スクリーン操作をロックします。 または右上の隅にある  をクリックしてロックすることもできます。 アンロックするには [アンロック] をクリックしてパスワードを入力します。
	設定情報の更新	システムから最新のリソースをマニュアルで取得します。
	ユーザーの切替	ログイン ユーザを切り替えます。
表示	1024*768	1024 * 768 ピクセルのサイズでウィンドウを表示します。
	1280*768	1280 * 768 ピクセルのサイズでウィンドウを表示します。
	1280*1024	1280 * 1024 ピクセルのサイズでウィンドウを表示します。
	1440*900	1440 * 900 ピクセルのサイズでウィンドウを表示します。

	1680*1050	1680 * 1050 ピクセルのサイズでウィンドウを表示します。	
	最大化	ウィンドウを最大化モード(最大化または全画面)で表示します。	
	コントロール パネル	コントロール パネル ページを開きます。	
	メインビュー	メイン ビュー ページを開きます。	
	遠隔再生	リモート再生ページを開きます。	
	アラームセン ター	アラーム センター ページを開きます。	
	E マップ	E マップ ページを開きます。	
	POS ライブビ ュー	POS ライブ ビュー ページを開きます。	
	POS 検索	POS 検索ページを開きます。	
	ビジネスイン テリジェンス	ビジネス インテリジェンス ページを開 きます。	
	ダウンロード センター	ダウンロード センター ページを開きま す。	
	補助画面プレ ビュー	補助画面のプレビュー ウィンドウを開 きます。	
		状態検知	状態検知ページ を開きます。
ログ検索		ログ検索ページを開きます。	
ローカル 設定		ローカル設定ページを開きます。	
ブロード キャスト		カメラを選択してブロードキャストを開 始します。	
アラーム 出力コン トロール	ツール	アラーム出力をオン/オフにします。	
人物カウ ント		人物カウント ページを開きます。	
ヒートマ ップ		カメラのヒート マップを生成します。	
プレイヤ ー		ローカルのビデオ ファイルを再生する プレイヤーを開きます。	
ヘルプ	ユーザーマニ ュアル (F1)	クリックしてユーザ マニュアルを開きま す; またはキーボードの F1 キーを押し て、ユーザ マニュアルを開くこともでき ます。	
	詳細	コントロール クライアントの基本情報 および接続された iVMS-5200 プロのライ センス情報を確認します。	

iVMS-5200 コントロール クライアントは以下の機能モジュールから構成されます:

	メインビュー モジュールでは、ネットワーク カメラやビデオ エンコーダのライブ ビューや、画像のキャプチャ、録画、PTZ 操作といった基本機能の一部が提供されます。
	リモート再生モジュールでは、録画ファイルの検索、再生、エクスポート機能が提供されます。
	アラーム センター モジュールではコントロール クライアントによって受信されたアラーム情報の表示と管理ができます。
	E マップ モジュールでは、E マップ、アラーム入力、ホット リージョンとホット スポットの表示および管理ができます。
	POS ライブ ビュー モジュールでは POS およびレシート情報が提供されます。
	POS 検索モジュールでは POS 情報と関連録画の再生機能が提供されます。
	ビジネス インテリジェンス モジュールではインテリジェントなビジネス解析が行えます。
	ダウンロード センター モジュールではリモート録画ファイルの検索とダウンロードが行えます。
	ステータス検知モジュールではサーバ、接続されたデバイス、デバイスのカメラのステータスの表示機能が提供されます。
	ログ検索モジュールでは CMS およびデバイス ログ ファイルの照会とバックアップが行えます。
	ローカル設定モジュールでは、コントロール クライアントの一般的なパラメータ、ファイル保存パス、アラーム音およびその他のシステム設定が行えます。

iVMS-5200 プロのリソースが変更された場合(例: システムにさらにデバイスが追加された)、最新のリソースを取得するためにシステムと同期するかどうかの確認を求めるダイアログがポップアップします。

機能モジュールは、コントロールパネル上のナビゲーション ボタンをクリックするか、[ビュー]または[ツール]メニューから機能モジュールを選択することで簡単にアクセスできます。

現在のユーザ、ネットワーク使用率、CPU 使用率、RAM 使用率、時刻といった情報はメインページの右上で確認できます。

ログイン

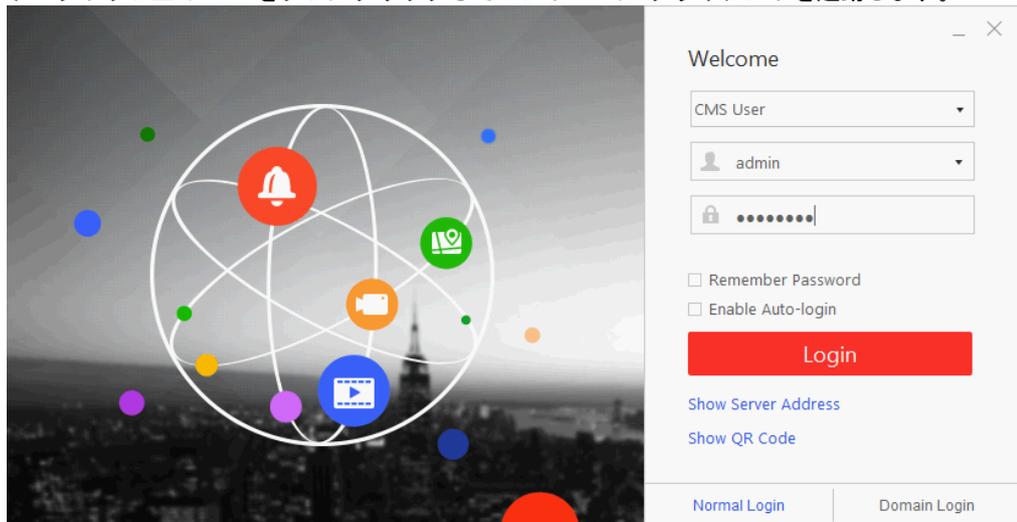
iVMS-5200 コントロール クライアントを開いた際、iVMS-5200 プロのユーザ名とパスワードでログインできます。

iVMS-5200 プロへのアクセスにおいては2種類のユーザ(ノーマル ユーザとドメイン ユーザ)がサポートされています。詳細な導入については *iVMS-5200 プロフェッショナル Web クライアントのユーザ マニュアル*を参照してください。

オプション 1: ノーマル ユーザでのログイン

方法:

1. デスクトップ上のをダブルクリックしてコントロール クライアントを起動します。



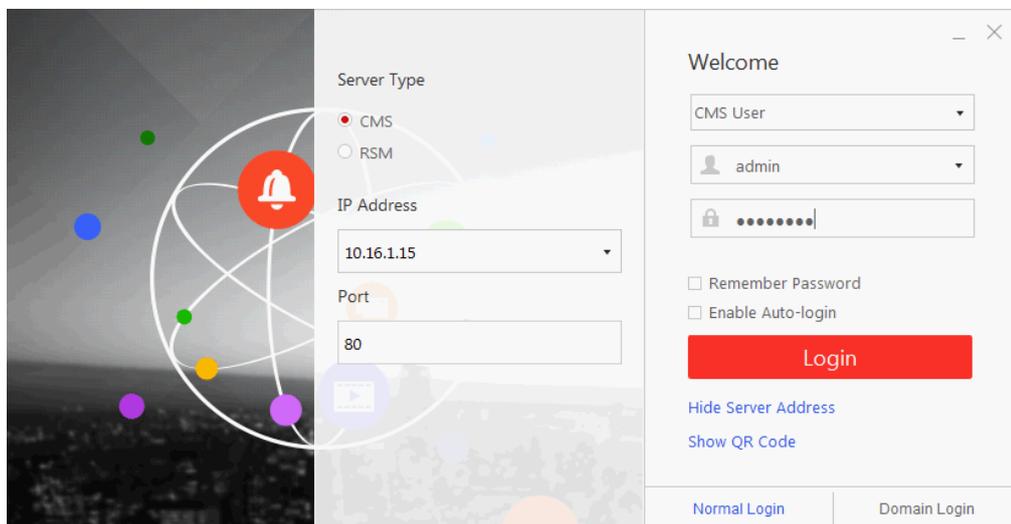
2. 画面下部の[ノーマル ログイン]タブを選択します。
3. ユーザ種別を CMS ユーザまたは RSM ユーザから選択します。
4. [サーバアドレスの表示]をクリックしてパラメータを入力します。
 - サーバタイプ: ログインするサーバを選択します。

注意:

- CMS ユーザの場合、サーバ種別として CMS を選択し、CMS サーバにログインします。RSM ユーザの場合、サーバ種別として CMS を選択し、CMS サーバにログインするか、RSM を選択して RSM サーバにログインできます。
- CMS に RSM ユーザとしてログインする場合、RSM ユーザは CMS にアクセスする権限を持っている必要があります。
- RSM にログインする場合、RSM に追加された CMS のビデオおよびアラームを閲覧できます。

RSM ユーザの場合、サーバ種別として CMS を選択し、CMS サーバにログインできます。または、サーバ種別として RSM を選択し、RSM サーバにログインすることもできます。

- **IP アドレス:** 接続先の CMS または RSM のアドレス(IP アドレスまたはドメイン名)を入力します。
- **ポート:** CMS または RSM のポート番号を入力します。デフォルトでは、80 番です。



The screenshot shows a login window with the following fields and options:

- Server Type:** Radio buttons for CMS (selected) and RSM.
- IP Address:** Text input field containing "10.16.1.15".
- Port:** Text input field containing "80".
- User:** Dropdown menu showing "CMS User".
- Password:** Text input field with masked characters "admin".
- Options:** Checkboxes for "Remember Password" and "Enable Auto-login", both unchecked.
- Buttons:** A red "Login" button, and links for "Hide Server Address" and "Show QR Code".
- Footer:** Tabs for "Normal Login" and "Domain Login".

5. iVMS-5200 プロ CMS または RSM のノーマル ユーザのユーザ名とパスワードを入力します。
6. オプションとして、[パスワードを保存する]チェックボックスにチェックし、パスワードを保存することができます。
7. オプションとして、[自動ログインを有効化する]チェックボックスをチェックし、ソフトウェアに自動ログインすることもできます。
8. [ログイン]をクリックし、コントロール クライアントを開きます。

注意:

- ログインの失敗が検知されると、ログインに成功するまで認証コードの入力が求められるようになります。
- パスワード入力が 5 回失敗すると、アカウントは以後 10 分間凍結されます。

オプション 2: ドメイン ユーザでのログイン

方法:

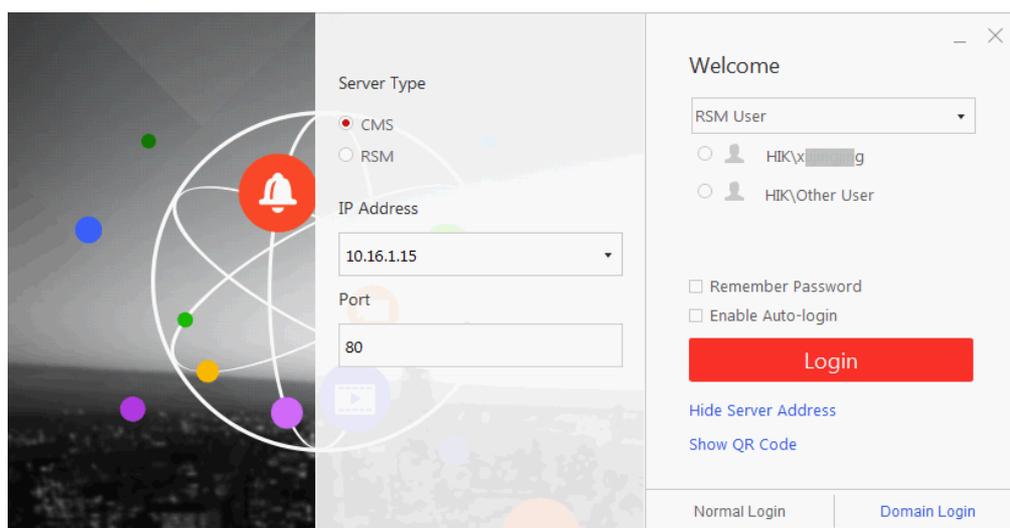
1. 画面下部の[ドメイン ログイン]タブを選択します。
2. ユーザ種別を CMS ユーザまたは RSM ユーザから選択します。
3. ドメイン ユーザを選択します。
4. (オプション 1) ご自分のドメイン アカウント(お使いの PC にログインされている現在利用中のユーザ アカウント)を選択する場合、[オート ログインを有効化]チェックボックスをチェックすると次回からソフトウェアに自動ログインできるようになります。
5. (オプション 2) その他のユーザを選択する場合、ユーザ名とパスワードを入力してください。オプションとして、[パスワードを保存]チェックボックスをチェックしてパスワードを保存したり、[オート ログインを有効化]チェックボックスをチェックして次回、ソフトウェアに自動ログインできるようにすることもできます。
6. [サーバアドレスの表示]をクリックしてパラメータを入力します。
 - **サーバタイプ:** ログインするサーバを選択します。

注意:

- CMS ユーザの場合、サーバ種別として CMS を選択し、CMS サーバにログインします。RSM ユーザの場合、サーバ種別として CMS を選択し、CMS サーバにログインするか、RSM を選択して RSM サーバにログインできます。
 - CMS に RSM ユーザとしてログインする場合、RSM ユーザは CMS にアクセスする権限を持っている必要があります。
 - RSM にログインする場合、RSM に追加された CMS のビデオおよびアラームを閲覧できます。
RSM ユーザの場合、サーバ種別として CMS を選択し、CMS サーバにログインできます。または、サーバ種別として RSM を選択し、RSM サーバにログインすることもできます。
- **IP アドレス:** 接続先の CMS または RSM のアドレス(IP アドレスまたはドメイン名)を入力します。
 - **ポート:** CMS または RSM のポート番号を入力します。デフォルトでは、80 番です。
7. [ログイン]をクリックし、コントロールクライアントを開きます。

注意:

- ログインの失敗が検知されると、ログインに成功するまで認証コードの入力が求められるようになります。
- パスワード入力が 5 回失敗すると、アカウントは以後 10 分間凍結されます。



モバイルクライアントのダウンロード

ログインインターフェイスではモバイルクライアントのダウンロード用の QR コードも入手できます。[QR コードの表示]をクリックして QR コードを表示し、お使いのモバイル端末で対応する QR コードをスキャンしてモバイルクライアントをダウンロードします。モバイルクライアント導入の詳細については *iVMS-5200 モバイルクライアントのユーザマニュアル*を参照してください。

ライブビュー

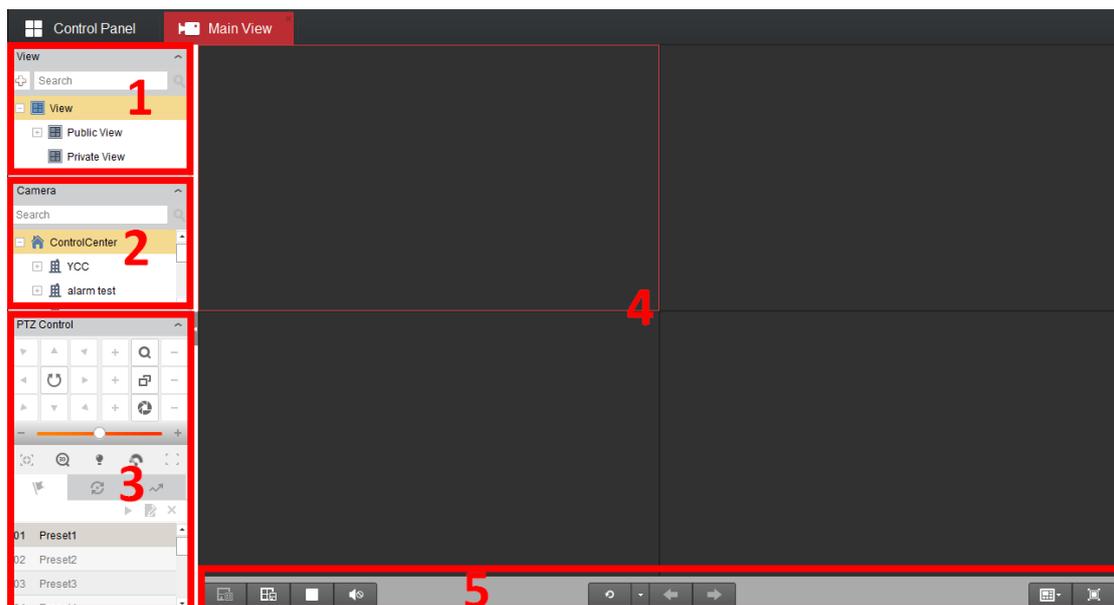
ライブビュー

目的:

監視タスクにおいては、メインビュー ページに追加されたネットワーク カメラおよびエンコーディング デバイスのライブ ビデオを確認できます。画像のキャプチャやマニュアル録画、PTZ 操作等、その他の基本的な操作も一部サポートされています。

コントロールパネルの  アイコンをクリックするか、

または[ビュー]->[メインビュー]をクリックしてメインビュー ページを開きます。



メインビュー ページ

1 ビュー リスト: カスタマイズしたビューを表示したり、新しいビューの作成ができます。

2 カメラリスト: 追加されたエリアおよびカメラを表示します。

注意: RSMにログインし、それが複数の CMS を含んでいる場合、CMS サイトの  をクリックすることで CMS を切り替えることができます。正常に切

り替えが完了すると、他のすべてのページは切り替えられた CMS を利用しません。

3 PTZ コントロール パネル PTZ コントロール パネルを表示します。

4 ライブ ビューの表示ウィンドウ: カメラのライブ ビデオを再生するウィンドウです。

5 ライブ ビュー ツールバー: 表示されたボタンはライブ ビューの操作に使用します。

カメラ ステータス:

-  カメラはオンラインで、正常に動作しています。
-  カメラはライブ ビューを表示しています。
-  カメラは録画状態です。
-  カメラがオフラインです。

注意: カメラがイベント(例: 動体検知)を検知した場合、カメラ アイコンは  のように表示され、グループ アイコンは  のように表示されます。

ライブ ビュー ツールバー:



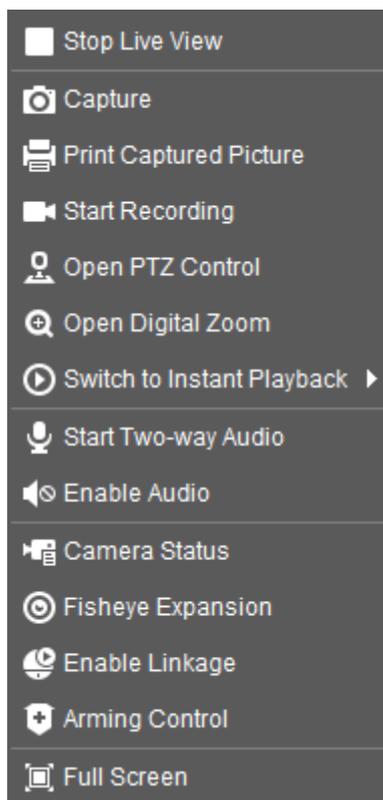
メイン ビュー ページでは、以下のボタンが利用できます:

-  **ビューを保存** 現在のビューの新しい設定を保存します。
-  **ビューに名前を付けて保存** 現在のビューを別の新しいビューとして保存します。
-  **ライブビューを停止** すべてのカメラのライブ ビューを停止します。
-  **ミュート/音声オン** ライブ ビューの音声のオン/オフを切り替えます。
-  **再開/一時停止** クリックしてライブ ビューの自動切り替えを再開/一時停止します。
-  **自動切替メニューの表示/非表示** 自動切り替えの設定メニューの表示/非表示を切り替えます。もう一度クリックすることで非表示にできます。自

	表示	動切替中は切替間隔は変更できません。
	前	自動切替モードの一つ前のカメラのライブビューに移動します。
	次	自動切替モードの一つ後のカメラのライブビューに移動します。
	スクリーンレイアウト	スクリーンレイアウトを設定します。
	全画面	ライブビューを全画面モードで表示します。Esc キーを押して抜けることができます。

ライブビューの表示ウィンドウを右クリックすることで、ライブビュー管理メニューが開きます:

注意: ライブビューを開始するには [ライブビューの開始と停止](#)。



右クリックのライブビュー管理メニューでは、以下の項目が利用できます:

	ライブビューを停止	表示ウィンドウのライブビューを停止します。
	キャプチャ	ライブビュープロセスの中の画像をキャプチャーします。
	キャプチャーし	現在の画像をキャプチャーし、その画像をプリ

	た画像を印刷	ントします。
	録画の開始/停止	手動録画を開始/停止します。録画ファイルはPCに保存されます。
	PTZ コントロー ルを開く	表示ウィンドウ上で PTZ 操作機能を有効にしま す。再度クリックして、機能を無効にします。
	デジタルズーム を開く	デジタルズーム機能を有効化します。再度クリ ックして、機能を無効にします。
	即時再生に切り 替え	インスタント再生モードに切り替えます。希望 の再生時間が選択できます。
	双方向音声の開 始/停止	クリックして、ライブ ビュー中のカメラの双方 向音声を開始/停止します。カメラが双方向音声 をサポートしている必要があります。
	音声の有効化/無 効化	クリックしてライブ ビューの音声を有効化/無効 化します。
	カメラ状態	録画ステータス、信号ステータス、接続数など を含む、ライブ ビュー中のカメラのステータス を表示します。
	魚眼拡大	フィッシュアイ拡張モードに入ります。詳細な 設定については以下を参照してください: フィ ッシュアイ モードでのライブ ビュー 。
	リンクの有効化	<p>リンクされたフィッシュアイ カメラ スピードド ームをライブ ビュー上でクリックすると、対象 をマニュアルで追跡したり、あるいは設定され たルールに基づいて対象を自動的に追跡するこ とができます。</p> <p>注意:</p> <ul style="list-style-type: none"> このアイコンはスピード ドーム リンクをサ ポートしたフィッシュアイ カメラでし か利用可能になりません。 スピード ドーム リンクをフィッシュアイ カメラ向けに設定する方法については <i>iVMS-5200 プロフェッショナル Web クラ イアントのユーザマニュアルを参照して ください。</i>
	警戒コントロー ル	ライブ ビュー中のカメラの警戒コントロール ウ ィンドウを開きます。
	全画面	ライブ ビューを全画面モードで表示します。 Esc キーを押して抜けることができます。

ライブ ビューの開始と停止

単一カメラでのライブ ビューの開始

方法:

1. メイン ビュー ページを開きます。
2. (オプション)  をクリックしてライブ ビューのウィンドウ分割モードを選択できます。
3. カメラを表示ウィンドウにクリック アンド ドラッグします。

あるいは、ライブ ビューを開始する表示ウィンドウを選択した後でカメラ名をダブルクリックしてください。

注意: 必要に応じてライブ ビューのカメラのビデオをクリック アンド ドラッグして別の表示ウィンドウに移動させることもできます。

λ

エリアのライブ ビューの開始

方法:

1. メイン ビュー ページを開きます。
2. エリアを表示ウィンドウにクリック アンド ドラッグします。

またはエリア名をダブルクリックしてライブ ビューを開始します。コントロール センター ノードをクリック アンド ドラッグまたはダブルクリックすると、追加されたすべてのデバイスのライブ ビューを開始することもできます。

注意:

- 表示ウィンドウの数はエリア内のカメラの数に応じて自動調整されます。
- カメラの数がウィンドウの数より大きい場合、ライブ ビューは複数のウィンドウで表示されます。  または  をクリックするとライブ ビデオが表示できます。

カスタム ビュー モードでのライブ ビューの開始

目的:

ビュー モードはライブ ビューのためにカスタマイズできます。パブリック ビューまたはプライベート ビューを選択して作成することができます。

- **パブリックビュー:** カスタマイズしたパブリック ビューを iVMS-5200 プロに保存すると、他のユーザがそのビューと関連するライブ ビデオにアクセスできます。
- **プライベートビュー:** カスタマイズしたプライベート ビューを iVMS-5200 プロに保存すると、対応する許可を持つ他のユーザがそのビューと関連するライブ ビデオにアクセスできます。

方法:

1. メイン ビュー ページを開きます。
2. ビュー パネル上で  アイコンをクリックするとビュー追加のダイアログボックスが起動されます。
3. ビュー名を入力し、必要に応じてビュー種別を選択してください。
4. [追加]をクリックします。新しいビューはデフォルトで4画面モードです。
5. オプションとして、ライブ ビュー ツールバーの  アイコンをクリックして新しいビューのウィンドウ分割モードを選択し、 をクリックすると、その新規ビューのウィンドウ分割モードを保存できます。
6. カメラを表示ウィンドウにクリック アンド ドラッグします。

あるいは、ライブ ビューを開始する表示ウィンドウを選択した後でカメラ名をダブルクリックしてください。

注意: CMS が異なるカメラのライブ ビューを同じビューに保存することはできません。

7.  アイコンをクリックして新しいビューを保存します。オプションとして、 をクリックし、現在のビューを別のビューとして保存することができます。

ビューの設定が正常に完了したら、クリックしてビューを呼び出すことができます。

マウスをカスタム ビュー上に移動すると以下のアイコンが利用可能に鳴ります:



ビュー名を編集 カスタム ビューの名前を編集します。



ビューを削除 カスタム ビューを削除します。



インスタント再生 ビューに関連付けられたカメラのインスタント再生を開始します。インスタント再生では、同時に16台までのカメラを切り替えできます。

ライブ ビューの停止

方法:

1. 表示ウィンドウを選択します。
2. マウス ポインタを表示ウィンドウ上に置いた時に右上に表示される  アイコンをクリックするか、右クリック メニューの[ライブ ビューの停止]をクリックすることで表示ウィンドウのライブ ビューを停止することができます。またはライブ ビュー ツールバーの  ボタンをクリックしてすべてのライブ ビューを停止できます。

ライブ ビューでのオート スイッチ

カメラのオートスイッチ

目的:

カメラのオートスイッチを行うと、同じエリアのカメラのビデオストリームが、選択した表示ウィンドウ上で自動的に切り替わります。

方法:

1. メインビューページを開きます。
2. カメラのオートスイッチを行う表示ウィンドウを選択します。
3. ツールバーの  アイコンをクリックし、切り替え間隔を選択します。
4. エリアを選択し、エリアノードの  アイコンをクリックします。
5.   をクリックしてカメラのオートスイッチを一時停止/再開することができます。

ビューのオートスイッチ

目的:

ビューオートスイッチではカスタムビューが自動的に切り替わります。開始する前にカスタムビューを追加する必要があります。

方法:

1. メインビューページを開きます。
2. ツールバーの  アイコンをクリックし、切り替え間隔を選択します。
3. パブリックビューかプライベートビューノードか、いずれかのビューのアイコン  をクリックします。

注意:

- オートスイッチ用にビューを選択した場合、カスタマイズされたすべてのビューが自動的に切り替わります。
 - パブリックまたはプライベートビューを選択した場合、カスタマイズされたパブリックビューまたはプライベートビューが自動的に切り替わります。
 - カメラの数がウィンドウの数より大きい場合、オートスイッチは複数のウィンドウで実行されます。  または  をクリックしてオートスイッチを表示します。
4.   をクリックしてマルチビューオートスイッチを一時停止/再開することができます。

エリアのオートスイッチ

目的:

エリアオートスイッチでは、エリアのカメラが自動的に切り替わります。

方法:

1. メインビューページを開きます。
2. エリアオートスイッチを行う表示ウィンドウを選択します。
3. ツールバーの  アイコンをクリックし、切り替え間隔を選択します。
4. エリアノードの  アイコンをクリックします。

注意: カメラの数がウィンドウの数より大きい場合、オートスイッチは複数のウィンドウで実行されます。  または  をクリックしてオートスイッチを表示します。

5.   をクリックしてエリアのオートスイッチを一時停止/再開することができます。

全カメラのオートスイッチ

目的:

追加されたすべてのカメラのビデオストリームが選択された表示ウィンドウ上で自動的に切り替わります。

方法:

1. メインビューページを開きます。
2. 全カメラオートスイッチを行う表示ウィンドウを選択します。
3. ツールバーの  アイコンをクリックし、切り替え間隔を選択します。
4. コントロールセンターノードの  アイコンをクリックします。

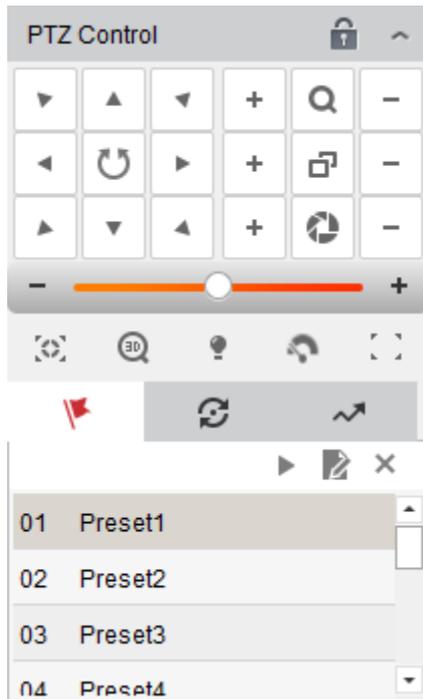
注意: カメラの数がウィンドウの数より大きい場合、オートスイッチは複数のウィンドウで実行されます。  または  をクリックしてオートスイッチを表示します。

5.   をクリックして全カメラのオートスイッチを一時停止/再開することができます。

ライブビューでの PTZ 操作

ソフトウェアはパン/チルト/ズーム機能を備えたカメラに対する PTZ 操作機能を提供しています。 PTZ コントロールパネル上で、カメラのプリセット、パトロールおよびパターンを設定できます。 また、右クリックメニューから [PTZ 操作を開く] をクリックすると PTZ カメラの操作のための PTZ 操作ウィンドウを開くことができます。

 アイコンをクリックして PTZ コントロールパネルを展開します。



PTZコントロールパネルでは以下のボタンが使用できます:

	指定する時間枠について PTZ をロックします。ロックされた時間枠の間、他のユーザは PTZ コントロール操作を行うことができません。
	PTZ ロックをキャンセルします。
	方向ボタンおよびオート スキャン
	ズーム
	フォーカス
	アイリス
	PTZ 速度
	補助フォーカス
	3D ポジショニング
	明るい
	ワイパー
	レンズ初期化

プリセットの設定

プリセットは事前定義された撮影位置で、パン、チルト、ズーム、フォーカス、その他のパラメータが含まれます。

プリセットを追加するには以下の手順を実行します:

1.  タブをクリックして PTZ プリセット設定パネルに入ります。
2. PTZ コントロール パネルの方向ボタンをクリックして、必要な映像が得られるようにカメラを移動します。
3. プリセット リストから PTZ プリセット番号を選択し、 をクリックします。
4. ポップアップ ダイアログ ボックス上でプリセット名を入力します。
5. [OK] をクリックして設定を保存します。

設定したプリセットを呼び出すには、プリセットをダブルクリックするか、プリセットを選択し、▶ アイコンをクリックします。

設定したプリセットを編集するには、リストからプリセットを選択し、 アイコンをクリックします。

設定したプリセットを削除するには、リストからプリセットを選択し、✕ アイコンをクリックします。

パトロールの設定

パトロールはユーザ定義によるプリセットのグループによって指定される移動監視の経路で、2つのプリセットの間の移動の速度や、プリセットでの滞留時間を個別にプログラムすることができます。

始める前に:

1つの PTZ カメラに対して 2 つ以上のプリセットを追加しておく必要があります。

パトロールを追加するには以下の手順を実行します:

1.  ボタンをクリックして PTZ パトロール設定パネルに入ります。
2. ドロップダウン リストから、経路番号を選択します。
3.  をクリックしてプリセットを追加して、滞留時間とパトロール速度を設定します。
4. 上記の操作を繰り返して、パトロールする他のプリセットを追加します。
5. オプションとして、 または  をクリックし、パトロール経路のプリセットを編集または削除できます。
6. ▶ アイコンをクリックしてパトロールの呼び出しができます。パトロールの呼び出しを停止するには  をクリックしてください。

注意:

- 最大 16 のパトロールを設定できます。

- プリセットの滞留時間は 1 から 30 秒までで設定でき、パトロールの速度はレベル 1 から 40 までで設定できます。

パターンの設定

パターンは PTZ の動きを記録して設定できます。

パターンを追加するには以下の手順を実行します:

1.  ボタンをクリックして PTZ パターン設定パネルに入ります。
2.  をクリックしてパターン経路の記録を開始します。
3. 方向ボタンおよびその他のボタンを使って PTZ の動作を操作してください。
4.  をクリックしてパターン記録を停止し、保存します。
5.  アイコンをクリックしてパターンの呼び出しができます。パターンの呼び出しを停止するには  をクリックしてください。

注意: 設定できるパターンは 1 つだけで、新しく定義したパターンは以前のものを上書きします。

手動録画とキャプチャ

マウスをライブ ビュー表示ウィンドウの下端に移動します。以下のツールバー ボタンが利用可能です:

- | | |
|---|---|
|  | キャプチャ ライブ ビュー中のカメラの画像をキャプチャします。 |
|  | 録画の開始/停止 手動録画を開始/停止します。録画ファイルは PC に保存されます。 |
|  | 即時再生に切り替え インスタント再生モードに切り替えます。希望の再生時間が選択できます。 |

ライブ ビューでの手動録画

目的:

手動録画機能では、メイン ビュー ページのライブ ビデオを手動で録画できます。録画ファイルは、ローカル PC に保存されます。

方法:

1. マウスをライブ ビュー表示ウィンドウの下端に移動するとツールバーが表示されます。

2. 表示ウィンドウのツールバーのをクリックするか、右クリックメニューから手動録画を開始します。アイコンがに変わります。
3. アイコンをクリックして手動録画を停止します。

操作が全て正常に完了すると、録画したビデオ ファイルを保存するパスを含んだプロンプト ボックスがポップアップします。

注意:

- 手動録画中は、インジケータが表示ウィンドウの右上隅に表示されます。
- ビデオ ファイルを保存するパスは、ローカル設定インターフェイス上で設定することができます。詳細については以下を参照してください: [ファイル保存先パス設定](#)。

ローカル録画ファイルの確認

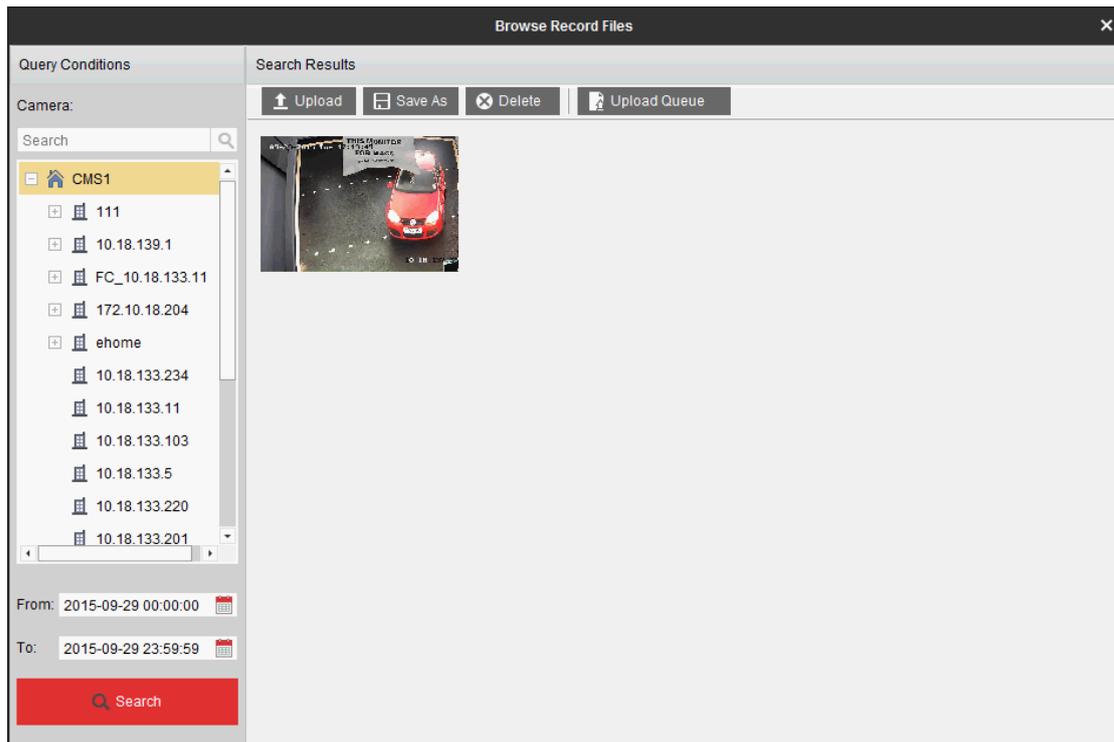
目的:

ライブ ビューで手動録画されたファイルはコントロール クライアントが実行されている PC に保存されます。必要に応じて録画ファイルを確認できます。

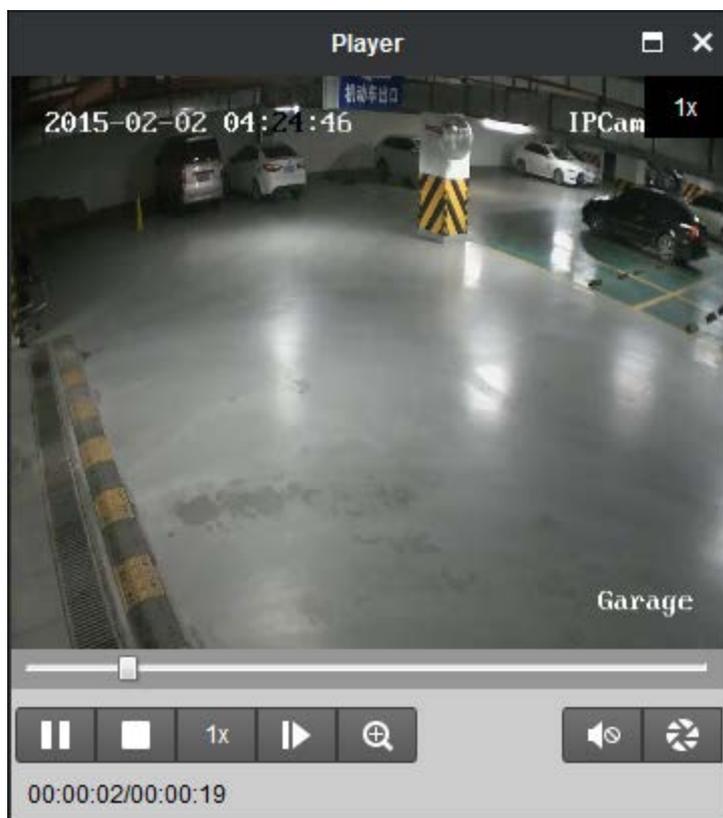
方法:

1. [ファイル] -> [ビデオ ファイルを開く]をクリックし、録画ファイル ページを開きます。
2. リストから検索するカメラまたはエリアを選択します。
3.  アイコンをクリックして検索範囲の開始時刻と終了時刻を指定します。
4. [検索] をクリックします。開始時刻と終了時刻の間に録画されたビデオ ファイルが表示されます。入
 - ビデオ ファイルを選択し、[アップロード]をクリックして設定したFTP サーバにビデオ ファイルをアップロードします。をクリックしてファイルのアップロードを開始するか、または[すべて開始]をクリックしてすべてのファイルのアップロードを開始します。[アップロード キュー]をクリックして、アップロードのステータスを確認することもできます。
 - ビデオ ファイルを選択し、[別名で保存]をクリックし、ビデオ ファイルの新しいコピーをローカル PC に保存することができます。
 - ビデオ ファイルを選択し、[削除]をクリックしてビデオ ファイルを削除することもできます。

注意: ビデオ ファイルを FTP サーバにアップロードするためには、操作を行う前に FTP 設定が正しくセットされていなければなりません。詳細については以下を参照してください: [ファイル保存先パス設定](#)。



ビデオ ファイルをダブルクリックして、ビデオ ファイルをクリックしてローカルで再生することができます。



ローカル再生ページでは以下のボタンが使用できます:

	最大化	再生ウィンドウを最大化します。
	閉じる	録画ファイルのローカル再生ページを閉じます。
	一時停止/再生	録画ファイル再生を一時停止/再開します。
	停止	録画ファイル再生を停止します。
	スピード	再生速度を設定します。
	シングルフレーム	録画ファイルを1フレームずつ再生します。
	デジタルズーム	デジタルズーム機能を有効化します。もう一度クリックすることで無効化できます。
	音声の有効化/無効化	クリックしてローカル再生の音声を有効化/無効化します。
	キャプチャ	再生ビデオの画像をキャプチャーします。

ライブビューでの画像キャプチャー

方法:

1. マウスをライブビュー表示ウィンドウの下端に移動するとツールバーが表示されます。
2. 表示ウィンドウのツールバー、または右クリックメニューの  アイコンをクリックします。

キャプチャー操作が行われたかどうかを通知するための、キャプチャーした画像の小さいウィンドウが表示されます。

注意: キャプチャー画像を保存するパスを、ローカル設定インターフェイス上で設定することができます。詳細については以下を参照してください: [ファイル保存先パス設定](#)。

キャプチャー画像の確認

目的:

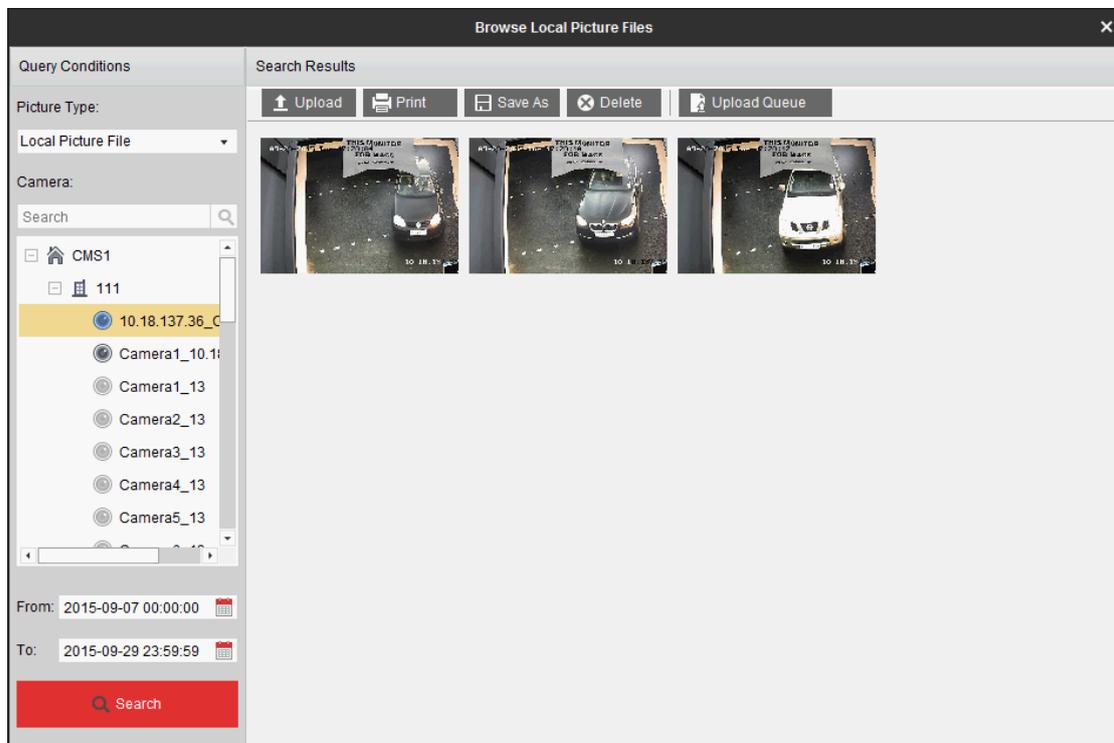
ライブビューでキャプチャされた画像はコントロールクライアントが実行されているPCに保存されます。必要に応じてキャプチャーされた画像を確認できます。

方法:

1. [ファイル]->[ローカル画像ファイルを開く]をクリックし、キャプチャー画像ページを開きます。
2. リストから検索するカメラまたはエリアを選択します。
3.  アイコンをクリックして検索範囲の開始時刻と終了時刻を指定します。
4. [検索]をクリックします。開始時刻と終了時刻の間にキャプチャーされた画像が表示されます。
5. キャプチャー画像がよりよく見えるように、ダブルクリックで拡大することができます。

- キャプチャ画像を選択し、[アップロード]をクリックすると、設定したFTPサーバに画像をアップロードすることができます。  をクリックしてファイルのアップロードを開始するか、または[すべて開始]をクリックしてすべてのファイルのアップロードを開始します。 [アップロードキュー]をクリックして、アップロードのステータスを確認することもできます。
- キャプチャ画像を選択し、[印刷]をクリックすると、選択した画像をネットワーク経由で接続されたプリンタから印刷することができます。
- キャプチャ画像を選択し、[別名で保存]をクリックすると、キャプチャ画像の新しいコピーをローカルPCに保存することができます。
- キャプチャ画像を選択し、[削除]をクリックすると、選択したキャプチャ画像を削除することができます。

注意: 画像をFTPサーバにアップロードするためには、操作を行う前にFTP設定が正しくセットされていなければなりません。詳細については以下を参照してください: [ファイル保存先パス設定](#)。



インスタント再生

目的:

録画ファイルはメインビューページ上で即再生することができます。インスタント再生は過去30秒、1分、3分、5分、8分または10分間の録画のみ表示します。録画が見つからない場合、直前の30秒または1分間に録画が行われていないことを意味します。/3分/5分/8分/10分 これにより、必要な場合にはすぐに確認してみることができます。

始める前に:

- ビデオ ファイルは DVR、NVR、ネットワーク カメラなどの SD/SDHC カードや HDD のようなストレージ デバイス、またはストレージ サーバに保存されている必要があります。
- デバイスの録画スケジュールは Web クライアント経由で設定する必要があります。詳細については *iVMS-5200 プロフェッショナル ウェブクライアントのユーザ マニュアル*を参照してください。

方法:

1. ライブ ビューを開始し、マウスをライブ ビュー表示ウィンドウの下端に移動するとツールバーが表示されます。
2. ツールバー上または右クリック メニュー上の  アイコンをクリックすると、再生時間枠のリストがポップアップします。

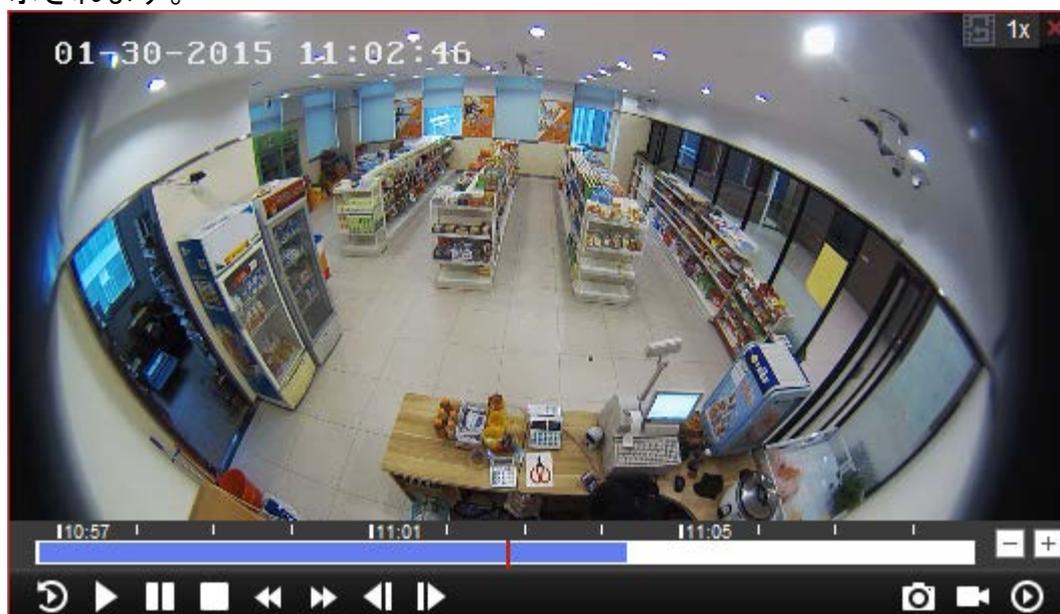
30 秒、1 分、3 分、5 分、8 分または 10 分が選択可能です。

3. 時間枠を選択してインスタント再生を開始します。

例: もしライブ ビューの現在時刻が 09:30:00 で、3 分を選択した場合、インスタント再生は 09:27:00 から始まります。

4.  アイコンを再度クリックすると、インスタント再生が停止し、ライブ ビューに戻ります。

注意: インスタント再生中は、インジケータ  が表示ウィンドウの右上隅に表示されます。

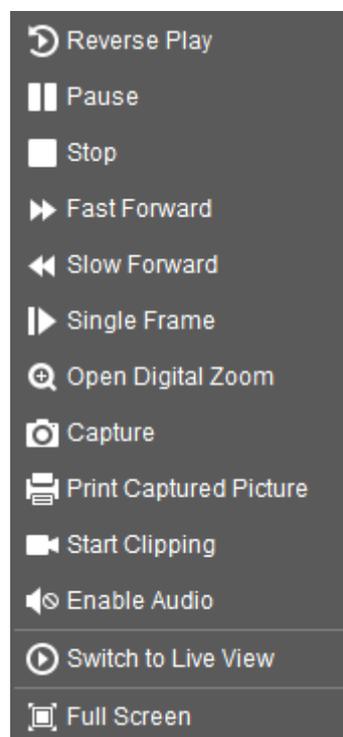


再生コントロール バーでは以下のボタンが使用できます:

- | | | |
|---|-------------------|-----------------------|
|  | 逆再生 | 録画ファイルを逆方向に再生します。 |
|  | 再生の一時停止/再開 | 録画ファイル再生を一時停止/再開します。 |
|  | スピード ダウン/ア | インスタント再生の再生速度を遅く/速くしま |

	再生を停止	すべてのカメラの再生を停止します。
	シングルフレーム	録画ファイルを1フレームずつ再生します。
	キャプチャ	インスタント再生中のカメラの画像をキャプチャします。
	録画の開始/停止	手動録画を開始/停止します。録画ファイルはPCに保存されます。
	ライブビューに切り替え	ライブビューモードに切り替えます。

インスタント再生中に表示ウィンドウを右クリックすると以下のメニューが有効化されます:



右クリックのインスタント再生管理メニューでは、以下のボタンが利用できます:

	逆再生	録画ファイルを逆方向に再生します。
	一時停止/再生	表示ウィンドウ上のインスタント再生を一時停止/再生します。
	停止	インスタント再生を停止し、ライブビューモードに戻ります。
	スピードアップ/ダウン	インスタント再生速度を早く/遅くします。
	シングルフレーム	録画ファイルを1フレームずつ再生します。

	デジタルズームを開く	デジタルズーム機能を有効化します。再度クリックして、機能を無効にします。
	キャプチャ	インスタント再生プロセスの画像をキャプチャします。
	キャプチャーした画像を印刷	現在の画像をキャプチャーし、その画像をプリントします。
	録画の開始/停止	録画ファイルのクリッピングを開始/停止します。
	音声の有効化/無効化	クリックしてインスタント再生の音声をオン/オフします。
	ライブビューに切り替え	ライブビューモードに切り替えます。
	全画面	インスタント再生を全画面モードで表示します。もう一度クリックすることで終了します。

カスタムウィンドウ分割

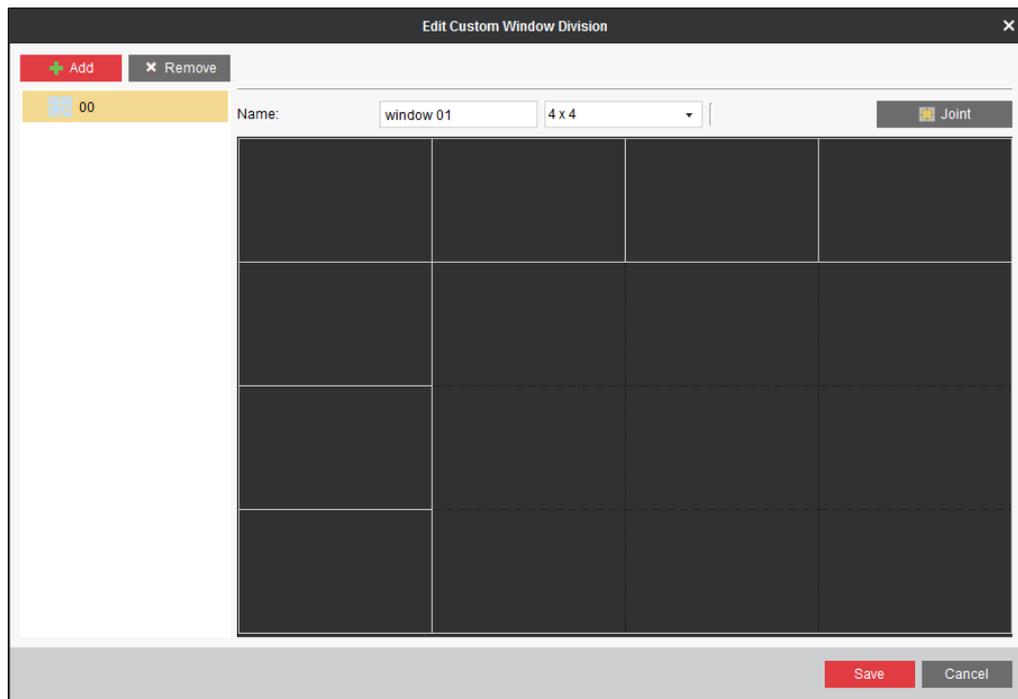
単一カメラでのライブビューの開始

目的:

クライアントソフトウェアは、事前定義されたに複数の種類のウィンドウ分割を提供しています。また、任意のカスタムウィンドウ分割に設定することもできます。

方法:

1. メインビューページを開き、ライブビューツールバー上の  をクリックします。
2.  をクリックするとカスタムウィンドウ分割ダイアログボックスがポップアップします。



3. [追加]をクリックしてカスタム ウィンドウ分割追加ダイアログ ボックスを開きます。

注意: カスタム ウィンドウ分割は 5 つまで追加できます。

4. 新しいウィンドウ分割に名前を設定し、[OK]をクリックして設定を保存します。
5. ウィンドウ分割(3x3、4x4 または 5x5)の名前を編集できます。
6. マウスをクリック アンド ドラッグして隣接するウィンドウを選択し、[結合]をクリックすると、それらを 1 つのウィンドウに結合できます。[結合]を再度クリックして結合をキャンセルすることもできます。
7. [保存]をクリックすると設定が確定され終了します。  をクリックして、ライブ ビデオの再生のためのカスタム ウィンドウ分割を選択できます。

注意:

- リモート再生に入って上記の手順を実行することで、カスタム ウィンドウ分割を設定することもできます。
- リモート再生については最大で 16 のウィンドウを同時に再生することができます。16 以上のウィンドウを持つカスタム ウィンドウ分割は再生には無効です。

フィッシュアイ モードでのライブ ビュー

単一カメラでのライブ ビューの開始

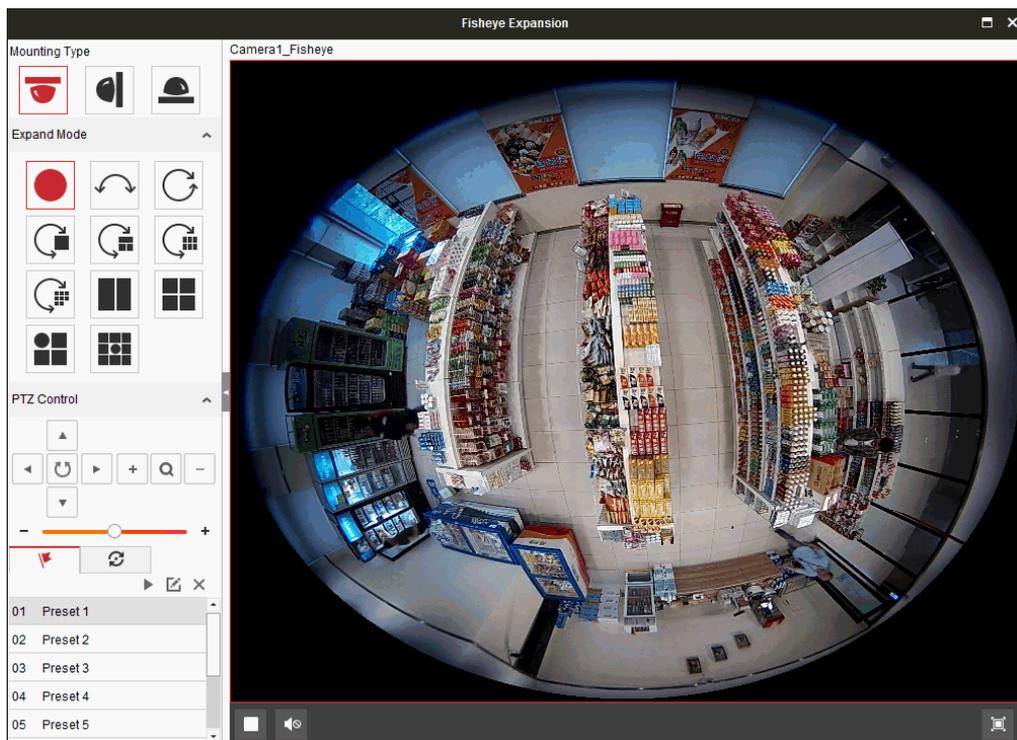
目的:

カメラのライブ ビデオはフィッシュアイ拡張モードで再生できます。

方法:

1. メイン ビュー ページを開き、ライブ ビューを開始します([ライブ ビューの開始と停止](#)を参照してください)。
2. ビデオを右クリックし、**フィッシュアイ拡張**を選択します。ライブ ビューの拡張モードを任意に選択できます。

注意: デバイスのマウント種別を選択すると関連する拡張モードのリストが表示されます。



- **フィッシュアイ:** 魚眼ビュー モードではカメラの広角ビュー全体が表示されます。このビュー モードは、魚の凸面状の目の視界に似ているため「フィッシュアイ」と呼ばれています。このレンズは広いエリアの曲面的な画像を生成します。画像の中の物体に対するパースペクティブやアングルは湾曲します。
- **デュアル-180°パノラマ / 360°パノラマ:** パノラマ ビュー モードでは、湾曲したフィッシュアイ画像がいくつかのキャリブレーション手法によって通常のパースペクティブを持った画像に変換します。
- **PTZ:** PTZ ビューはフィッシュアイ ビューまたはパノラマ ビュー上の一部の定義されたエリアに対するクローズ アップ ビューで、電子的な PTZ 機能をサポートしています。これは e-PTZ とも呼ばれます。

注意: 各 PTZ ビューにはフィッシュアイ ビューおよびパノラマ ビュー上で、特定のナビゲーション ボックスによってマークされます。ナビゲーション ボックスをフィッシュアイ ビューまたはパノラマ ビュー上でドラッグして PTZ ビューを調整するか、または PTZ ビューをドラッグしてビューを希望の角度に調整してください。

PTZ コントロール

PTZ モードでは PTZ 操作を使用して、PTZ ウィンドウを調整することができます。▼をクリックして PTZ コントロール パネルを展開します。

注意: PTZ パネルは異なるデバイスごとに様々です。

- PTZ ウィンドウを選択し、方向ボタンの 1 つをクリックして、ビューの角度を調整します。

注意: フィッシュアイまたはパノラマ ウィンドウ内で色付きのフレームをクリックアンドドラッグ、または PTZ ウィンドウをクリックアンドドラッグするだけで、PTZ ウィンドウの視野角を変更できます。

- PTZ ウィンドウを選択し、 をクリックしてオート スキャンを開始します。再度クリックするとオート スキャンが停止します。
- : スライダーをドラッグして PTZ 動作の速度を調整します。
- : 選択した PTZ ウィンドウをズーム インまたはズーム アウトします。または、マウス ホイールを利用してズーム インまたはズーム アウトを行うことができます。

プリセット

プリセットはユーザ定義の監視位置/ポイントです。プリセット番号を呼び出すだけで監視するシーンを定義したポジションに変更することができます。以下の手順にしたがって、プリセットを設定してください。

方法:

1.  タブをクリックして PTZ プリセット設定パネルに入ります。
2. PTZ ウィンドウを選択し、プリセットとしてマークしたい場所にシーンを調整します。
3. プリセットリストから PTZ プリセット番号を選択し、 をクリックします。
4. ポップアップダイアログボックス上でプリセット名を入力します。
5. [OK] をクリックして設定を保存します。

設定したプリセットを呼び出すには、プリセットをダブルクリックするか、プリセットを選択し、▶ アイコンをクリックします。

設定したプリセットを編集するには、リストからプリセットを選択し、 アイコンをクリックします。

設定したプリセットを削除するには、リストからプリセットを選択し、✕ アイコンをクリックします。

パトロール

パトロールはユーザ定義によるプリセットのグループによって指定される移動監視の経路で、2つのプリセットの間の移動の速度や、プリセットでの滞留時間を個別にプログラムすることができます。以下の手順にしたがって、パトロールを設定してください。

注意: パトロールを設定する前に少なくとも2つのプリセットを設定しておく必要があります。

方法:

1.  ボタンをクリックして PTZ パトロール設定パネルに入ります。
2. ドロップダウン リストから、経路番号を選択します。
3.  をクリックしてプリセットを追加して、滞留時間とパトロール速度を設定します。
4. 上記の操作を繰り返して、パトロールする他のプリセットを追加します。
5. オプションとして、 または  をクリックし、パトロール経路のプリセットを編集または削除できます。
6.  アイコンをクリックしてパトロールの呼び出しができます。パトロールの呼び出しを停止するには  をクリックしてください。

注意:

- 最大 256 のプリセットを設定できます。
- 最大 16 のパトロールを設定できます。
- 滞留時間の範囲は 1 から 30 秒までです。
- パトロール速度の範囲は 1 から 40 までです。

モバイル端末からのビデオのライブ ビュー

目的:

iVMS-5200 モバイル クライアントがインストールされたモバイル端末のライブ ビデオを閲覧するためにアップロードすることができます。

始める前に:

- モバイル端末を含み、SMS が設定されたエリアを iVMS-5200 プロに登録しておく必要があります。モバイル端末の追加およびエリアの管理については *iVMS-5200 プロフェッショナル Web クライアントのユーザマニュアル* を参照してください。
- モバイル端末には iVMS-5200 モバイル クライアントがインストールされており、かつビデオアップロードが正しく設定されている必要があります。ビデオアップロード設定の詳細については *iVMS-5200 モバイル クライアントのユーザ マニュアル* を参照してください。

モバイル端末からのライブ ビデオの閲覧には 2 つのモードが利用できます。

ビデオ アップロードのリクエスト: モバイル クライアントに対してライブ ビュー用のビデオのアップロードを能動的にリクエストします。

ビデオ アップロード リクエストの受信: モバイル クライアントからビデオ アップロードがリクエストできます。

ビデオ アップロードのリクエスト

方法:

1. メイン ビュー ページを開きます。
2. (オプション)  をクリックしてライブ ビューのウィンドウ分割モードを選択できます。
3. モバイル 端末を表示ウィンドウにクリック アンド ドラッグします。

あるいは、表示ウィンドウを選択した後でモバイル 端末名をダブルクリックしても、ライブ ビューを開始することができます。

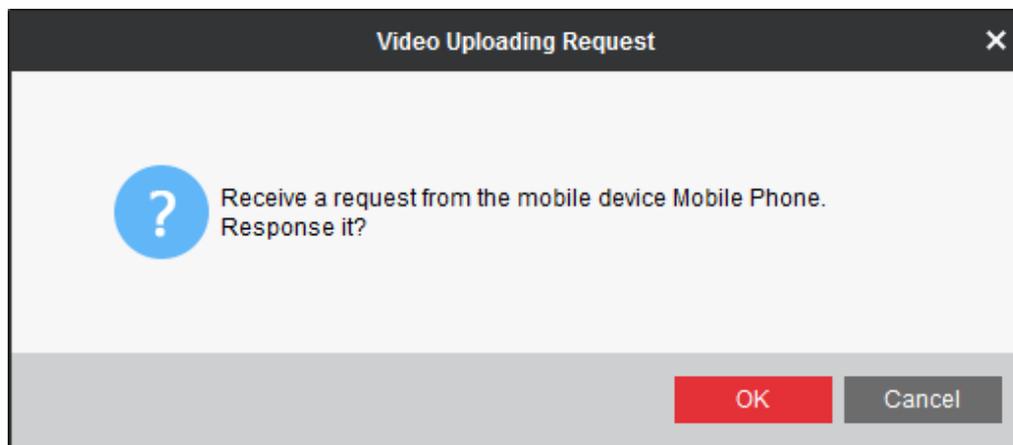
注意: モバイル クライアントがビデオ アップロード リクエストを自動的に許容するように設定されていない場合、ライブ ビューはモバイル クライアントがリクエストを許容した場合にのみライブ ビデオを閲覧できます。

λ

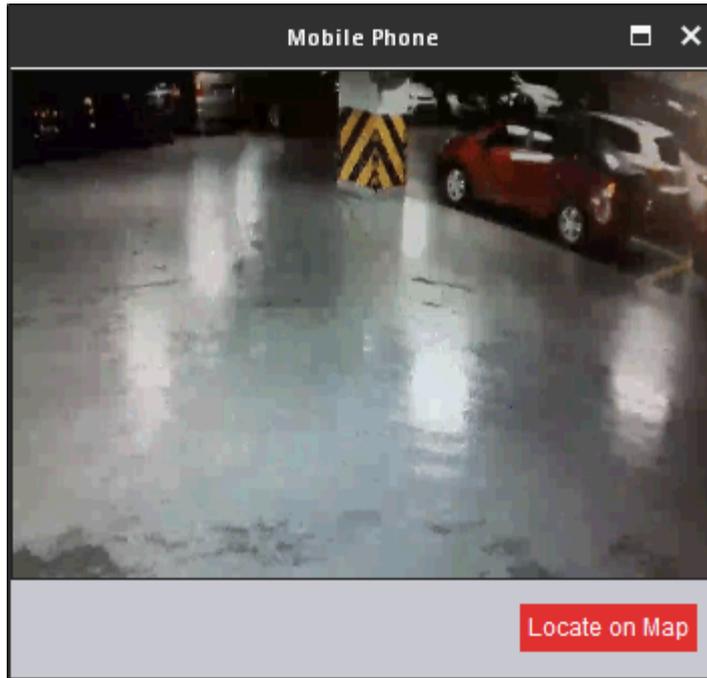
ビデオ アップロード リクエストの受信

方法:

1. 以下のダイアログボックスがポップアップした場合、[OK]をクリックするとモバイル クライアントからのビデオ アップロードのリクエストを許可できます。



2. モバイル 端末によってアップロードされたライブ ビデオを確認できます。表示ウィンドウの下端にマウスを移動すると、キャプチャまたは録画のツールバーが表示されます。  をクリックするとウィンドウが全画面表示されます。



3. GIS マップが利用可能であれば[マップ上で位置特定]をクリックして、モバイル端末の位置を特定できます。

ライブ ビューのその他の機能

デジタルズーム、双方向音声およびカメラ ステータスなど、ライブ ビューではその他の機能もサポートされています。

補助画面プレビュー

ライブ ビデオは別の補助画面に表示することができ、複数の監視シーンに対する便利なプレビューに用いることができます。[ビュー]->[補助画面プレビュー]をクリックし、補助画面を開きます。最大3つまでの補助画面に対応しています。

デジタルズーム

ライブ ビュー ウィンドウを右クリックして[デジタルズームを開く]を選択します。マウスの左ボタンを使って、右下または左上の方向に向けて四角のエリアをドラッグすると、その四角のエリアに対してズーム イン/アウトします。

双方向音声

ライブ ビュー ウィンドウを右クリックして[双方向音声を開始]を選択します。双方向音声機能はカメラの音声通話を可能にします。ライブ ビデオを得られるだけでなく、カメラからのリアルタイムの音声も取得できます。この双方向音声は一度に1台のカメラでのみ利用できます。

カメラ状態

ライブ ビュー ウィンドウを右クリックして[カメラ ステータス]を選択し、ステータス検知ページを開きます。録画ステータス、信号ステータス、接続数などのカメラのステータスを検出し、チェックのために表示させることができます。カメラ ステータスのチェック間隔は3分です。

警戒コントロール

ライブ ビュー ウィンドウを右クリックして[警戒コントロール]を選択します。警戒ステータス、アラーム名、アラーム種別など、有効化されたイベント検知(例: 動体検知、ビデオ損失)のステータスが表示されます。[監視解除/監視をすべて解除]をクリックしてイベント検知をすべて無効化し、その期間を設定することができます。また、[監視開始/監視をすべて開始]をクリックしてイベント検知を有効化することもできます。

遠隔再生

遠隔再生

目的:

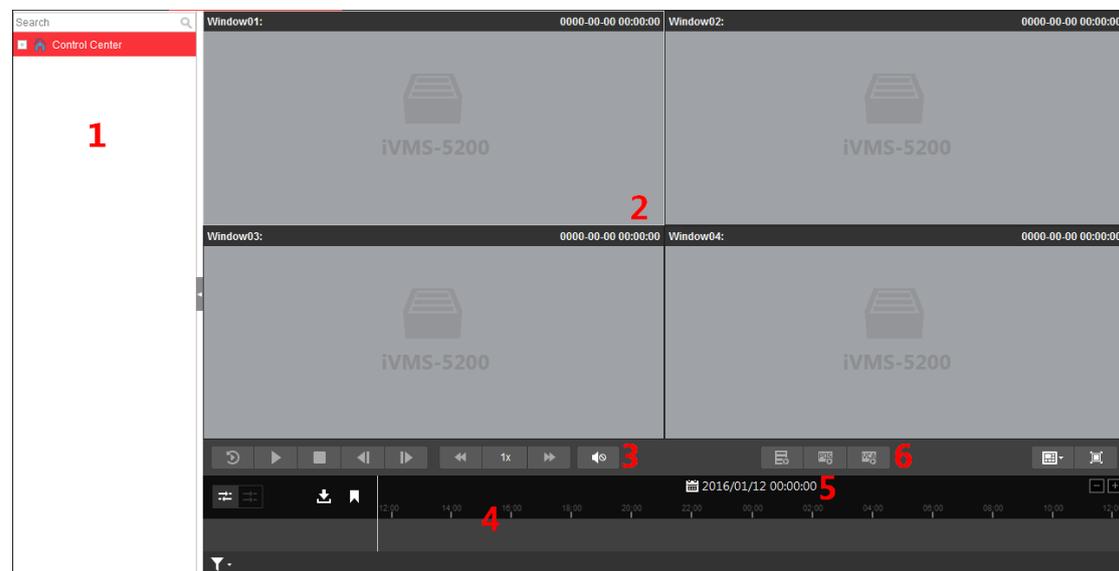
ローカル デバイスまたはストレージ サーバに保存された録画ファイルはエリア、カメラまたはトリガーしたイベントによって検索でき、リモート再生することができます。

始める前に:

カメラの録画設定を Web クライアント経由で行っておく必要があります。詳細については *iVMS-5200 プロフェッショナル Web クライアントのユーザ マニュアル*を参照してください。

コントロールパネルの  アイコンをクリックするか、

または[ビュー] -> [リモート再生]をクリックしてリモート再生ページを開きます。



リモート再生ページ

1 カメラ リスト

注意: RSMにログインし、それが複数の CMS を含んでいる場合、CMS サイトの☒をクリックすることで CMS を切り替えることができます。正常に切り替えが完了すると、他のすべてのページは切り替えられた CMS を利用しません。

2 再生ウィンドウの表示

3 再生コントロールボタン

4 タイムライン

5 カレンダー

6 検索条件

通常再生

目的:

通常再生用のビデオ ファイルはエリアまたはカメラによって検索できます。

通常再生用のビデオ ファイルの検索

方法:

1. リモート再生ページを開きます。
2. カメラ、エリアまたはコントロール センターを表示ウィンドウにクリック アンド ドラッグします。

あるいは、カメラ、エリア、またはコントロール センターをダブルクリックして再生を開始することもできます。

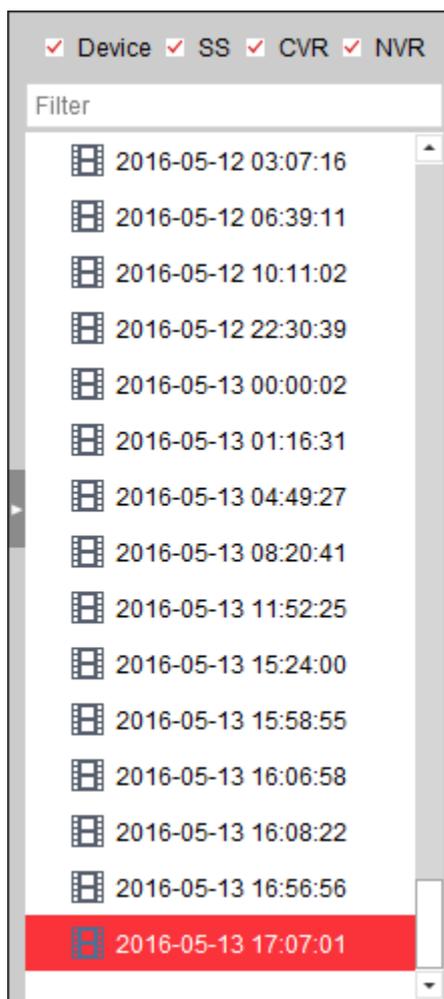
3. 選択したエリアまたはカメラに対して見つかった録画ファイルはインターフェイスの右側に表示されます。[フィルタ]テキスト フィールドを通じて結果をフィルタすることができます。
4. (オプション) カレンダー アイコン  2015/01/29 15:05:58 をクリックして、カレンダー ダイアログ ボックスを有効化します。

日付を選択し、正確な時間を設定します。 **現在時刻** をクリックし、現在の時刻を取得することができます。

[OK]をクリックすると、設定された日付近の7日間のビデオファイルが検索され、表示されます。

注意:

- チェックボックスをチェックすると、ビデオリスト上の関連するストレージデバイスに保存されたビデオファイルが表示できます。また、ビデオファイル上にカーソルを置くと、ビデオファイルの詳細情報を確認することができます。
- 最大16までのカメラが同時に検索できます。



ビデオ ファイルの再生

通常再生用のビデオ ファイルの検索後、以下の2つの方法でビデオ ファイルを再生することができます:

- ファイル リストによる再生

検索結果リストから録画ファイルを選択し、録画ファイルのアイコン  をクリックします。

あるいは、録画ファイルをダブルクリックしても、対応する再生用の表示ウィンドウ上でビデオが再生されます。

- ファイルのロック
- 検索結果リストから録画ファイルを選択し、アイコンをクリックすると、録画ファイルがロックされるので、HDDが一杯になっても録画ファイルが上書きされることはありません。このとき、録画ファイルを削除することもできなくなります。
- タイムラインによる再生

タイムラインは録画ファイルの再生時間を表しており、ビデオファイルの種別ごとに色分けされます。タイムライン上でカーソルを動かすことでその時間のビデオのサムネイルが即確認できます。タイムラインをクリックすることでビデオファイルの特定の時間を再生することができます。

 または  をクリックして、タイムラインバーにズームインまたはズームアウトすることができます。マウスホイールを利用してタイムラインに対するズームインまたはズームアウトを行うことができます。

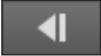
タイムラインバーをドラッグすることで、前後の時間帯に移動することができます。



通常再生ツールバー:



通常再生ページでは、以下のツールバー ボタンが利用できます:

	逆再生	録画ファイルを逆方向に再生します。
	再生の一時停止/再開	録画ファイル再生を一時停止/再開します。
	再生を停止	すべてのカメラの再生を停止します。
	シングルフレーム (逆再生)	録画ファイルを1フレームずつ、逆方向に再生します。
	シングルフレーム	録画ファイルを1フレームずつ再生します。
	高速再生/スロー再生	再生速度を遅く/速くします。ローカル設定モジュールで再生の最高速度をカスタマイズできます。詳細な設定については以下を参照してください: 一般設定 。
	ボリューム	音声のオン/オフの切り替えおよび音量の調整を行います。
	イベント再生	動体検知やビデオ損失、ビデオ干渉などのイベントによってトリガーされた録画を検索します。
	POS 再生	POS 情報を含む録画を検索します。
	VCA 再生	VCA 検索、侵入検知および境界線横断検知などの VCA イベントが発生した録画ファイルを検索するよう、VCA ルールが適用されます。
	スクリーンレイアウト	スクリーンレイアウトを設定します。
	全画面	ビデオ再生を全画面モードで表示します。Esc を押すと終了します。
	非同期/同期再生	クリックすると、録画ファイルが同期または非同期モードで再生されます。
	ダウンロード	カメラの録画ファイルをダウンロードします。録画ファイルは PC に保存されま



タグ

す。ファイルごと、日付ごと、またはタグごとにダウンロードが可能です。ビデオ ファイルにデフォルト タグを付与し、ビデオ上の重要なポイントをマークします。タグを編集すること、または右クリックからタグ ポジションに移動することができます。



フィルタ

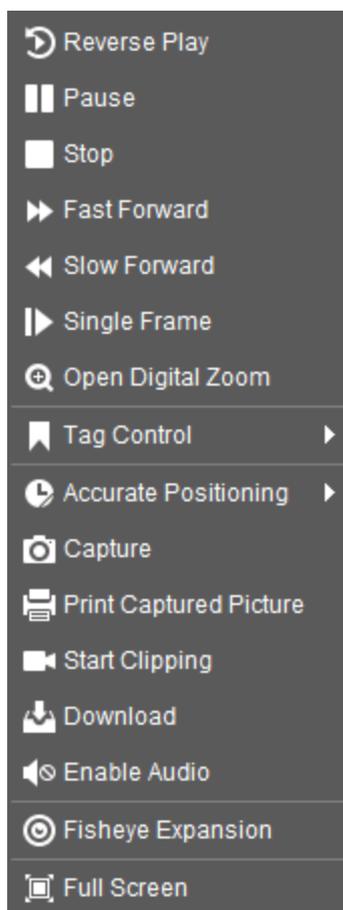
任意の録画種別を表示できます。例: イベント録画のみを選択して表示することができます。



日付

録画ファイルを含む日付は  でマークされます。

再生の表示ウィンドウを右クリックすることで、再生管理メニューが開きます:



右クリックの再生管理メニューでは、以下の項目が利用できます:



逆再生

録画ファイルを逆方向に再生します。



一時停止/再開

再生を一時停止/再開します。



停止

再生が停止します。

	早送り	録画ファイルをより速い速度で再生します。
	スロー再生	録画ファイルをより遅い速度で再生します。
	シングルフレーム	録画ファイルを1フレームずつ再生します。
	デジタルズームを開く	デジタルズーム機能を有効化します。再度クリックして、機能を無効にします。
	タグコントロール	デフォルト(デフォルト タグ名「重要ビデオ映像」)またはカスタム タグ(カスタマイズされたタグ名)がビデオ ファイルに付加され、ビデオの重要なポイントがマークされます。タグを編集する、あるいはタグの位置に便利に移動することができます。
	正確な位置の指定	録画ファイル再生の正確な時刻ポイントを設定します。
	キャプチャ	再生プロセスの画像をキャプチャーします。
	キャプチャーした画像を印刷	画像をキャプチャーして印刷します。
	切り取りの開始/停止	録画ファイルのクリッピングを開始/停止します。クリップされたファイルは PC に保存されます。カメラの録画ファイルをダウンロードします。録画ファイルは PC に保存されます。ファイルごと、日付ごと、またはタグごとにダウンロードが可能です。
	ダウンロード	
	音声の有効化/無効化	クリックして再生の音声を有効化/無効化します。
	魚眼拡大	フィッシュアイ再生モードに入ります。詳細な設定については以下を参照してください: フィッシュアイ再生 。
	全画面	再生を全画面モードで表示します。Esc キーを押して抜けることができます。

タグでの再生

再生中にタグを付加し、重要なビデオ映像をマーキングできます。ビデオタグを使用して録画ファイルの検索と時間位置の特定ができます。

方法:

1. 再生中に再生ツールバー上の  をクリックすると、録画ファイルに「重要ビデオ映像」というタグ名のデフォルト タグが追加できます。または再生ウィンドウを右クリックし、[タグ操作]をクリックしても、デフォルトまたはカスタム(カスタマイズされた名前の)タグが追加できます。
2. 再生ウィンドウを右クリックし、[タグ操作] -> [タグの編集]を選択すると、タグ管理ウィンドウがポップアップします。録画ファイルに追加されたすべてのタグがリスト表示されます。

Index	Tag Name	Time	Edit	Delete	Locating
1	Important Video Footage	2015-05-17 03:07:14			
2	Important Video Footage	2015-05-17 03:07:25			
3	Video Footage 01	2015-05-17 03:09:16			
4	Door	2015-05-17 03:09:19			
5	Important Video Footage	2015-05-17 03:09:24			
6	Window	2015-05-17 03:09:27			

3.  をクリックしてタグ名を編集したり、 をクリックしてタグを削除したり、 をクリックしてビデオ映像を再生できます。タグ ファイルの長さは1分で、追加されたタグの30秒前から30秒後までです。

ビデオ ファイルのダウンロード

カメラからビデオ ファイルをダウンロードし、それらをお使いの PC に保存することができます。

方法:

1. 再生中にクリックしてウィンドウを選択し、 をクリックまたは再生ウィンドウを右クリックして[ダウンロード]を選択すると、録画ファイルダウンロードウィンドウが起動します。

File Download(Camera 01) ✕

Download by Date
Download by Files
Download by Tag

	Start Time	End Time
<input checked="" type="checkbox"/> Duration 1	2016-05-13 17:07:01	2016-05-13 17:32:17
<input type="checkbox"/> Duration 2	2016-05-07 00:00:00	2016-05-13 23:59:59
<input type="checkbox"/> Duration 3	2016-05-07 00:00:00	2016-05-13 23:59:59
<input type="checkbox"/> Duration 4	2016-05-07 00:00:00	2016-05-13 23:59:59

The Selected Files Size: 86.64 MB
Free Disk Space Size: 35.90 GB

Settings

Flow Ctrl(kbps):

Download
Cancel

2. ファイルごと、日付ごと、またはタグごとにダウンロードする録画ファイルを選択できます。

注意: ダウンロード ファイルを保存するパスは、ローカル設定インターフェイス上で設定することができます。詳細については以下を参照してください: [ファイル保存先パス設定](#)。

- **日付指定ダウンロード:**
 - I. 範囲期間を有効にするためのチェックボックスをチェックします。
 - II. アイコンをクリックして範囲期間の開始時点と終了時点を指定します。
 - III. (オプション) 実際のネットワークの状態に応じてフロー制御を入力することもできます。
 - IV. [ダウンロード]をクリックすると録画ファイルのダウンロードが開始します。開始時点から終了時点までの期間に録画されたファイルがダウンロードされます。
- **ファイル指定ダウンロード:**
 - I. チェックボックスをチェックしてファイルを選択します(複数可)。
 - II. (オプション) [録画ファイルを結合]チェックボックスをチェックすると、複数のファイル(2 つ以上)を 1 つの大きなファイルに結合することができます。

注意: 結合したビデオ ファイルの最大サイズは 2GB です。

- III. (オプション) 実際のネットワークの状態に応じてフロー制御を入力することもできます。
- IV. [ダウンロード]をクリックし、録画ファイルのダウンロードを開始します。
- タグ指定ダウンロード:
 - I. チェックボックスをチェックしてファイルを選択します(複数可)。
 - II. (オプション) 実際のネットワークの状態に応じてフロー制御を入力することもできます。
 - III. [ダウンロード]をクリックすると録画ファイルのダウンロードが開始します。タグファイルの長さは1分で、追加されたタグの30秒前から30秒後までです。

イベント再生

目的:

イベント再生では、動体検知、ビデオ損失または顔検出などのイベントによってトリガーされた録画が検索できます。この機能が動作するには、接続されたデバイスがサポートしている必要があります。

イベント再生用の録画ファイルの検索

方法:

1. リモート再生ページを開きます。
2. カメラを選択し、通常再生を開始します。以下を参照: [通常再生](#)。
3.  をクリックすると、デフォルトで動体検知によってトリガーされた録画が検索されます。
4. ドロップダウンリストからイベント種別を選択すると、条件に適合した録画ファイルが表示されます。[フィルタ]テキストフィールドを通じて結果をフィルタすることができます。または、 をクリックして通常再生に戻ります。
5. (オプション) カレンダーアイコン  2015/01/23 10:40:41 をクリックして、カレンダーダイアログボックスを有効化します。

日付を選択し、正確な時間を設定します。 **現在時刻** をクリックし、現在の時刻を取得することができます。

[OK]をクリックすると、設定された日付近辺の7日間の録画ファイルが検索され、表示されます。

6. 検索結果リストから録画ファイルを選択し、録画ファイル上の  アイコンをクリックするか、録画ファイルをダブルクリックすると、対応する再生表示ウィンドウでビデオが再生されます。

録画ファイルの再生

イベントによってトリガーされた録画の検索後、以下の2つの方法で録画ファイルを再生することができます:

- ファイルリストによる再生

検索結果リストから録画ファイルを選択し、ツールバーの  アイコンをクリックするか、録画ファイル上の  アイコンをクリックするか録画ファイルをダブルクリックすると、対応する再生表示ウィンドウでビデオが再生されます。または  か  ボタンをクリックして前のイベントまたは次のイベントに移動できます。

- タイムラインによる再生

タイムラインは録画ファイルの時間の長さを示しています。タイムラインをクリックすることでビデオファイルの特定の時間を再生することができます。

 または  をクリックして、タイムラインバーにズームインまたはズームアウトすることができます。マウスホイールを利用してタイムラインに対するズームインまたはズームアウトを行うことができます。

タイムラインバーをドラッグすることで、前後の時間帯に移動することができます。

再生コントロール ツールバー、右クリックメニューおよび録画ファイルのダウンロードの説明については、[通常再生](#) を参照してください。イベント再生ではいくつかのアイコンは利用できません。

POS 再生

目的:

POS 情報を含む録画を検索します。

注意: この機能はデバイスによってサポートされており、かつデバイスには POS テキスト オーバーレイが設定されている必要があります。詳細についてはデバイスのユーザ マニュアルを参照してください。

POS 再生用の録画ファイルの検索

方法:

1. リモート再生ページを開きます。
2. カメラを選択し、通常再生を開始します。以下を参照: [通常再生](#)。
3.  をクリックして POS 再生インターフェイスに入ります。
4. 検索条件を入力します。

キーワード: POS 情報に含まれているキーワードを入力します。スペースで区切ってキーワードを 3 つまで入力できます。

フィルター: 検索用にキーワードを複数入力している場合、「|」を選択してキーワードのいずれかを含む POS 情報を検索するか、または「&」を選択してすべてのキーワードを含む POS 情報を検索することができます。

ケースセンシティブ: チェックボックスをチェックすると、大文字と小文字を区別して、POS 情報が検索できます。

5. [検索]をクリックすると、一致したファイルが表示されます。[フィルタ]テキスト フィールドを通じて結果をフィルタすることができます。
6. (オプション) カレンダー アイコン  2015/01/23 10:40:41 をクリックして、カレンダー ダイアログ ボックスを有効化します。

日付を選択し、正確な時間を設定します。 **現在時刻** をクリックし、現在の時刻を取得することができます。

[OK]をクリックすると、設定された日付近辺の 7 日間の録画ファイルが検索され、表示されます。

7. ファイルをダブルクリックして再生します。または、 をクリックして通常再生に戻ります。

録画ファイルの再生

録画の検索後、以下の 2 つの方法で録画ファイルを再生することができます:

- ファイル リストによる再生

検索結果リストから録画ファイルを選択し、ツールバーの  アイコンをクリックするか、録画ファイル上の  アイコンをクリックするか録画ファイルをダブルクリックすると、対応する再生表示ウィンドウでビデオが再生されます。

- タイムラインによる再生

タイムラインは録画ファイルの時間の長さを示しています。タイムラインをクリックすることでビデオファイルの特定の時間を再生することができます。

 または  をクリックして、タイムラインバーにズームインまたはズームアウトすることができます。マウスホイールを利用してタイムラインに対するズームインまたはズームアウトを行うことができます。

タイムラインバーをドラッグすることで、前後の時間帯に移動することができます。

再生コントロール ツールバー、右クリックメニューおよび録画ファイルのダウンロードの説明については、[通常再生](#) を参照してください。POS再生ではいくつかのアイコンは利用できません。

同期再生

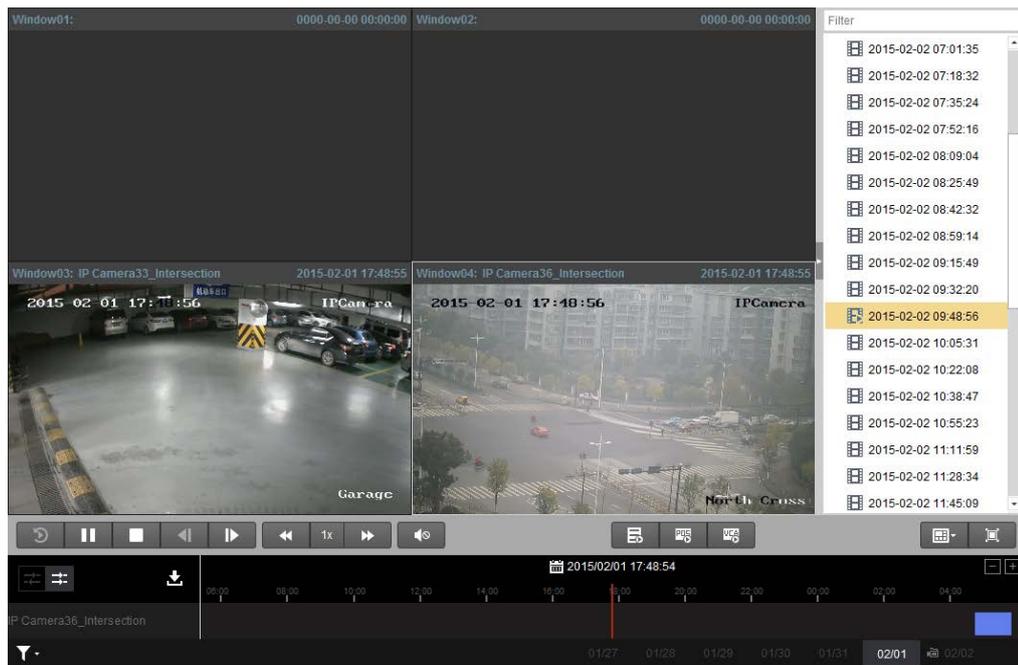
目的:

同期再生では録画ファイルの再生を同期させることができます。

注意: 最大 16 台までのカメラからの録画ファイルが同時に再生できます。

方法:

1. リモート再生ページを開きます。
2. 通常再生用の録画ファイルを検索します。(以下を参照してください: [通常再生](#))。再生には最低でも 2 つのカメラが含まれます。
3. ツールバーの  をクリックして、同期再生を有効化します。再生中のカメラが同期再生を開始します。



4. 同期再生を無効化するには  アイコンをクリックします。

再生コントロール ツールバー、右クリック メニューおよび録画ファイルのダウンロードの説明については、[通常再生](#) を参照してください。同期再生ではいくつかのアイコンは利用できません。

VCA 再生

目的:

検索対象録画ファイルに VCA ルールを適用して、VCA 検索、侵入およびライン横断を含む VCA イベントが発生した録画ファイルを検索することができます。この機能は関連性の高いビデオを探し出し、赤い色でマーキングします。関連性の高いビデオは等倍速で再生されますが、そうでないビデオは 8 倍速で再生されます。

- **VCA 検索:** 事前定義した領域の中で発生した、すべての関連する動体検知イベントを取得します。
- **侵入検知:** 事前定義した領域に人物、車両、その他の移動するオブジェクトが侵入してきているか検知します。
- **ラインクロス検知:** 仮想のラインを双方向で横断している人物、車両、その他の移動するオブジェクトを検知します。

注意: この機能はデバイスがサポートしている必要があります。

方法:

1. リモート再生ページを開きます。
2. カメラを選択し、通常再生を開始します(以下を参照: [通常再生](#))。
3.  をクリックして VCA 再生インターフェイスに入ります。
4. VCA の種別を選択し、検出領域を指定し、感度を設定します。

注意:

- VCA 検索では、 をクリックし、そして再生ウィンドウでクリックして移動させることでグリッドの四角形を検出領域として指定します。または  をクリックしてカメラが撮影するエリア全体を検出領域として指定することができます。
 - 侵入検知では、 をクリックして再生ウィンドウ上でクリックすると、検出領域の各頂点を指定することができます。
 - ライン横断検知では、 をクリックして再生ウィンドウ上でクリックして領域の始点を設定し、マウスを動かして再度クリックすると、ラインの終点を設定することができます。
 - 指定した領域を削除する場合、 をクリックしてそれを除去します。
5. [検索]をクリックすると、指定したエリアで発生した VCA イベントがタイムライン上で赤くマークされます。

または、 をクリックして通常再生に戻ります。

録画ファイルの再生

録画の検索後、以下の 2 つの方法で録画ファイルを再生することができます:

- ファイルリストによる再生

検索結果リストから録画ファイルを選択し、ツールバーの  アイコンをクリックするか、録画ファイル上の  アイコンをクリックするか録画ファイルをダブルクリックすると、対応する再生表示ウィンドウでビデオが再生されます。

- タイムラインによる再生

タイムラインは録画ファイルの時間の長さを示しています。タイムラインをクリックすることでビデオファイルの特定の時間を再生することができます。

 または  をクリックして、タイムラインバーにズームインまたはズームアウトすることができます。マウスホイールを利用してタイムラインに対するズームインまたはズームアウトを行うことができます。

タイムラインバーをドラッグすることで、前後の時間帯に移動することができます。

再生コントロール ツールバー、右クリック メニューおよび録画ファイルのダウンロードの説明については、[通常再生](#) を参照してください。VCA 再生ではいくつかのアイコンは利用できません。

フィッシュアイ再生

目的:

録画ファイルはフィッシュアイ拡張モードで再生することができます。

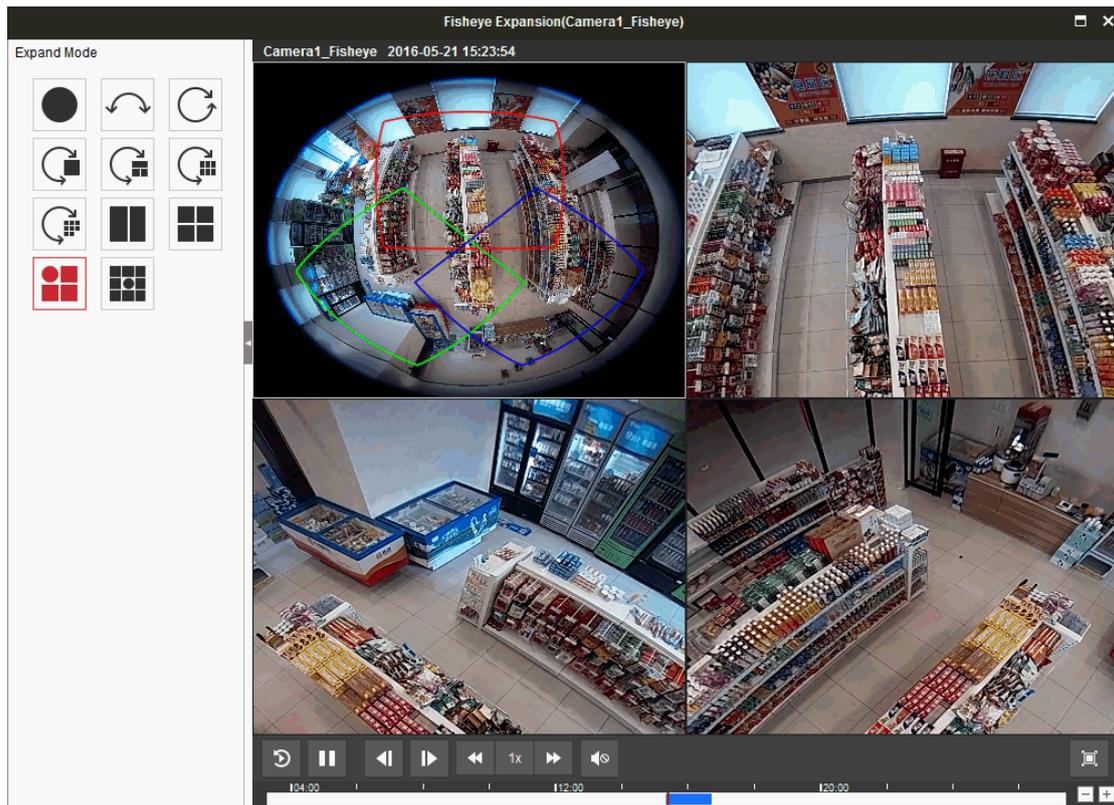
方法:

1. リモート再生ページを開きます。
2. カメラを選択し、通常再生を開始します。通常再生および再生コントロールに関する設定の詳細については、以下を参照してください: [通常再生](#)。
3. 再生中のビデオを右クリックして[**フィッシュアイ拡張**]を選択し、フィッシュアイ拡張モードに入ります。再生の拡張モードを任意に選択できます。

注意: デバイスのマウント種別を選択すると関連する拡張モードのリストが表示されます。

- **フィッシュアイ:** 魚眼ビュー モードではカメラの広角ビュー全体が表示されます。このビュー モードは、魚の凸面状の目の視界に似ているため「フィッシュアイ」と呼ばれています。このレンズは広いエリアの曲面的な画像を生成します。画像の中の物体に対するパースペクティブやアングルは湾曲します。
- **デュアル-180°パノラマ / 360°パノラマ:** パノラマ ビュー モードでは、湾曲したフィッシュアイ画像がいくつかのキャリブレーション手法によって通常のパースペクティブを持った画像に変換します。
- **PTZ:** PTZ ビューはフィッシュアイ ビューまたはパノラマ ビュー上の一部の定義されたエリアに対するクローズ アップ ビューで、電子的な PTZ 機能をサポートしています。これは e-PTZ とも呼ばれます。

注意: 各 PTZ ビューにはフィッシュアイ ビューおよびパノラマ ビュー上で、特定のナビゲーション ボックスによってマークされます。ナビゲーション ボックスをフィッシュアイ ビューまたはパノラマ ビュー上でドラッグして PTZ ビューを調整するか、または PTZ ビューをドラッグしてビューを希望の角度に調整してください。



再生中のウィンドウを右クリックすると、全画面モードに切り替えられます。

キーボードの *ESC* キーを押すか、ウィンドウを右クリックして[全画面モードの終了]を選択すると、全画面モードが終了します。

フィッシュアイ再生ページでは、以下のツールバー ボタンが利用できます:

	逆再生	ビデオ ファイルを逆方向に再生します。
	一時停止/再開	再生を一時停止/再開します。
	シングルフレーム (逆再生)	ビデオ ファイルを1フレームずつ、逆方向に再生します。
	シングルフレーム	ビデオ ファイルを1フレームずつ再生します。
	スロー/高速再生	再生速度を遅く/速くします。
	ボリューム	音声のオン/オフの切り替えおよび音量の調整を行います。
	全画面	ビデオ再生を全画面モードで表示します。 <i>ESC</i> を押すと終了します。

E マップ管理

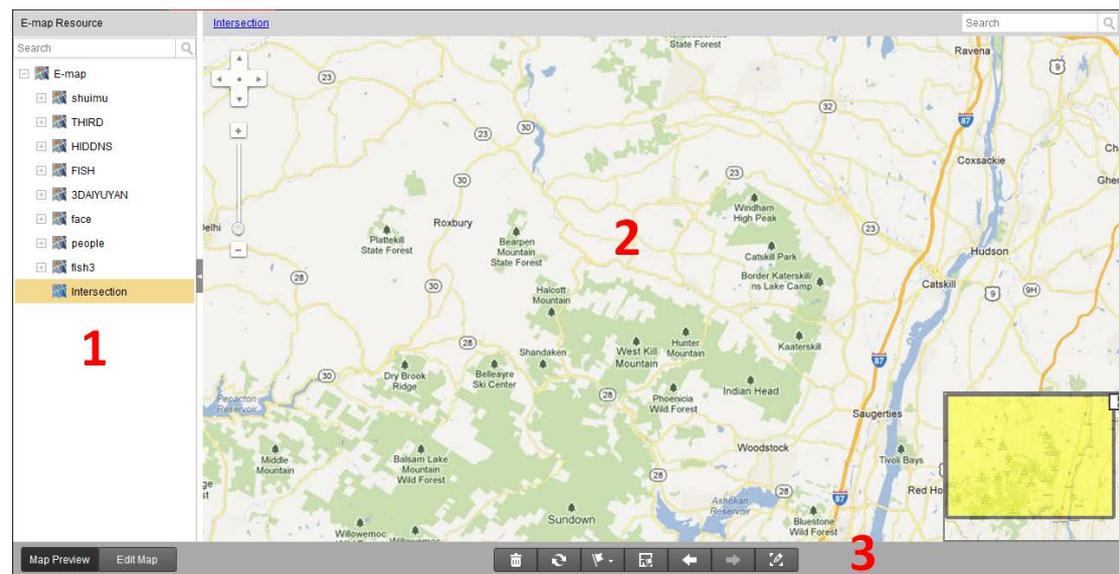
E マップ管理

目的:

E マップ機能は設置されたカメラ、アラーム入力デバイスおよびアラーム出力デバイスの位置や分布についての視覚的な全体像を提供します。地図上でカメラのライブビューを確認することができ、アラームがトリガーされた場合には地図から通知メッセージが受け取れます。

コントロールパネルの  アイコンをクリックするか、

または[ビュー]->[E マップ]をクリックしてE マップ ページを開きます。



E マップ ページ

1 E マップ リスト

2 マップ表示エリア

3 E マップ ツールバー

E マップの追加

目的:

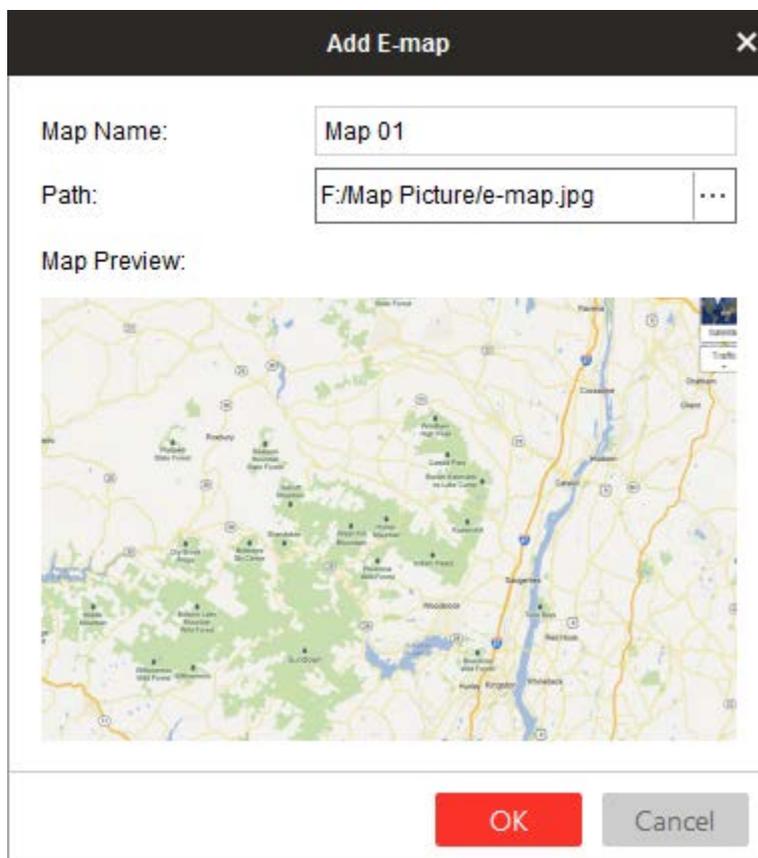
ホットスポットとホットリージョン用の親マップとして、Eマップを追加する必要があります。

注意: 追加したEマップはiVMS-5200プロに保存することができ、対応する許可を持つ他のユーザがそのEマップにアクセスできます。

方法:

1. Eマップページを開きます。
2. [マップ編集]をクリックし、マップ編集モードを有効化します。
3. [Eマップ]アイコンを選択し、**+**をクリックしてマップ追加ダイアログボックスを開きます。
4. 追加したマップの内容がわかるような任意の名前を入力します。
5.  アイコンをクリックして、ローカルパス上の画像ファイルを選択します。マップのプレビューを確認できます。
6. [OK]をクリックして設定を保存します。

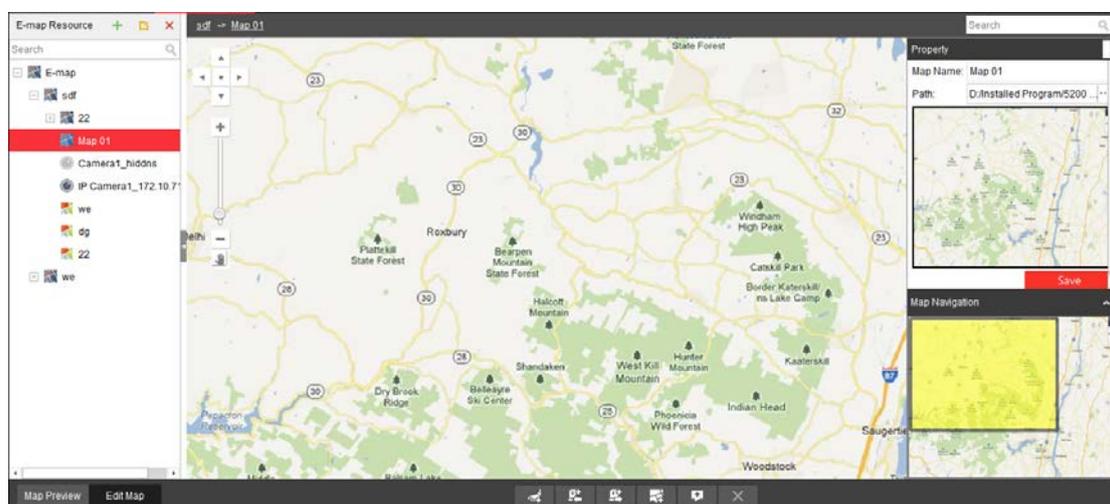
注意: マップの画像フォーマットは*.png、*.jpgまたは*.bmpのみが利用可能です。



作成したマップには5レベルまでのサブマップを追加することもできます。ナビゲーションバー上のマップ名をクリックすることで対応するマップに即座に切り替えることができます。

追加されたマップはマップ表示エリアに表示されます。マウスホイールを使ってマップにズームインまたはズームアウトできます。右下の隅の黄色のウィンドウをクリックアンドドラッグするか、方向ボタンとズームバーを利用してマップエリアの表示を調整できます。マップ上の複数の要素を選択するには、をクリックし(に変わります)、そしてマップエリア上でクリックアンドドラッグすることで要素を選択できます。

プロパティパネルで名前とマップの画像ファイルを任意に編集することもできます。



E マップ ツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックするか、[マッププレビュー]をクリックしてマップ編集モードもしくはマッププレビューモードに入ります。

マップ編集モードでのE マップ ツールバー:



マッププレビューモードでのE マップ ツールバー:



以下の表に E マップ ページのボタンを示します:

	マップの追加	新規のマップを追加します。
	マップの編集	マップの名前とファイルパスを含む、マップ情報を

	マップの削除	編集します。 現在のマップを削除します。
	カメラホットスポットを追加	カメラをマップのホットスポットとして追加します。
	アラーム入力ホットスポットを追加	アラーム入力センサーをマップのホットスポットとして追加します。
	アラーム出力ホットスポットを追加	アラーム出力デバイスをマップのホットスポットとして追加します。
	ホットリージョンを追加	既に存在するマップをマップのホットリージョンとして追加します。
	ラベルを追加	マップ、ホットスポットまたはホットリージョンのラベルを説明付きで追加します。
	削除	選択したホットスポットまたはリージョンを削除します。
	アラーム情報のクリア	マップに表示されたアラーム情報をクリアします。
	更新	すべてのEマップ情報を更新します。
	プリセット	すべてのマップの追加されたプリセットを表示します。
	プリセットとして保存	現在のシーンをプリセットとして保存します。
	前	クライアントはマップの録画の切り替えを記憶しておくことができます。クリックして前の録画に移動します。
	次	クライアントはマップの録画の切り替えを記憶しておくことができます。クリックして次の録画に移動します。
	キャプチャー&編集	対象要素(例: カメラ、アラーム入力)を含む現在のシーンをキャプチャし、キャプチャした画像を編集し、ローカル PC に保存します。

ホットスポット機能

ホットスポット機能

目的:

カメラ、アラーム入力およびアラーム出力はマップ上に追加でき、ホットスポットと呼ばれます。ホットスポットはカメラ、アラーム入力およびアラーム出力

ム出力の位置を示します。またホットスポットを通じて、監視シナリオのアラーム情報を取得できます。

ホットスポットの追加

カメラをホットスポットとして追加する

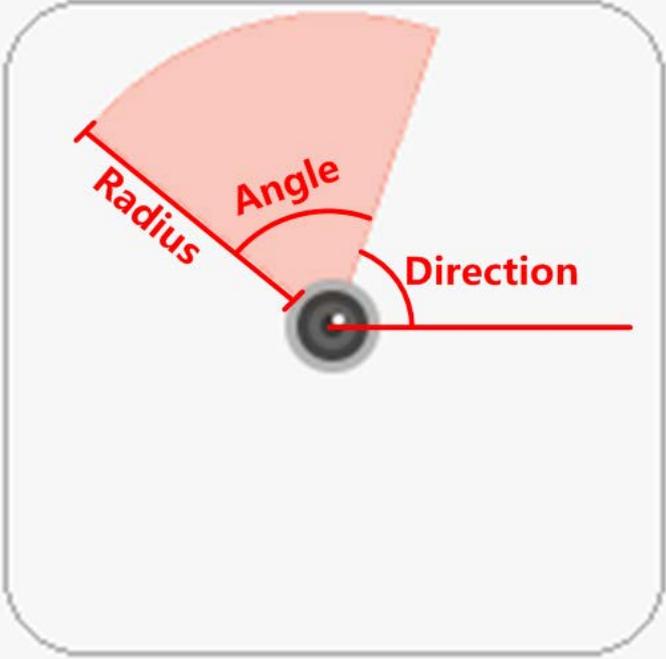
方法:

1. E マップ ツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックしてマップ編集モードに入ります。
2. マップを選択し、ツールバーのアイコン  をクリックして、ホットスポット追加ダイアログボックスを開きます。
3. チェックボックスをチェックし、追加するカメラ(複数可)を選択します。[リンク済みカメラ]フィールドにキーワードを入力することでカメラを検索することもできます。
4. オプションとして、ホットスポット名を編集したり、ホットスポットアイコンを選択し、名前の表示色を選び、ホットスポットの説明を追加することもできます。[アイコン管理]をクリックしてローカル画像ファイルをアップロードしてカスタマイズアイコンとして設定することもできます。

注意: アイコン画像のフォーマットは*.png、*.jpg または*.bmp のみで、画像のサイズは 32*32 ピクセルでなければなりません。

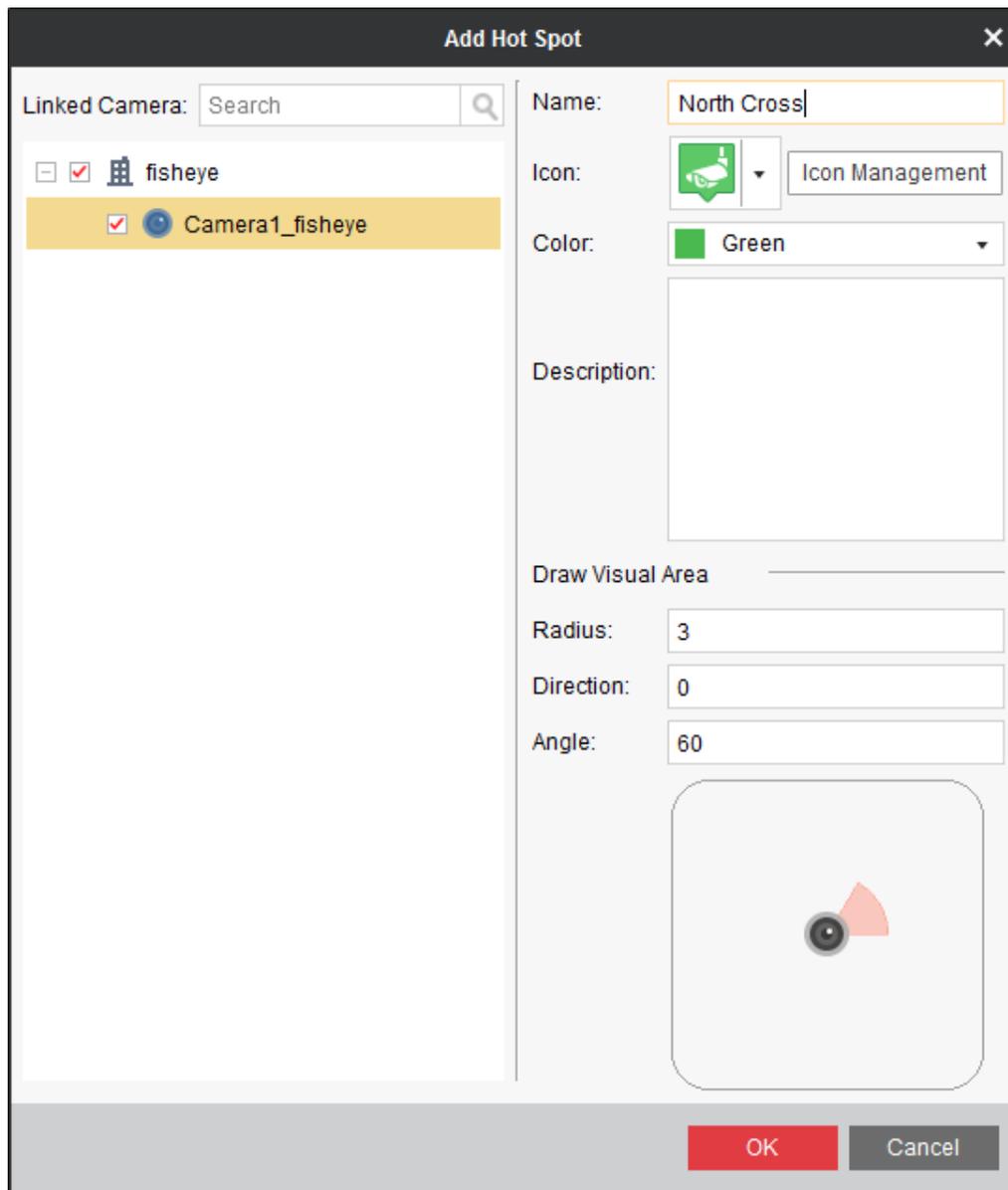
5. ビジュアルエリア指定では、カメラの範囲、方向および角度を含むカメラのビジュアルエリアを編集します。表示されているセクターをクリック アンド ドラッグして範囲や方向を調整することもできます。

Radius:	10
Direction:	71
Angle:	70



The diagram illustrates the configuration of a camera hot spot. It features a central camera icon with a lens. A red sector extends from the camera, representing the field of view. The radius of this sector is labeled 'Radius', the angle is labeled 'Angle', and the direction of the sector is labeled 'Direction'.

6. [OK]をクリックして設定を保存します。マップ上にカメラアイコンがホットスポットとして追加されます。カメラアイコンをクリックアンドドラッグしてホットスポットを任意の場所に移動することができます。クリックしてホットスポットを選択すると、プロパティパネル上で設定の確認や変更ができます。



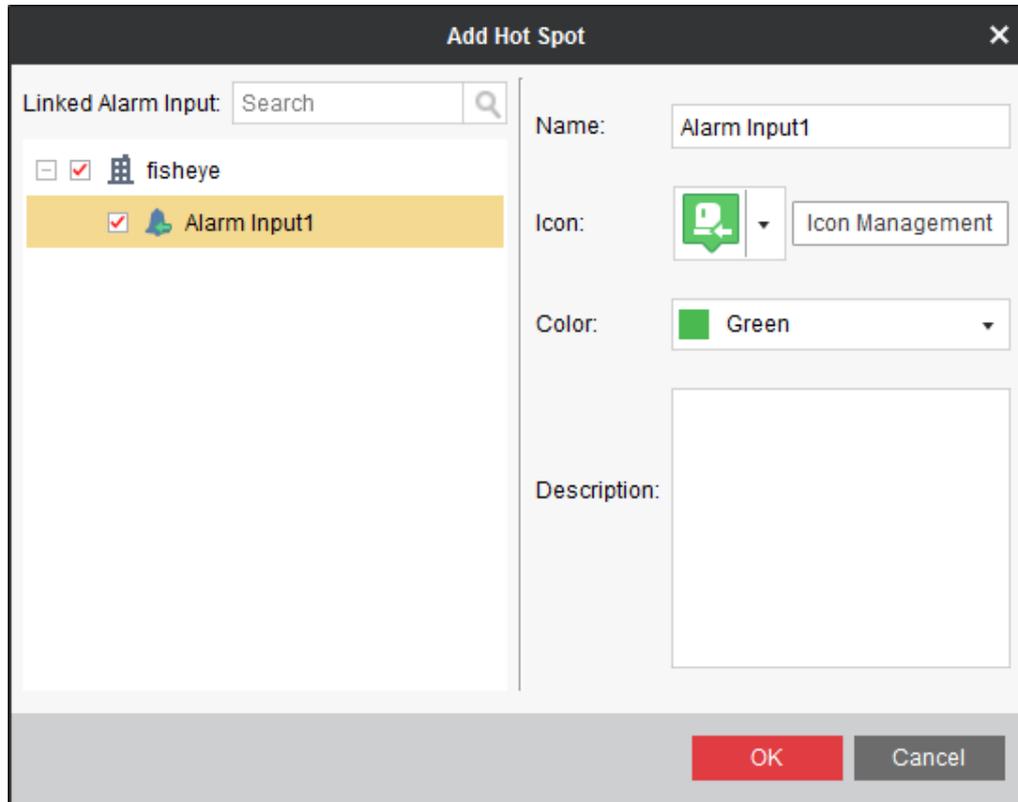
アラーム入力をホットスポットとして追加する

方法:

1. E マップ ツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックしてマップ編集モードに入ります。
2. マップを選択し、ツールバーのアイコン  をクリックして、ホットスポット追加ダイアログボックスを開きます。
3. チェックボックスをチェックし、追加するアラーム入力(複数可)を選択します。[リンク済みアラーム入力]フィールドにキーワードを入力することでアラーム入力を検索することもできます。
4. オプションとして、ホットスポット名を編集したり、ホットスポットアイコンを選択し、名前の表示色を選び、ホットスポットの説明を追加することもできます。[アイコン管理]をクリックしてローカル画像ファイルをアップロードしてカスタマイズアイコンとして設定することもできます。

注意: アイコン画像のフォーマットは*.png、*.jpg または*.bmp のみで、画像のサイズは 32*32 ピクセルでなければなりません。

5. [OK]をクリックして設定を保存します。マップ上にアラーム入力アイコンがホットスポットとして追加されます。アラーム入力アイコンをクリックアンドドラッグしてホットスポットを任意の場所に移動することができます。クリックしてホットスポットを選択すると、プロパティパネル上で設定の確認や変更ができます。



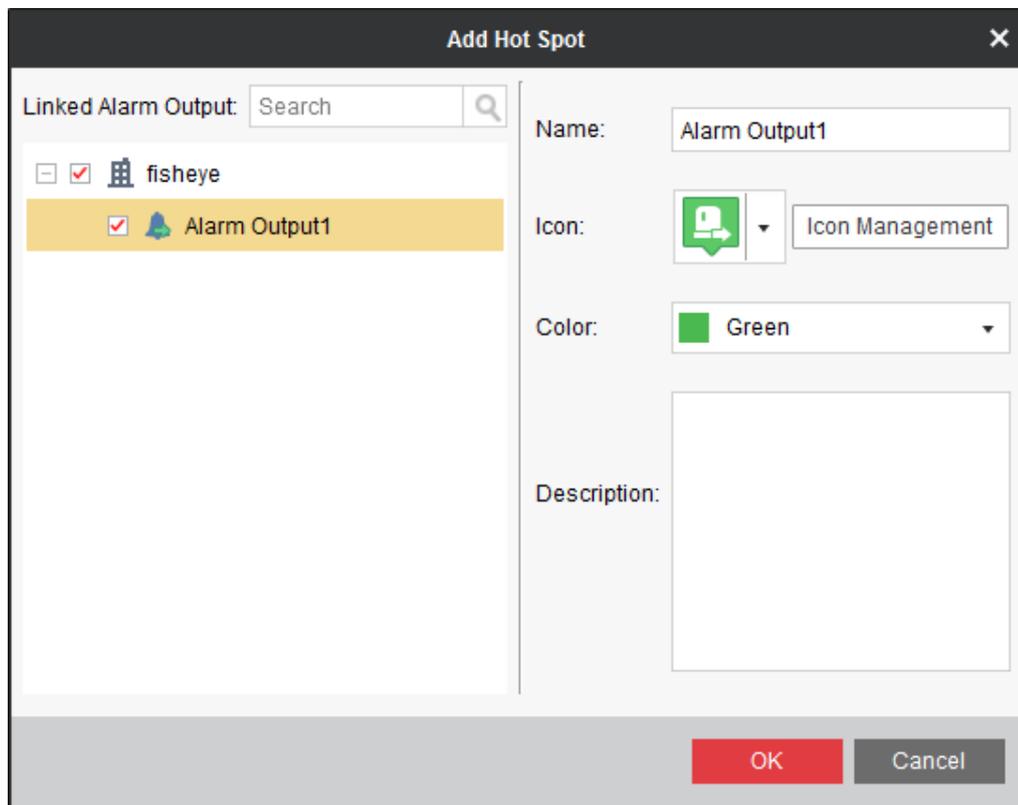
アラーム出力をホットスポットとして追加する

方法:

1. Eマップ ツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックしてマップ編集モードに入ります。
2. マップを選択し、ツールバーのアイコン  をクリックして、ホットスポット追加ダイアログボックスを開きます。
3. チェックボックスをチェックし、追加するアラーム出力(複数可)を選択します。[リンク済みアラーム出力]フィールドにキーワードを入力することでアラーム出力を検索することもできます。
4. オプションとして、ホットスポット名を編集したり、ホットスポットアイコンを選択し、名前の表示色を選び、ホットスポットの説明を追加することもできます。[アイコン管理]をクリックしてローカル画像ファイルをアップロードしてカスタマイズアイコンとして設定することもできます。

注意: アイコン画像のフォーマットは*.png、*.jpg または*.bmp のみで、画像のサイズは 32*32 ピクセルでなければなりません。

5. [OK]をクリックして設定を保存します。マップ上にアラーム出力アイコンがホットスポットとして追加されます。アラーム入力アイコンをクリックアンドドラッグしてホットスポットを任意の場所に移動することができます。クリックしてホットスポットを選択すると、プロパティパネル上で設定の確認や変更ができます。



ホットスポットの編集

目的:

名前、色、アイコンなどの、マップに追加したホットスポットの情報を編集することができます。

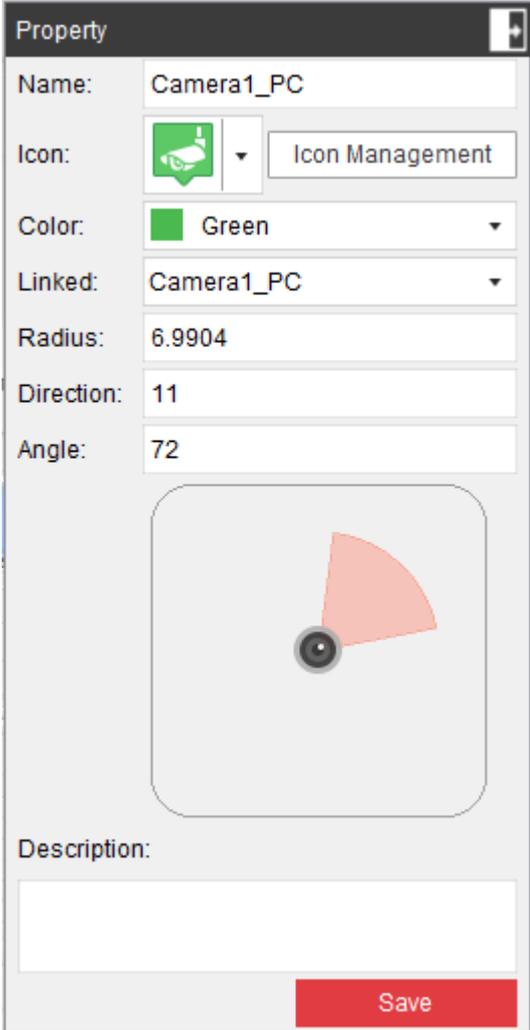
方法:

1. Eマップ ツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックしてマップ編集モードに入ります。
2. マップ上のホットスポットアイコンをクリックすると、プロパティパネル上にホットスポットの設定が表示されます。
3. テキストフィールドでホットスポット名を編集できます。また、色、アイコン、リンク済みカメラ、アラーム入力またはアラーム出力を選択したり、ホットスポットの説明を追加できます。

注意: カメラのホットスポットについてはそのカメラのビジュアルエリアを編集できません。

4. [保存]をクリックし、新しい設定を保存します。

ホットスポットを削除するにはホットスポットを右クリックして[削除]をクリックするか、またはホットスポットを選択し、ツールバーの  をクリックします。



Property

Name: Camera1_PC

Icon:  Icon Management

Color: Green

Linked: Camera1_PC

Radius: 6.9904

Direction: 11

Angle: 72

Description:

Save

ホットスポットのプレビュー

方法:

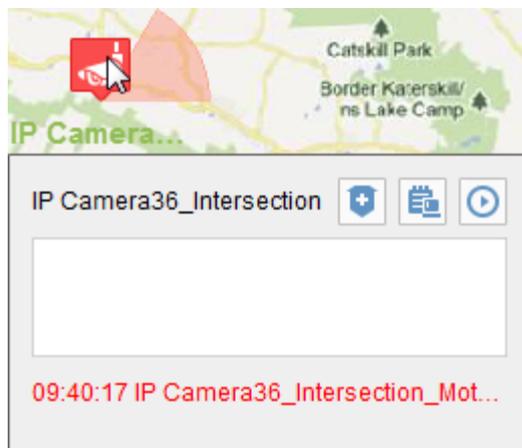
1. Eマップ ツールバーの[マップ プレビュー]ボタンをクリックしてマップ プレビュー モードに入ります。
2. マウスをホットスポットに動かすとウィンドウがポップアップし、ホットスポットに関連する機能が表示されます。
 - カメラ ホットスポットの場合: カメラのライブ ビューの確認、その説明の表示、警戒コントロールの設定、アラーム履歴のログ情報の表示および保存が選択できます。
 - アラーム入力ホットスポットの場合: 説明の表示、警戒コントロールの設定、アラーム履歴のログ情報の表示および保存が選択できます。
 - アラーム出力ホットスポットの場合: リンク済みアラーム出力のオン、オフ切り替えができます。

または、ホットスポットを右クリックすると、以下の機能が右クリックメニューから利用できます:

- カメラホットスポットの場合: カメラのライブビューの確認、警戒コントロールの設定、アラーム履歴のログ情報の表示および保存、カメラのアラーム情報すべての消去が選択できます。
 - アラーム入力ホットスポットの場合: 警戒コントロールの設定、アラーム履歴のログ情報の表示および保存、アラーム入力のアラーム情報すべての消去が選択できます。
 - アラーム出力ホットスポットの場合: リンク済みアラーム出力のオン、オフ切り替えができます。
3. トリガーされたアラームがある場合、ホットスポットアイコンの色は赤に変わり(例:



), 点滅します。マップアイコンの表示は  のようになり、カメラアイコンの表示は  のようになります。マウスをその上に移動するとアラーム情報のチェックができます。



カメラホットスポットの場合、以下の手順を実行することでそのライブビューが確認できます。

1. Eマップツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックしてマップ編集モードに入ります。
2. マップ上のホットスポットアイコンをクリックして選択すると、右側のパネル上にライブビューパネルが表示されます。
3.  をクリックしてライブビューパネルを展開すると、リンク済みカメラのライブビデオが閲覧できます。

警戒コントロール

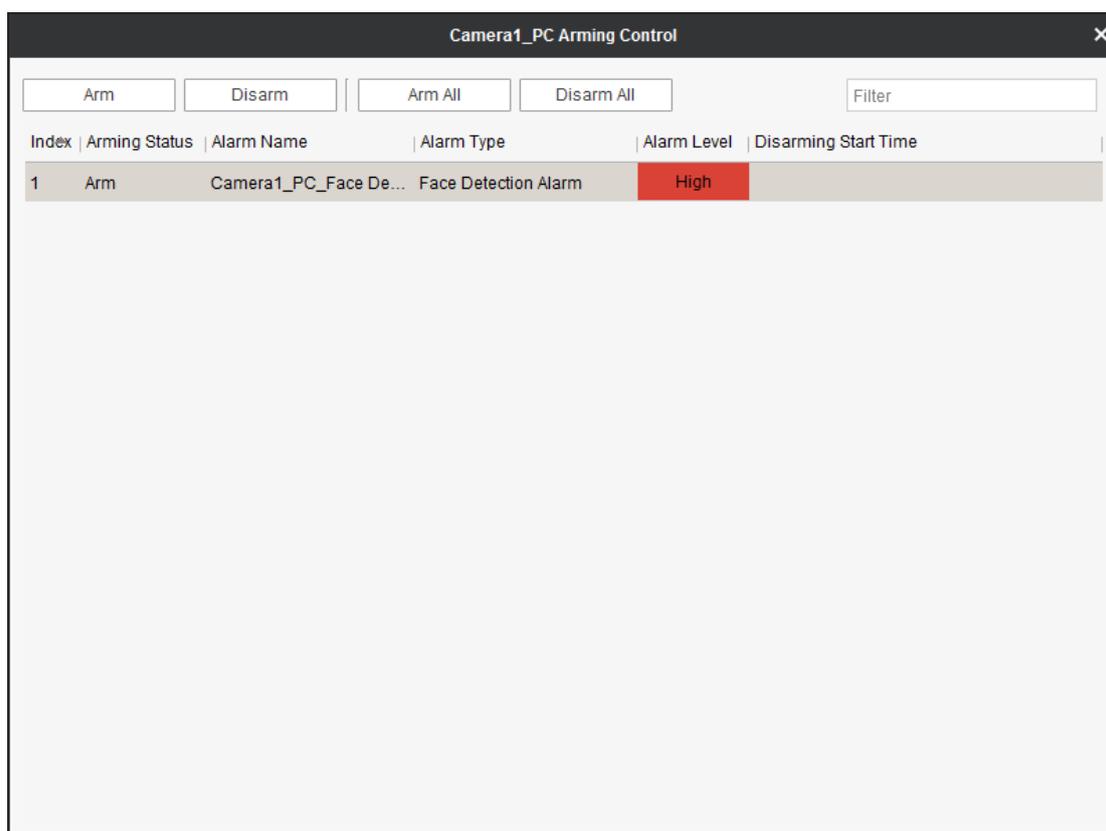
目的:

警戒コントロールではホットスポットの警戒開始および解除をコントロールできます。

方法:

1. ポップアップ ウィンドウ上、またはホット スポットの右クリック メニューから  をクリック、あるいは[警戒コントロール]を選択することで、警戒コントロール ウィンドウを起動することができます。
2. 警戒ステータス、アラーム名、アラーム種別など、有効化されたイベント検知(例: 動体検知、ビデオ損失)のステータスが表示されます。[監視解除/監視をすべて解除]をクリックしてイベント検知をすべて無効化し、その期間を設定することができます。また、[監視開始/監視をすべて開始]をクリックしてイベント検知を有効化することもできます。

例: 監視解除の期間を 1 時間に設定した場合、イベント検知は 1 時間後に再度有効化されます。



履歴アラーム

目的:

アラームに関連するログ ファイルを確認し、必要に応じてお使いの PC に保存することができます。

方法:

1. ポップアップ ウィンドウ上、またはホット スポットの右クリック メニューから  をクリック、あるいは[アラーム履歴]を選択することで、アラーム履歴ウィンドウを起動することができます。

2. 検索するアラーム種別を選択し、始点時刻と終点時刻を[始点]および[終点]フィールドに設定して[検索]をクリックするとアラームのログ ファイルの検索が開始します。
3. 検索結果はリストパネルに表示され、詳細情報が確認できます。
4. オプションとして、ログ ファイルを選択し(複数可)、[ログのバックアップ]をクリックすることでお使いの PC にログを保存できます。

FC History Alarm

Alarm type: All

From: 2015-01-30 00:00:00 To: 2015-01-30 23:59:59

Search

Search Results Backup Log

Operation Time	Name	Log Type	Description Inf...	Device Name	Device Type	Area
2015-01-30 00:00:10		Alarm Log	Face Capture ...	FC	VCA Device	YCC
2015-01-30 00:00:10		Alarm Log	Face Capture ...	FC	VCA Device	YCC
2015-01-30 00:00:10		Alarm Log	Face Capture ...	FC	VCA Device	YCC
2015-01-30 00:00:10		Alarm Log	Face Capture ...	FC	VCA Device	YCC
2015-01-30 00:00:12		Alarm Log	Face Capture ...	FC	VCA Device	YCC
2015-01-30 00:00:12		Alarm Log	Face Capture ...	FC	VCA Device	YCC
2015-01-30 00:00:12		Alarm Log	Face Capture ...	FC	VCA Device	YCC
2015-01-30 00:00:12		Alarm Log	Face Capture ...	FC	VCA Device	YCC
2015-01-30 00:00:13		Alarm Log	Face Capture ...	FC	VCA Device	YCC
2015-01-30 00:00:13		Alarm Log	Face Capture ...	FC	VCA Device	YCC

Total:22333 Page:1/2234 Item Per Page: Self-adaptive

ホット リージョン機能

ホット リージョン機能

目的:

ホット リージョン機能はマップを別のマップにリンクさせます。マップを別のマップにホット リージョンとして追加する場合、追加されるマップへのリンクのアイコンがメイン マップの上に表示されます。追加されたマップは子マップと呼ばれ、ホット リージョンを追加した先のマップは親マップとなります。

注意: マップは一度だけ、ホット リージョンとして追加できます。

ホットリージョンの追加

始める前に:

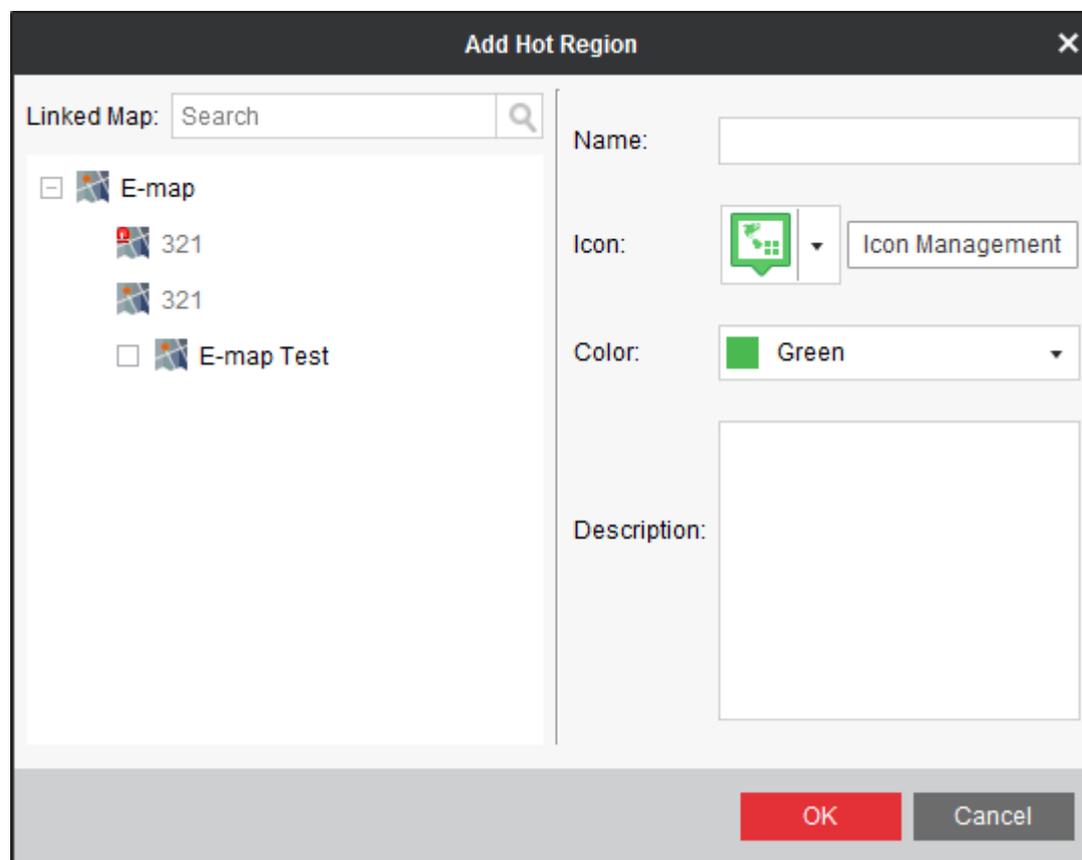
少なくとも2つのマップを追加しておく必要があります。マップ追加の設定の詳細については、[Eマップの追加](#)を参照してください。

方法:

1. Eマップツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックしてマップ編集モードに入ります。
2. 追加されたマップを親マップとして選択します。
3. ツールバーの  アイコンをクリックして、ホットリージョン追加ダイアログボックスを開きます。
4. チェックボックスをチェックし、リンクする子マップを選択します(複数可)。
5. オプションとして、ホットリージョン名を編集したり、ホットリージョンアイコンを選択したり、ホットリージョン名の表示色を選んだり、ホットリージョンの説明を追加することもできます。[アイコン管理]をクリックしてローカル画像ファイルをアップロードしてカスタマイズアイコンとして設定することもできます。

注意: アイコン画像のフォーマットは*.png、*.jpg または*.bmp のみで、画像のサイズは 32*32 ピクセルでなければなりません。

6. [OK]をクリックして設定を保存します。親マップに、子マップアイコンがホットリージョンとして追加されます。子マップアイコンをクリックアンドドラッグしてホットリージョンを任意の場所に移動することができます。



The screenshot shows the 'Add Hot Region' dialog box. It features a search field for 'Linked Map' and a list of available maps. The 'E-map' is selected. The right side of the dialog allows for configuring the hot region's name, icon, color (currently set to Green), and description. The 'OK' button is highlighted in red.

ホットリージョンの編集

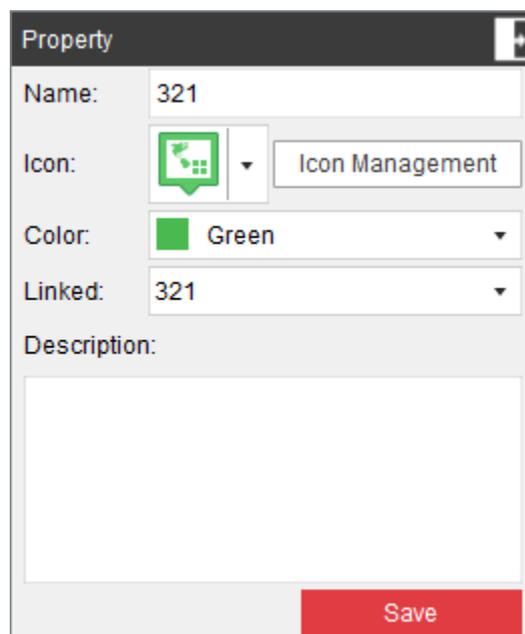
目的:

名前、色、アイコンなどの、親マップ上のホットリージョンの情報を編集することができます。

方法:

1. Eマップツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックしてマップ編集モードに入ります。
2. 親マップ上のホットリージョンアイコンをクリックすると、プロパティパネル上にホットリージョンの設定が表示されます。
3. テキストフィールドでホットリージョンの名前を編集したり、色やアイコン、リンクされた子マップを選択したり、ホットリージョンの説明を編集できます。
4. [保存]をクリックし、新しい設定を保存します。

ホットリージョンを削除するにはホットリージョンを右クリックして[削除]をクリックするか、またはホットリージョンを選択し、ツールバーの  をクリックします。



Property

Name: 321

Icon:  Icon Management

Color:  Green

Linked: 321

Description:

Save

ホットリージョンのプレビュー

方法:

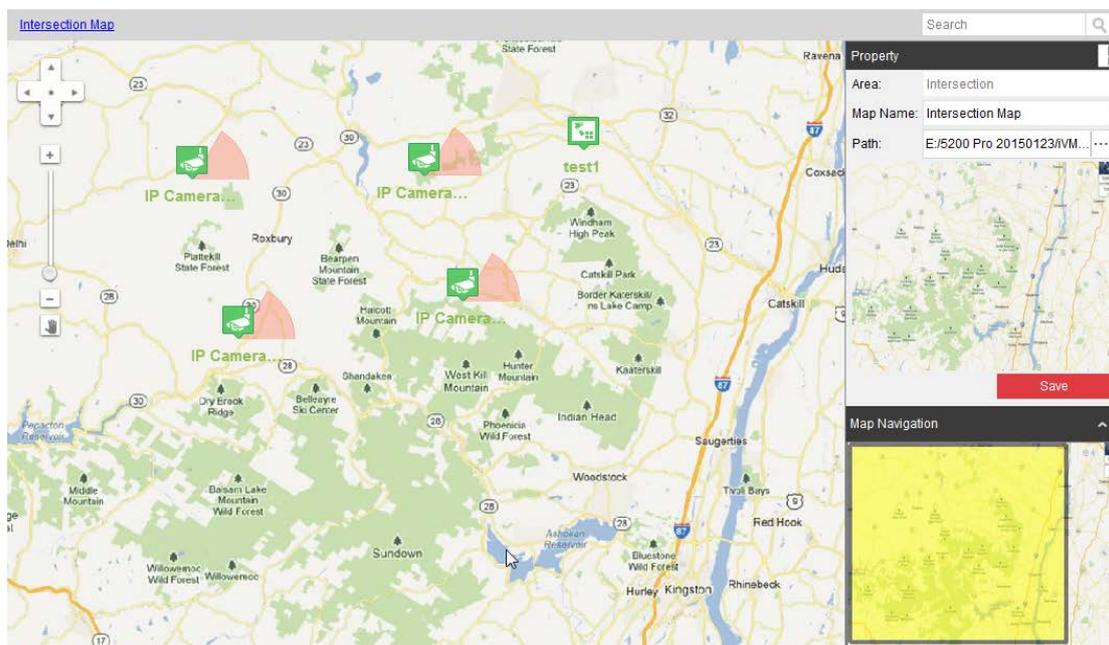
1. Eマップツールバーの[マッププレビュー]ボタンをクリックしてマッププレビューモードに入ります。

2. マウスをホットリージョンに動かすとウィンドウがポップアップし、関連する機能が表示されます。

その説明を確認したり、リンクされた子マップに移動できます。

またはホットリージョンを右クリックし、リンクされた子マップへの移動や、ホットリージョンのすべてのアラーム情報の消去を選択することもできます。

3. ホットスポットもホットリージョンに追加することができます。
4. ツールバーの  アイコンをクリックして、親マップに戻ることができます。



プリセット機能

目的:

E マップのプリセットはマップ上で頻繁に利用されるポイントをプリセットとして設定し、そのポイントのプレビューをより簡便に生成できるようにする機能を提供します。

方法:

1. E マップ ツールバーの[マップ プレビュー]ボタンをクリックしてマップ プレビュー モードに入ります。
2. マップを選択し、プリセットとして設定したい任意のポイントに調整します。調整には以下の方法が利用できます: マップまたは右下隅の黄色いウィンドウのクリック アンド ドラッグ、または方向ボタンのクリックによる位置の調整; マウス ホイールまたはズーム バーを利用したズーム インおよびズームアウト。

3. ツールバーの  をクリックして現在のポイントをプリセットとして保存します。名前をカスタマイズすることもできます。

注意: 最大 10 のプリセットを設定できます。

4. 登録されたプリセットを表示するには、ツールバーの  をクリックし、プレビューを表示するプリセットを選択します。プリセット上にマウスを移動した際に表示される  をクリックするとプリセットを削除できます。



ビジネスインテリジェンス

目的:

ビジネス インテリジェンス(以降 BI と略します)機能によって、たとえばレジのパフォーマンスを知るために各レジのトランザクション量の合計数を表示する等、生のデータをビジネス解析に役立つ情報に変換することができます。

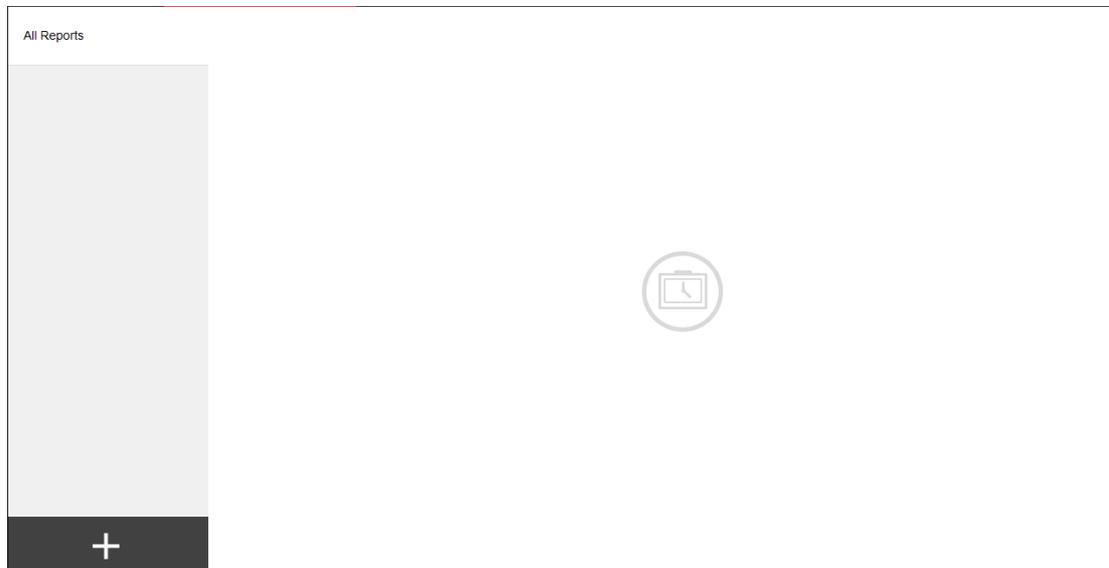
始める前に:

POS 端末を含むエリアを iVMS-5200 プロに登録しておく必要があります。

注意: エリア管理の詳細については *iVMS-5200 プロフェッショナル ウェブクライアントのユーザ マニュアル*を参照してください。

コントロールパネルの  アイコンをクリックするか、

または[ビュー]->[ビジネス インテリジェンス]をクリックしてビジネス インテリジェンス ページを開きます。

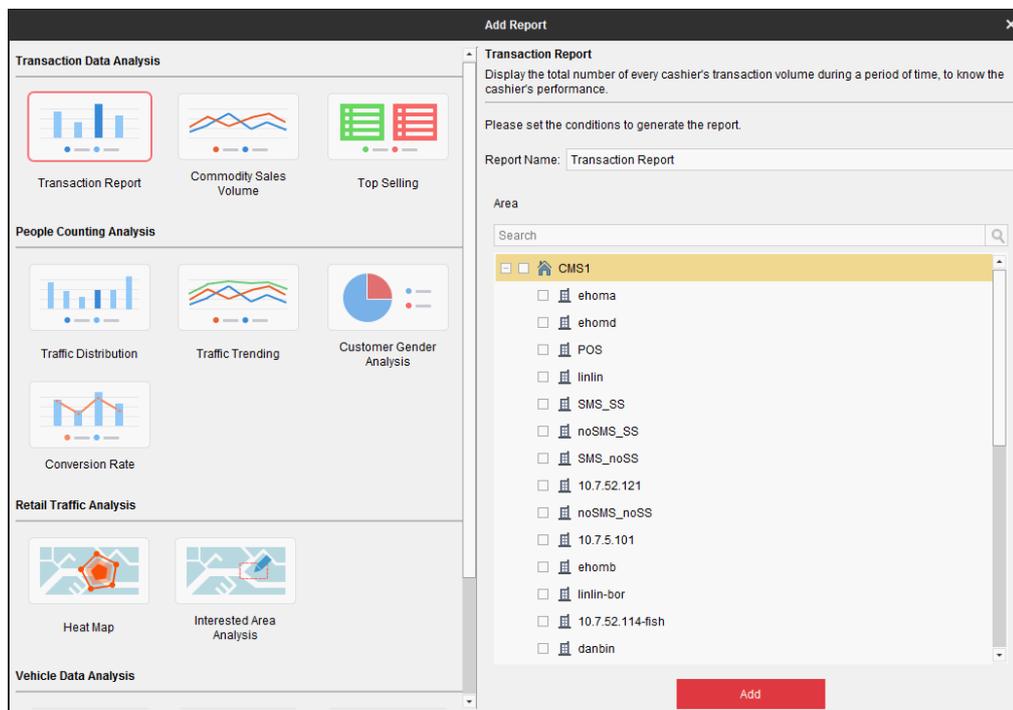


レポートの追加

方法:

1. BI ページを開きます。
2.  をクリックするとレポート追加ウィンドウがポップアップします。異なる種類のレポートを選択して追加することができます。以下のレポートが利用可能です:

- **取引レポート:** 期間中の各レジのトランザクション量の合計を表示し、レジのパフォーマンスを判断します。
- **販売量:** 選択した商品の販売数を算出して、マネージャーの営業判断を補助します。
- **トップセールス:** マネージャーは売れ行きが最もよいものと最もよくないものを把握して、商品在庫の再配置ができます。
- **トラフィック分布:** 期間中の各店舗の合計トラフィック量のレポートを提供して、トラフィックが最低の店舗を知り、改善のための行動を取ります。
- **トラフィックトレンド:** これまでのトラフィックデータに沿って今後のトラフィックフローを予測します。
- **顧客の性別分析:** どの性別グループに製品の人気があるのか明確な視点を示します。
- **転換率:** コンバージョン率を算出して、商品が市場ニーズに合致しているか判断します。
- **ヒートマップ:** 指定のカメラから混雑時間を知り、マネージャーがより優れたカスタマー体験を提供するための情報を得る補助になります。
- **インタレストエリア解析:** 最も興味深いエリアやカスタマーがほとんどひいきにしていないエリアを示します。



3. 追加するレポート種別を選択し、関連するパラメータを設定してレポートを生成します。
 - **取引レポート:** レポートにカスタマイズした名前を設定し、チェックボックスをチェックしてエリアを選択することで、そのエリアにあるデバイスのレポートを生成します。選択したエリアは POS 端末を含んでいなければなりません。
 - **販売量:** レポートにカスタマイズした名前を設定し、商品のバーコードを入力(最大5商品まで)することで、その販売量を計算できます。
 - **トップセールス:** レポートにカスタマイズした名前を設定し、チェックボックスをチェックしてエリアを選択すると、そのエリアにあるデバイスで最も売れ行きのよい商品が表示されます。選択したエリアは POS 端末を含んでいなければなりません。
 - **トラフィック分布:** レポートにカスタマイズした名前を設定し、チェックボックスをチェックしてエリアを選択すると、そのエリアのトラフィック量が表示されます。選択したエリアは人数カウントができるネットワークカメラを含んでいなければなりません。

- **トラフィックトレンド:** レポートにカスタマイズした名前を設定し、チェックボックスをチェックしてエリアを選択すると、そのエリアのトランザクションデータ履歴が表示されます。選択したエリアは人数カウントができるネットワークカメラを含んでいなければなりません。
- **顧客の性別分析:** レポートにカスタマイズした名前を設定し、チェックボックスをチェックしてエリアを選択すると、その製品がどちらの性別グループで人気が高いかが確認できます。選択したエリアは顔認識ができるネットワークカメラを含み、そのカメラは人数カウント機能をサポートしている必要があります。
- **転換率:** レポートにカスタマイズした名前を設定し、チェックボックスをチェックしてエリアを選択することで、そのエリアにあるデバイスの転換率を計算することができます。選択したエリアはPOS 端末と人数カウントができるネットワークカメラを含んでいなければなりません。
- **ヒートマップ:** レポートにカスタマイズした名前を設定し、チェックボックスをチェックしてカメラを選択すると、あなたの店舗の最繁時が表示されます。選択したカメラはヒートマップ対応ネットワークカメラでなければなりません。
- **インタレストエリア解析:**
 - I. レポートにカスタマイズした名前を設定し、**[アップロード]**をクリックしてアイコン  をクリックしてローカルパスからマップファイルを選択します。
 - II. **[インタレストエリアの追加]**をクリックし、マップ上のポイントをクリックしてインタレストエリアを追加します。
 - III. ポップアップウィンドウ上でカメラを選択し、**[OK]**をクリックします。追加したインタレストエリアを選択し、**[インタレストエリアの削除]**をクリックしてそれを削除することもできます。選択したカメラはヒートマップ対応ネットワークカメラでなければなりません。

注意: 選択したエリアが子エリアを含む場合、親エリアと子エリアの両方のレポートが生成されます。

4. **[追加]**をクリックしてレポートの追加を確定します。オプションとして、必要に応じ、ステップ3を実行して他のレポートを追加することもできます。
5.  をクリックし、BIページに戻ります。

レポートの管理

追加したレポートに対し、時間帯を指定してレポートデータを生成することができます。関連するエリア(複数可)またはカメラ(複数可)のレポートの編集、レポートのエクスポート、レポートのEメールでの送信、レポートの印刷なども可能です。

方法:

1. レポート種別をクリックして編集しなければならないレポートを見つけます。



2.  アイコンをクリックしてレポート範囲の開始時刻と終了時刻を指定します。先週、先月などのデータを選択して表示することもできます。
3.  をクリックし、レポートに関連するエリア、カメラ、商品、マップファイルなどを編集できます。
4.  をクリックしてレポートを削除します。
5.  をクリックしてお使いの PC にレポートをエクスポートします。
6.  をクリックしてネットワーク経由で接続されたプリンターからレポートを印刷します。
7.  をクリックしてレポートを E メールで送信します。

POS ライブビュー

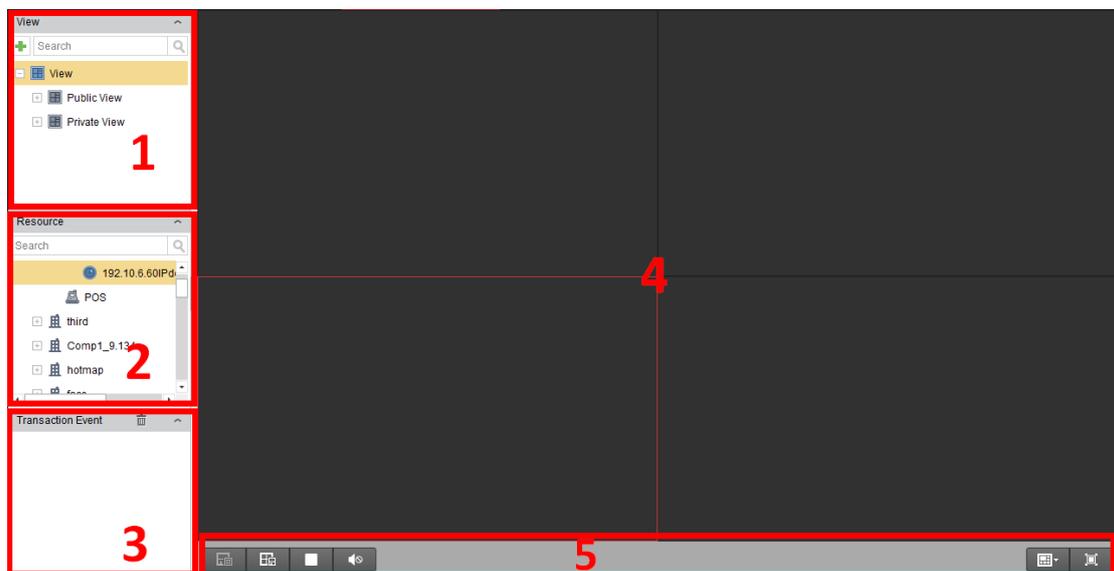
POS ライブビュー

目的:

POS 端末にリンクされたカメラについて、ライブ ビデオと POS のトランザクション情報を表示できます。指定したカメラの POS 情報とともにライブ ビューを表示している時、他のカメラの通常のライブ ビューを表示することも可能です。画像のキャプチャやマニュアル録画、インスタント再生等、その他の基本的な操作も一部サポートされています。

コントロールパネルの  アイコンをクリックするか、

または[ビュー]->[POS ライブ ビュー]をクリックして POS ライブ ビュー ページを開きます。



POS ライブ ビュー ページ

1 ビュー リスト: カスタマイズしたビューを表示したり、新しいビューの作成ができます。

2 リソース リスト: 追加されたデバイスを表示します。

3 **トランザクションイベントパネル:** クライアントで受信したトランザクションイベントを表示します。

4 **ライブビューの表示ウィンドウ:** カメラのライブビデオを再生するウィンドウです。

5 **ライブビュー ツールバー:** 表示されたボタンはライブビューの操作に使用します。

カメラステータス:

-  カメラはオンラインで、正常に動作しています。
-  カメラはライブビューを表示しています。
-  カメラは録画状態です。
-  カメラがオフラインです。

注意: カメラがイベント(例: 動体検知)を検知した場合、カメラアイコンはのように表示され、グループアイコンはのように表示されます。

ライブビュー ツールバー:

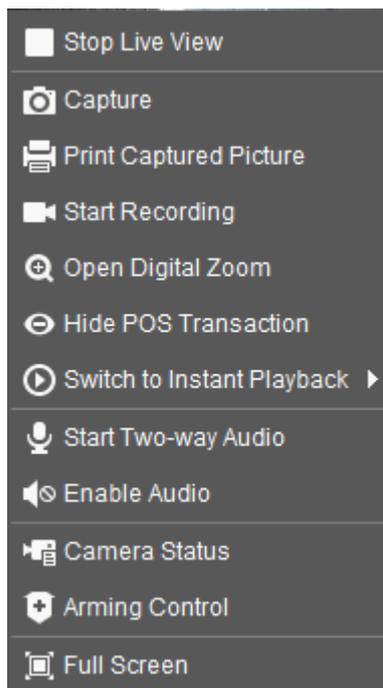


メインビューページでは、以下のボタンが利用できます:

-  **ビューを保存** 現在のビューの新しい設定を保存します。
-  **ビューに名前を付けて保存** 現在のビューを別の新しいビューとして保存します。
-  **ライブビューを停止** すべてのカメラのライブビューを停止します。
-  **ミュート/音声オン** ライブビューの音声のオン/オフを切り替えます。
-  **スクリーンレイアウト** スクリーンレイアウトを設定します。
-  **全画面** ライブビューを全画面モードで表示します。ESCキーを押して抜けることができます。

ライブビューの表示ウィンドウを右クリックすることで、ライブビュー管理メニューが開きます:

注意: ライブビューを開始するには [POS ライブビューの開始と停止を参照してください](#)。



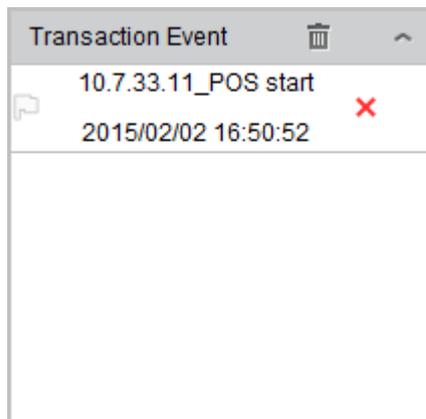
右クリックのライブビュー管理メニューでは、以下の項目が利用できます:

- | | | |
|---|-------------------------|---|
|  | ライブビューを停止 | 表示ウィンドウのライブビューを停止します。 |
|  | キャプチャ | ライブビュープロセスの中の画像をキャプチャーします。 |
|  | キャプチャーした画像を印刷 | 現在の画像をキャプチャーし、その画像をプリントします。 |
|  | 録画の開始/停止 | 手動録画を開始/停止します。録画ファイルはPCに保存されます。 |
|  | デジタルズームを開く | デジタルズーム機能を有効化します。再度クリックして、機能を無効にします。 |
|  | POS トランザクションを非表示 | 接続された POS 端末のトランザクション情報を非表示にします。再度クリックすることでライブビュー上に情報が表示されます。 |
|  | 即時再生に切り替え | インスタント再生モードに切り替えます。希望の再生時間が選択できます。 |
|  | 音声の有効化/無効化 | クリックしてライブビューの音声を有効化/無効化します。 |
|  | カメラ状態 | 録画ステータス、信号ステータス、接続数などを含む、ライブビュー中のカメラのステータスを表示します。 |
|  | 警戒コントロール | ライブビュー中のカメラの警戒コントロールウィンドウを開きます。 |
|  | 全画面 | ライブビューを全画面モードで表示します。再度クリックして終了します。 |

トランザクションイベント

トランザクションイベントパネルでは、クライアントで受信したトランザクションイベントが表示できます。🗨️をクリックしてイベントにリンクされたビデオファイルにフラグを付加することでそのビデオにマーキングできます。✖️をクリックして対応するイベントを削除したり、🗑️をクリックしてすべてのイベントをクリアすることもできます。

イベントをダブルクリックすると詳細なトランザクション情報とイベントにリンクされたビデオファイル(存在する場合)がポップアップします。ビデオ再生に関する設定の詳細については、以下を参照してください: [POS 検索](#)。



POS ライブ ビューの開始と停止を参照してください

ライブビューの開始

方法:

1. POS ライブ ビュー ページを開きます。
2. オプションとして、🗑️をクリックしてライブビューのウィンドウ分割モードを選択できます。
3. カメラまたは POS 端末を表示ウィンドウにクリック アンド ドラッグします。

あるいは、ライブビューを開始する表示ウィンドウを選択した後でカメラ名または POS 端末名をダブルクリックしてください。

注意:

- 必要に応じてライブビューのカメラのビデオまたは POS 端末をクリック アンド ドラッグして別の表示ウィンドウに移動させることもできます。

- POS(ポイント オブ セールス)テキスト オーバーレイをサポートしているデバイスでは、POS 設定が適切にセットされている場合、ライブ ビデオ上に POS テキストが表示されます。POS 設定は Web クライアント([リソース管理] -> [物理ビュー] -> [リモート設定])経由で設定できます。設定の詳細についてはデバイスのユーザ マニュアルを参照してください。

入

カスタム ビュー モードでのライブ ビューの開始

目的:

ビュー モードはライブ ビューのためにカスタマイズできます。パブリック ビューまたはプライベート ビューを選択して作成することができます。

- **パブリックビュー:** カスタマイズしたパブリック ビューを iVMS-5200 プロに保存すると、他のユーザがそのビューと関連するライブ ビデオにアクセスできます。
- **プライベートビュー:** カスタマイズしたプライベート ビューを iVMS-5200 プロに保存すると、対応する許可を持つ他のユーザがそのビューと関連するライブ ビデオにアクセスできます。

方法:

1. POS ライブ ビュー ページを開きます。
2. ビュー パネル上で  アイコンをクリックするとビュー追加のダイアログボックスが起動されます。
3. ビュー名を入力し、必要に応じてビュー種別を選択してください。
4. **[追加]**をクリックします。新しいビューはデフォルトで4画面モードです。
5. オプションとして、ライブ ビュー ツールバーの  アイコンをクリックして新しいビューのウィンドウ分割モードを選択し、 をクリックしてその新規ビューのウィンドウ分割モードを保存できます。
6. カメラまたは POS 端末を表示ウィンドウをクリック アンド ドラッグします。

あるいは、ライブ ビューを開始する表示ウィンドウを選択した後でカメラ名または POS 端末名をダブルクリックしてください。

7.  アイコンをクリックして新しいビューを保存します。オプションとして、 をクリックし、現在のビューを別のビューとして保存することができます。

ビューの設定が正常に完了したら、クリックしてビューを呼び出すことができます。

マウスをカスタム ビュー上に移動すると以下のアイコンが利用可能に鳴ります:



ビュー名を編集 カスタム ビューの名前を編集します。

ビューを削除 カスタム ビューを削除します。

インスタント再 ビューに関連付けられたカメラのインスタント再

生 生を開始します。インスタント再生では、同時に
16台までのカメラを切り替えできます。

ライブビューの停止

方法:

1. 表示ウィンドウを選択します。
2. マウスポインタを表示ウィンドウ上に置いた時に右上に表示される  アイコンをクリックするか、右クリックメニューの[ライブビューの停止]をクリックすることで表示ウィンドウのライブビューを停止することができます。またはライブビューツールバーの  ボタンをクリックしてすべてのライブビューを停止できます。

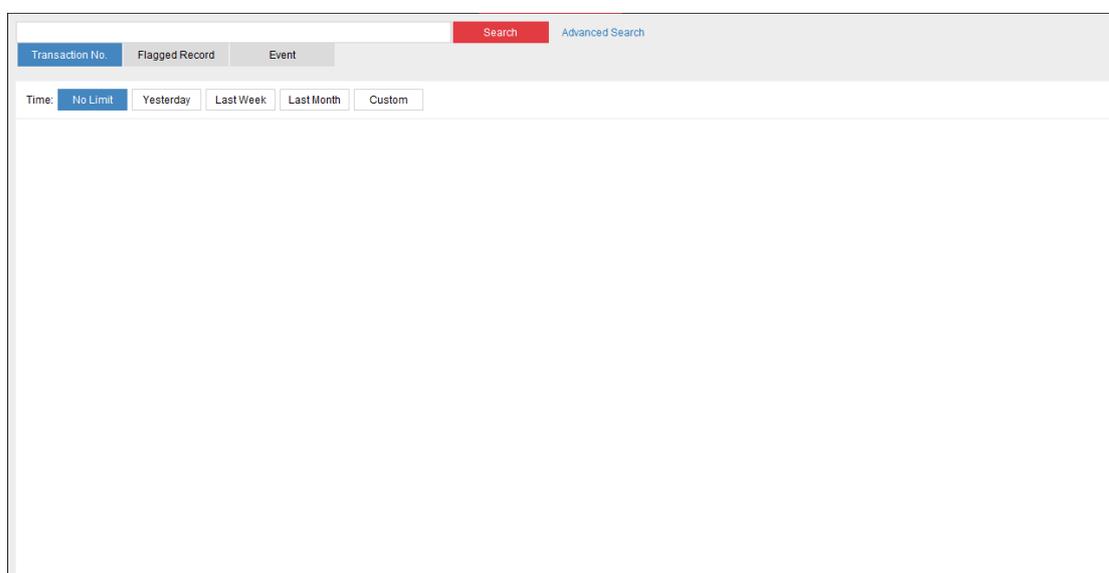
POS 検索

目的:

接続された POS 端末の POS 情報と関連する録画ファイルを検索することができます。

コントロールパネルの  アイコンをクリックし、POS 検索ページを開きます。

または[ビュー] -> [POS 検索]をクリックして POS 検索ページを開きます。



トランザクション番号での検索

方法:

1. POS 検索ページを開きます。
2. [トランザクション番号]をクリックし、キーワードを[検索]フィールドに入力(オプション)します。
3. [検索]をクリックすると、一致したデータがリスト表示されます。
4. (オプション)[時間]フィールドで結果を時間でフィルタリングすることができます。[カスタム]をクリックすると、アイコン  をクリックして開始時刻と終了時刻を必要に応じて指定することができます。

5. 検索された項目をクリックするとトランザクション情報の詳細がポップアップします。◀か▶をクリックして前や次のトランザクション情報に移動できます。

Transaction
×

Date 2015-01-31 Time 17:36:00

Store DS-2DM7274-A-AF172.10.9.131
 POS Terminal 112
 Cashier 128

Row	Barcode	Item	Quantity	Unit Price	Amount
1	100008	onion	4	1.1	4.4
Discount	0				
2	100011	Pizza	3	4.3	12.9
Discount	0				
3	100007	beer	5	1.4	7
Discount	0				
4	100003	pork	8	3.3	26.4
Discount	0				
5	100005	apple	9	2.3	20.7
Discount	0				
6	100002	coca cola	9	2.4	21.6
Discount	0				
7	100001	beaf	2	4.1	8.2
Discount	0				
Subtotal					101.2
Discount					
Sales Tax					10
Total					111.2

Pay 200
 Change 88.8

Transaction No. 201501310936003690096

Playback

6. 関連する録画ファイルをチェックする場合、[再生]をクリックして録画ファイルの再生を開始します。再生中、チェックボックスにより、対応する商品がトランザクションデータエリア上でマーキングされます。

⊕または⊖をクリックして、タイムラインバーにズームインまたはズームアウトすることができます。マウスホイールを利用してタイムラインに対するズームインまたはズームアウトを行うことができます。タイムラインバーをドラッグすることで、前後の時間帯に移動することができます。

再生中、以下のアイコンが利用できます:



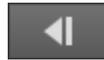
逆再生 録画ファイルを逆方向に再生します。



再生を停止 すべてのカメラの再生を停止します。



再生の一時停止/再開 録画ファイル再生を一時停止/再開します。



シングルフレーム (逆再生) 録画ファイルを1フレームずつ、逆方向に再生します。



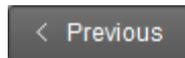
シングルフレーム 録画ファイルを1フレームずつ再生します。



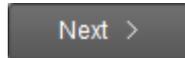
高速再生/スロー再生 再生速度を遅く/速くします。



フラグ追加 クリックしてファイルにフラグを追加し、対象のビデオをマーキングします。フラグを編集したり、録画ファイルをフラグで検索したりすることもできます。



前 一つ前のトランザクションデータと関連するビデオに移動します。



次 一つ後のトランザクションデータと関連するビデオに移動します。

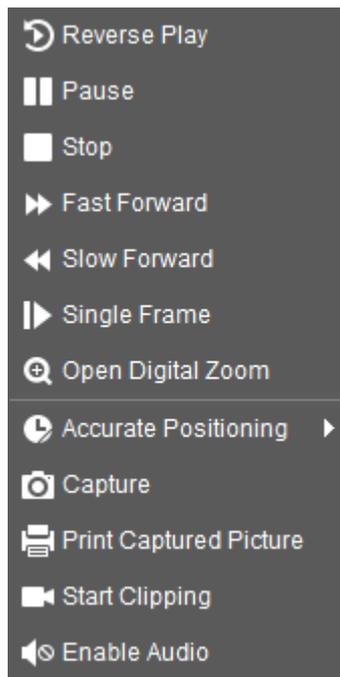


エクスポート クリックするとトランザクション情報と録画ファイルをお使いのPCにエクスポートします。



Eメール 現在のトランザクション情報と再生をキャプチャし、Eメールで送信します。

再生の表示ウィンドウを右クリックすることで、再生管理メニューが開きます:



右クリックのメニューでは、以下の項目が利用できます：

	逆再生	録画ファイルを逆方向に再生します。
	一時停止/再開	再生を一時停止/再開します。
	停止	再生が停止します。
	早送り	録画ファイルをより速い速度で再生します。
	スロー再生	録画ファイルをより遅い速度で再生します。
	シングルフレーム	録画ファイルを1フレームずつ再生します。
	デジタルズームを開く	デジタルズーム機能を有効化します。再度クリックして、機能を無効にします。
	正確なポジショニング	録画ファイル再生の正確な時刻ポイントを設定します。
	キャプチャ	再生プロセスの画像をキャプチャーします。
	キャプチャーした画像を印刷	画像をキャプチャーして印刷します。
	切り取りの開始/停止	録画ファイルのクリッピングを開始/停止します。クリップされたファイルはPCに保存されます。
	音声の有効化/無効化	クリックして再生の音声を有効化/無効化します。

フラグ付き録画による情報の検索

方法:

1. POS 検索ページを開きます。

2. [フラグ付き録画]をクリックし、キーワードを[検索]フィールドに入力(オプション)します。
3. [検索]をクリックすると、一致したデータがリスト表示されます。
4. (オプション)[時間]フィールドで結果を時間でフィルタリングすることができます。[カスタム]をクリックすると、アイコン  をクリックして開始時刻と終了時刻を必要に応じて指定することができます。
5.  をクリックするとトランザクション情報の詳細と関連するビデオがポップアップします。

イベントによる情報の検索

目的:

CMS ログおよびリモート ログを含むログ ファイルは、PC にエクスポートできます。

方法:

1. POS 検索ページを開きます。
2. [イベント]をクリックし、[検索]フィールドで検索対象のイベントを選択します。
3. [検索]をクリックすると、一致したデータがリスト表示されます。
4. (オプション)[時間]フィールドで結果を時間でフィルタリングすることができます。[カスタム]をクリックすると、アイコン  をクリックして開始時刻と終了時刻を必要に応じて指定することができます。
5. 検索された項目をクリックするとトランザクション情報の詳細がポップアップします。  か  をクリックして前や次のトランザクション情報に移動できます。
6. 関連する録画ファイルをチェックする場合、[再生]をクリックして録画ファイルの再生を開始します。再生中、チェックボックスにより、対応する商品がトランザクション データ エリア上でマーキングされます。

高度検索

目的:

CMS ログおよびリモート ログを含むログ ファイルは、PC にエクスポートできます。

方法:

1. POS 検索ページを開きます。
2. [高度検索]をクリックし、対応する検索条件を入力します。
 - アイテム: 商品名のキーワードを入力します。
 - 価格: トランザクションの合計コストの範囲を入力します。
 - 数量: 商品の個数の範囲を入力します。
 - レジ: レジの番号を入力します。
 - POS 端末: POS 端末の番号を入力します。
 - バーコード: 商品のバーコードを入力します。
3. [検索]をクリックすると、一致したデータがリスト表示されます。[リセット]をクリックするとフィールドをリセットできます。  をクリックしてすべての高度検索をキャンセルすることもできます。

4. (オプション)[時間]フィールドで結果を時間でフィルタリングすることができます。[カスタム]をクリックすると、アイコン  をクリックして開始時刻と終了時刻を必要に応じて指定することができます。
5. 検索された項目をクリックするとトランザクション情報の詳細がポップアップします。  か  をクリックして前や次のトランザクション情報に移動できます。
6. 関連する録画ファイルをチェックする場合、[再生]をクリックして録画ファイルの再生を開始します。再生中、チェックボックスにより、対応する商品がトランザクションデータ エリア上でマーキングされます。

人数カウント統計

目的:

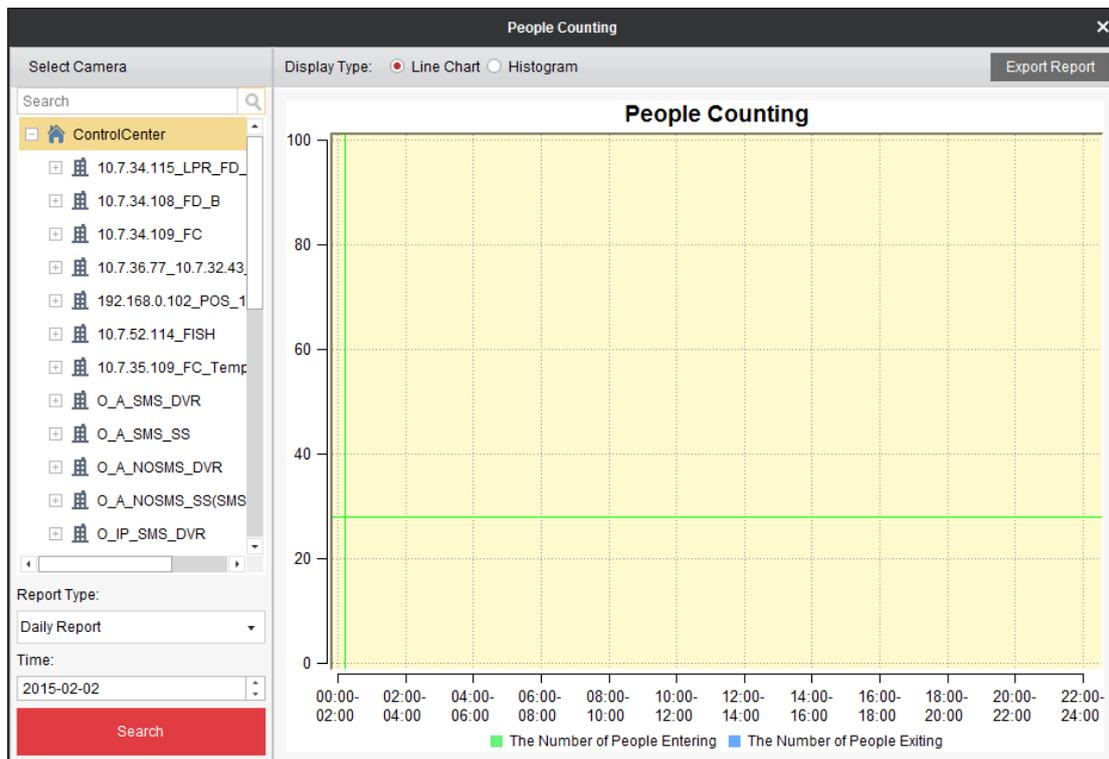
追加した人数カウント サーバの人数カウント統計をチェックすることができます。統計情報はライン チャートまたはヒストグラムで表示できます。詳細データはローカルストレージにエクスポートできます。

始める前に:

人数カウント サーバを iVMS-5200 プロに追加し、対応するエリアを適切に設定してください。追加したサーバには、人数カウント ルールを設定する必要があります。

注意: iVMS-5200 プロに人数カウント サーバを追加するには *iVMS-5200 プロ* *フェッショナル Web マネージャのユーザマニュアル*を参照してください。人数カウント ルールの設定については *人数カウント サーバのユーザマニュアル*を参照してください。

または[ツール] -> [人数カウント]をクリックして人数カウント ページを開きます。

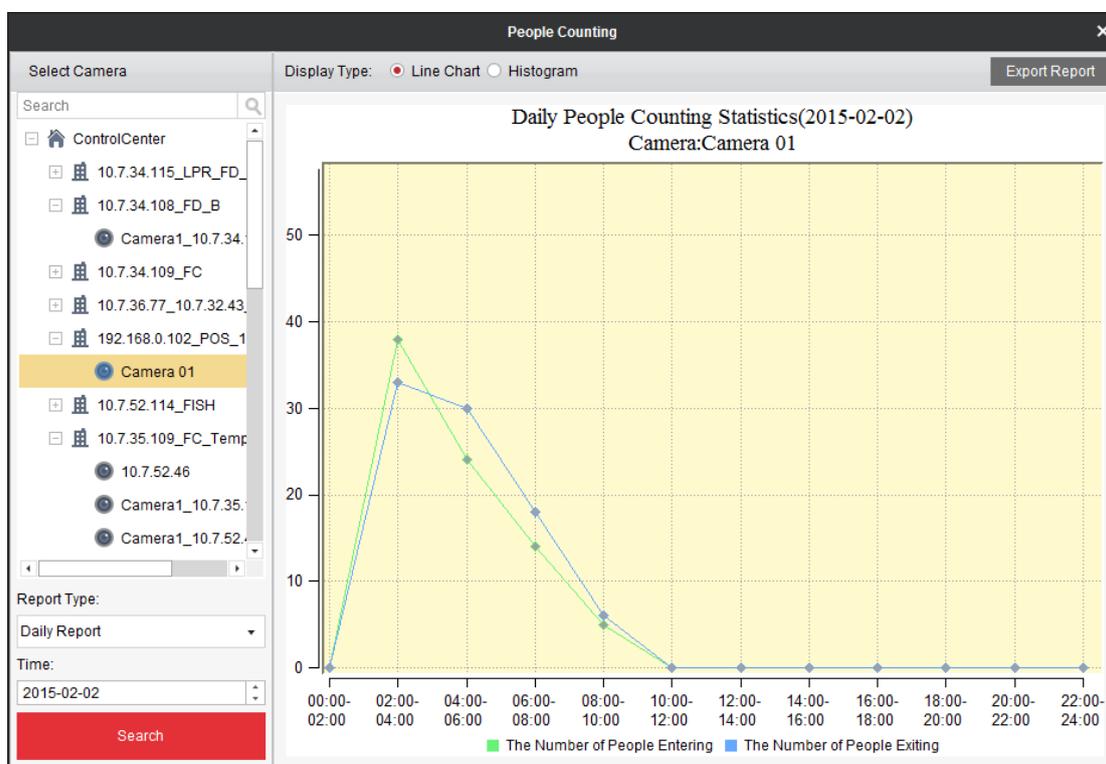


方法:

1. 人数カウント ページを開きます。
2. 人数カウント サーバのカメラをクリックして選択します。
3. レポート種別を必要に応じて選択し、期間を設定します。3つのレポート種別が利用可能です: 日次レポート、月次レポート、年次レポート。
4. **[検索]**をクリックして右側のパネルに統計情報を表示します。

デフォルトでは、統計情報はライン チャート形式で表示されます。ラジオ ボタンをクリックするとヒストグラムに切り替えることができます。

5. (オプション) **[レポートのエクスポート]**をクリックして人数カウントの詳細データをローカル PCに保存することができます。



ヒートマップ

目的:

ヒートマップは、色で示されたデータの図式です。カメラのヒートマップ機能は通常、設定したエリアでの顧客の訪問回数と滞留時間を分析するために利用されます。

始める前に:

ヒートマップネットワークカメラを iVMS-5200 プロに追加し、対応するエリアを適切に設定してください。追加したカメラには、ヒートマップルールを設定する必要があります。

注意: iVMS-5200 プロにヒートマップネットワークカメラを追加するには *iVMS-5200 プロフェッショナル Web マネージャのユーザマニュアル*を参照してください。ヒートマップルール設定についてはヒートマップネットワークカメラのユーザマニュアルを参照してください。

[ツール] -> [ヒートマップ]をクリックしてヒートマップページを開きます。



方法:

1. ヒートマップページを開きます。
2. エリアパネル上のヒートマップカメラをクリックして選択します。
3. アイコン  をクリックし、任意の開始時刻と終了時刻を指定します。

4. **ヒートマップ生成**をクリックすると、カメラのヒートマップが表示されます。ヒートマップでは、赤色のブロック（255, 0, 0）は訪問頻度の最も高いエリアで、青色のブロック（0, 0, 255）は訪問頻度の低いエリアを示します。

The screenshot shows a software interface titled "Heat Map" with a close button (X) in the top right corner. On the left side, there is a "Camera" panel containing a search bar and a list of camera locations with their IP addresses: ControlCenter, 10.7.36.77, 10.7.52.39, 10.7.52.110, 10.7.5.129, 10.7.36.104, 10.16.1.223, SMD, and Heat Map. Below the list are "Start Time" and "End Time" fields, both set to 2015-02-05, with a "Generate Heat Map" button at the bottom. The main area displays a camera view of a store aisle with a heat map overlay. The heat map uses a color gradient from blue (low frequency) to red (high frequency). High-frequency areas (red) are concentrated in the upper right portion of the aisle, while low-frequency areas (blue) are seen in the lower right and along the bottom edge of the aisle.

アラームセンター

アラームセンター

目的:

iVMS-5200 コントロール クライアントが受信したアラーム情報(例: 動体検知アラーム情報)が表示されます。 イベントまたはアラームの詳細情報をチェックし、関連する情報の管理などができます。

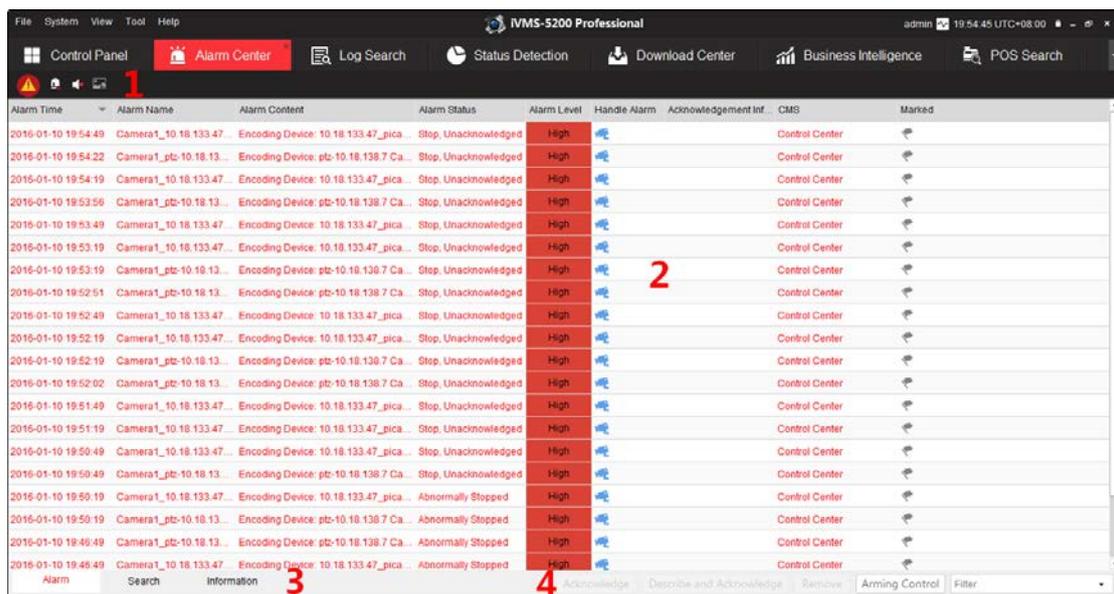
注意:

- 関連情報のリンク アクションのチェックをコントロール クライアント経由で行うためには、Web クライアントでイベントまたはアラームの設定を行っておく必要があります。 イベントおよびアラーム設定の詳細については *iVMS-5200 プロフェッショナル Web クライアントのユーザ マニュアル*を参照してください。
- RSM にログインしている場合、「センターにアップロード」の設定になっているアラームのみが受信されます。

コントロール パネルの  アイコンをクリックするか、

または[ビュー]->[アラーム センター]をクリックしてアラーム センター ページを開きます。

インターフェイスの下部にある  をクリックしてアラーム センター ページを開くこともできます。



Alarm Time	Alarm Name	Alarm Content	Alarm Status	Alarm Level	Handle Alarm	Acknowledgement Inf.	CMS	Marked
2016-01-10 19:54:49	Camera1_10 18 133.47	Encoding Device: 10 18 133.47_pica...	Stop, Unacknowledged	High			Control Center	
2016-01-10 19:54:22	Camera1_ptz-10 18 13...	Encoding Device: ptz-10 18 138.7 Ca...	Stop, Unacknowledged	High			Control Center	
2016-01-10 19:54:19	Camera1_10 18 133.47...	Encoding Device: 10 18 133.47_pica...	Stop, Unacknowledged	High			Control Center	
2016-01-10 19:53:56	Camera1_ptz-10 18 13...	Encoding Device: ptz-10 18 138.7 Ca...	Stop, Unacknowledged	High			Control Center	
2016-01-10 19:53:49	Camera1_10 18 133.47...	Encoding Device: 10 18 133.47_pica...	Stop, Unacknowledged	High			Control Center	
2016-01-10 19:53:19	Camera1_10 18 133.47...	Encoding Device: 10 18 133.47_pica...	Stop, Unacknowledged	High			Control Center	
2016-01-10 19:52:51	Camera1_ptz-10 18 13...	Encoding Device: ptz-10 18 138.7 Ca...	Stop, Unacknowledged	High			Control Center	
2016-01-10 19:52:49	Camera1_10 18 133.47...	Encoding Device: 10 18 133.47_pica...	Stop, Unacknowledged	High			Control Center	
2016-01-10 19:52:19	Camera1_10 18 133.47...	Encoding Device: 10 18 133.47_pica...	Stop, Unacknowledged	High			Control Center	
2016-01-10 19:52:19	Camera1_ptz-10 18 13...	Encoding Device: ptz-10 18 138.7 Ca...	Stop, Unacknowledged	High			Control Center	
2016-01-10 19:52:02	Camera1_ptz-10 18 13...	Encoding Device: ptz-10 18 138.7 Ca...	Stop, Unacknowledged	High			Control Center	
2016-01-10 19:51:49	Camera1_10 18 133.47...	Encoding Device: 10 18 133.47_pica...	Stop, Unacknowledged	High			Control Center	
2016-01-10 19:51:19	Camera1_10 18 133.47...	Encoding Device: 10 18 133.47_pica...	Stop, Unacknowledged	High			Control Center	
2016-01-10 19:50:49	Camera1_10 18 133.47...	Encoding Device: 10 18 133.47_pica...	Stop, Unacknowledged	High			Control Center	
2016-01-10 19:50:49	Camera1_ptz-10 18 13...	Encoding Device: ptz-10 18 138.7 Ca...	Stop, Unacknowledged	High			Control Center	
2016-01-10 19:50:19	Camera1_10 18 133.47...	Encoding Device: 10 18 133.47_pica...	Abnormally Stopped	High			Control Center	
2016-01-10 19:50:19	Camera1_ptz-10 18 13...	Encoding Device: ptz-10 18 138.7 Ca...	Abnormally Stopped	High			Control Center	
2016-01-10 19:46:49	Camera1_ptz-10 18 13...	Encoding Device: ptz-10 18 138.7 Ca...	Abnormally Stopped	High			Control Center	
2016-01-10 19:46:49	Camera1_10 18 133.47...	Encoding Device: 10 18 133.47_pica...	Abnormally Stopped	High			Control Center	

アラーム センター ページ

- 1: イベント/アラーム操作バー
- 2: 情報リスト
- 3: アラーム、検索および情報タブの切り替え
- 4: アラーム ツールバー

アラーム操作バーにあるアイコンの説明については以下の表を参照してください:

	アラーム情報のクリア	全てのアラーム情報を消去します。
	音声を有効化	アラームがトリガーされた際のコントロール クライアントの音声警報を有効化します。
	アラーム起動ポップアップ画像を有効化	アラームがトリガーされた場合、リンクされたすべてのカメラのライブ ビデオを表示して再生するダイアログがポップアップします。

リソースのアラーム情報

目的:

動体検知、ビデオ損失、ビデオ干渉など、接続されたリソース(例: カメラ、POS 端末、アラーム入力)のアラーム情報が表示されます。

方法:

1. アラーム センター ページを開くとコントロール クライアントが受信したアラーム リストが表示されます。

アラーム時間: アラームの開始時刻です。

アラーム名: アラームの名称です。

アラーム内容: アラームの内容です。手動アラームの場合、アラームを送ったユーザの名前とアラーム種別が含まれます; VCA アラームの場合、デバイス情報、アラームをトリガーしたデバイスおよびルールの名前が含まれます; その他のアラームの場合、デバイス情報とアラームをトリガーしたデバイスが含まれます。

アラーム状態: アラームのステータスです。開始、未確認; 開始、確認済み; 停止、未確認; 停止、確認済みが含まれます。開始はアラームがまだ停止されていないことを示し、確認済みはアラームがユーザによって確認されていることを示します。

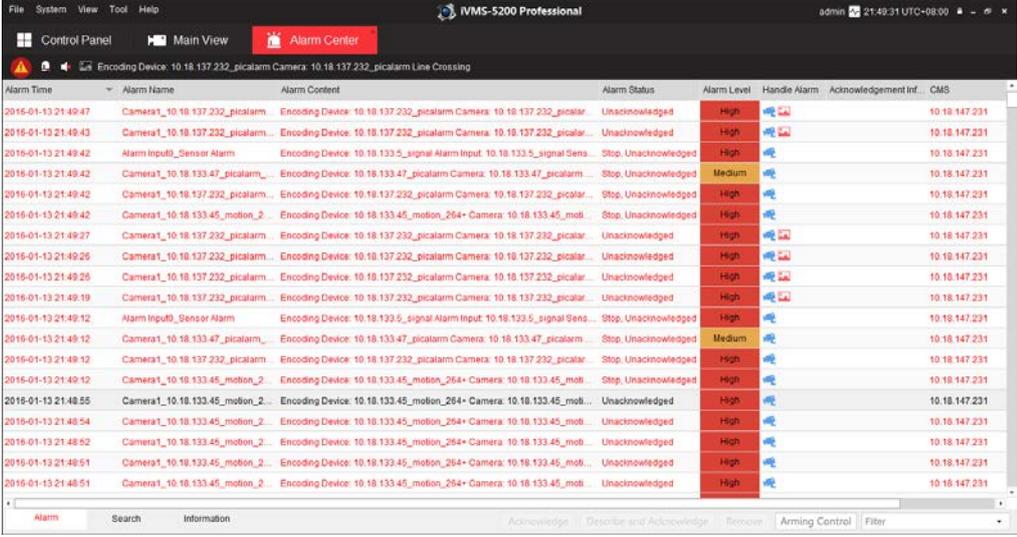
アラームレベル: 低、中、高の各レベルでアラームの緊急度が表示されます。

アラームを処理: アラームをトリガーしたカメラのライブビューを確認したり、アラーム画像として設定されたアラームの画像を確認できます。設定の詳細については *iVMS-5200 プロフェッショナル Web クラウドのユーザマニュアル*を参照してください。

確認情報: アラームの確認情報を表示します。

CMS: デバイスが属する CMS を表示します。CMS にログインしている場合、この欄は *コントロールセンター* を表示します。

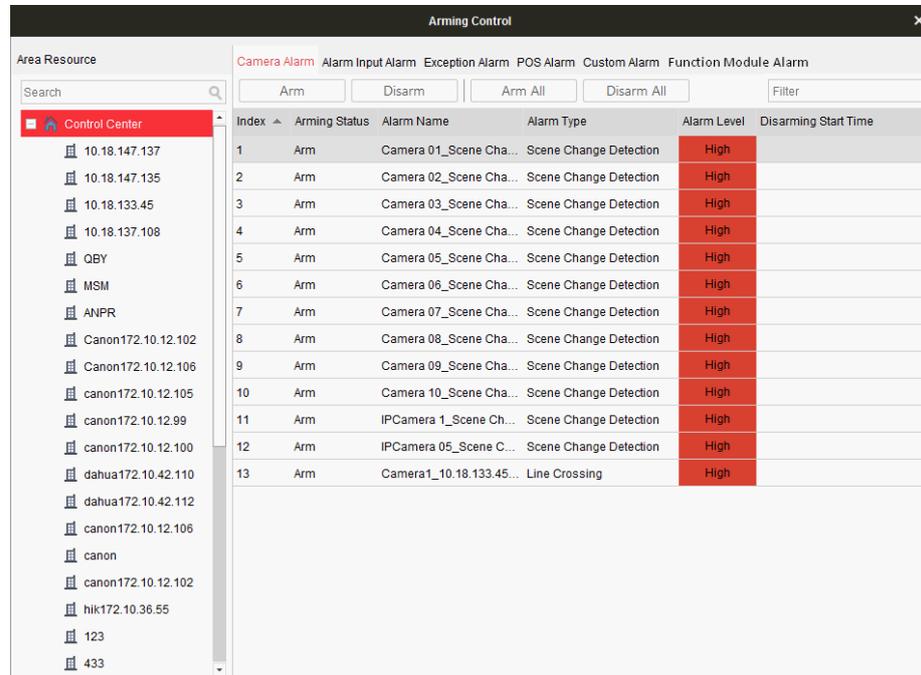
マーク: アラーム情報をマーキングします。マーキングされた項目はフィルタできます。



Alarm Time	Alarm Name	Alarm Content	Alarm Status	Alarm Level	Handle Alarm	Acknowledgement Inf.	CMS
2016-01-13 21:49:47	Camera1_10.18.137.232_picalarm_...	Encoding Device: 10.18.137.232_picalarm Camera: 10.18.137.232_picalar...	Unacknowledged	High			10.18.147.231
2016-01-13 21:49:43	Camera1_10.18.137.232_picalarm_...	Encoding Device: 10.18.137.232_picalarm Camera: 10.18.137.232_picalar...	Unacknowledged	High			10.18.147.231
2016-01-13 21:49:42	Alarm Input_Sensor Alarm	Encoding Device: 10.18.133.5_signal Alarm Input: 10.18.133.5_signal Sens...	Stop, Unacknowledged	High			10.18.147.231
2016-01-13 21:49:42	Camera1_10.18.133.47_picalarm_...	Encoding Device: 10.18.133.47_picalarm Camera: 10.18.133.47_picalarm...	Stop, Unacknowledged	Medium			10.18.147.231
2016-01-13 21:49:42	Camera1_10.18.137.232_picalarm_...	Encoding Device: 10.18.137.232_picalarm Camera: 10.18.137.232_picalar...	Stop, Unacknowledged	High			10.18.147.231
2016-01-13 21:49:42	Camera1_10.18.133.45_motion_2	Encoding Device: 10.18.133.45_motion_264+ Camera: 10.18.133.45_moli...	Stop, Unacknowledged	High			10.18.147.231
2016-01-13 21:49:27	Camera1_10.18.137.232_picalarm_...	Encoding Device: 10.18.137.232_picalarm Camera: 10.18.137.232_picalar...	Unacknowledged	High			10.18.147.231
2016-01-13 21:49:26	Camera1_10.18.137.232_picalarm_...	Encoding Device: 10.18.137.232_picalarm Camera: 10.137.232_picalar...	Unacknowledged	High			10.18.147.231
2016-01-13 21:49:26	Camera1_10.18.137.232_picalarm_...	Encoding Device: 10.18.137.232_picalarm Camera: 10.18.137.232_picalar...	Unacknowledged	High			10.18.147.231
2016-01-13 21:49:19	Camera1_10.18.137.232_picalarm_...	Encoding Device: 10.18.137.232_picalarm Camera: 10.18.137.232_picalar...	Unacknowledged	High			10.18.147.231
2016-01-13 21:49:12	Alarm Input_Sensor Alarm	Encoding Device: 10.18.133.5_signal Alarm Input: 10.18.133.5_signal Sens...	Stop, Unacknowledged	High			10.18.147.231
2016-01-13 21:49:12	Camera1_10.18.133.47_picalarm_...	Encoding Device: 10.18.133.47_picalarm Camera: 10.18.133.47_picalarm...	Stop, Unacknowledged	Medium			10.18.147.231
2016-01-13 21:49:12	Camera1_10.18.137.232_picalarm_...	Encoding Device: 10.18.137.232_picalarm Camera: 10.18.137.232_picalar...	Stop, Unacknowledged	High			10.18.147.231
2016-01-13 21:49:12	Camera1_10.18.133.45_motion_2	Encoding Device: 10.18.133.45_motion_264+ Camera: 10.18.133.45_moli...	Stop, Unacknowledged	High			10.18.147.231
2016-01-13 21:48:55	Camera1_10.18.133.45_motion_2	Encoding Device: 10.18.133.45_motion_264+ Camera: 10.18.133.45_moli...	Unacknowledged	High			10.18.147.231
2016-01-13 21:48:54	Camera1_10.18.133.45_motion_2	Encoding Device: 10.18.133.45_motion_264+ Camera: 10.18.133.45_moli...	Unacknowledged	High			10.18.147.231
2016-01-13 21:48:52	Camera1_10.18.133.45_motion_2	Encoding Device: 10.18.133.45_motion_264+ Camera: 10.18.133.45_moli...	Unacknowledged	High			10.18.147.231
2016-01-13 21:48:51	Camera1_10.18.133.45_motion_2	Encoding Device: 10.18.133.45_motion_264+ Camera: 10.18.133.45_moli...	Unacknowledged	High			10.18.147.231
2016-01-13 21:48:51	Camera1_10.18.133.45_motion_2	Encoding Device: 10.18.133.45_motion_264+ Camera: 10.18.133.45_moli...	Unacknowledged	High			10.18.147.231

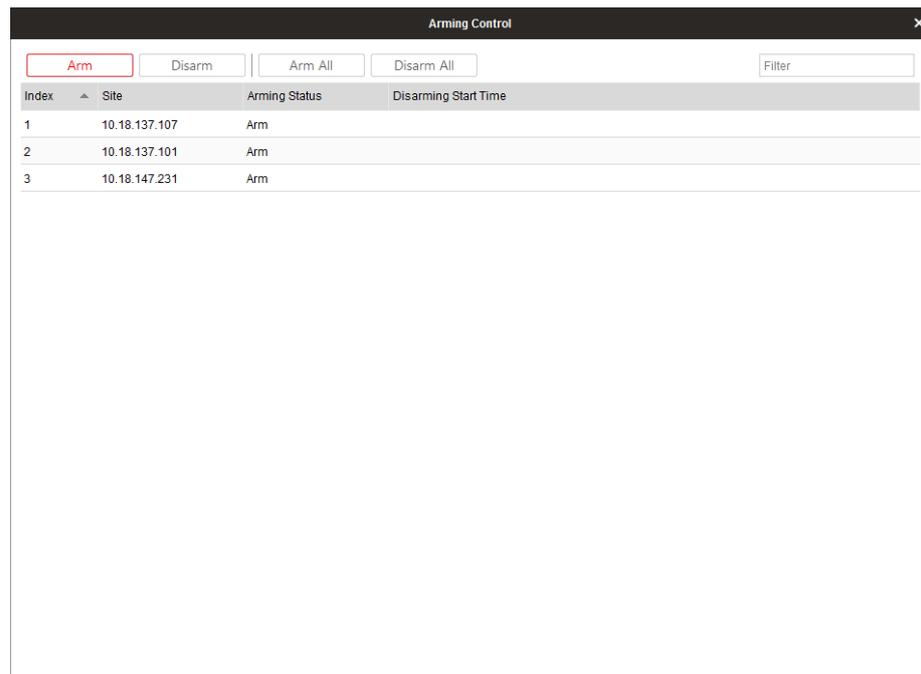
2. アラームをクリックして選択し、ツールバーの[確認]をクリックしてアラームを確認します。または[編集して確認]をクリックすると説明文を編集してアラームを確認します。
3. アラームを削除するには、アラームをクリックして選択し、ツールバーの[削除]をクリックします。またはアラームを右クリックして[クリア]をクリックします。または  をクリックするとアラームをすべて削除できます。
4. 警戒コントロールについては下部にある[警戒コントロール]をクリックして警戒コントロール ウィンドウを起動します。
 - CMS にログインしている場合:

[監視解除/監視をすべて解除]をクリックしてアラーム検知をすべて無効化し、その期間を設定することができます。また、[監視開始/監視をすべて開始]をクリックしてアラーム検知を有効化することもできます。



-
- RSM にログインしている場合:

[監視解除/監視をすべて解除]をクリックして、特定の CMS に対してアラーム検知をすべて無効化し、その期間を設定することができます。また、[監視開始/監視をすべて開始]をクリックして対応する CMS のアラーム検知を有効化することもできます。



-

イベント/アラーム ログの検索

目的:

iVMS-5200 プロのイベントおよびアラーム ログ ファイルは確認のために検索することができます。 イベントおよびアラーム設定の詳細については *iVMS-5200 プロフェッショナル Web クライアントのユーザ マニュアル*を参照してください。

方法:

1. アラーム センター ページを開き、**[検索]**タブをクリックします。
2. イベントまたはアラームのラジオ ボタンを選択してログ種別を指定します。
3. ドロップダウンリストの「トリガー」からイベントまたはアラームのソースを選択します。
4. イベントまたはアラーム ソースを選択してログ ファイルを選択します。 検索フィールドにキーワードを入力して必要なイベントまたはアラームのソースを検索できます。
5. チェック ボックスをチェックし、イベントまたはアラーム種別を選択します。
6.  アイコンをクリックし、開始時刻と終了時刻を指定します。
7. **[検索]** をクリックします。 合致するログ ファイルがリスト上に表示されます。

イベント/アラーム情報の詳細を確認し、**[リンク]**欄からイベント/アラームにリンクされた画像や録画ファイル(存在する場合)を確認することができます。

注意: ログ ファイルが多すぎる場合は検索条件を狭めてください。

Search		Alarm Log List							Backup Log	
Event	Alarm	Operation Time	Log Type	Description Information	Server Name	Server Type	Area Name	Object Name	Object Type	Linkage
Triggered by		2016-01-26 15:31:26	Alarm Log	Motion Detection	172.10.9.82	Encoding Device	Local 6	Camera1_172.10.9.82	Camera	
Camera		2016-01-26 15:31:26	Alarm Log	Audio Exception Detection	12.170qiuji	Encoding Device	CVR15	Camera1_12.170qiuji	Camera	
Search		2016-01-26 15:30:56	Alarm Log	Motion Detection	172.10.9.82	Encoding Device	Local 6	Camera1_172.10.9.82	Camera	
Control Center		2016-01-26 15:30:56	Alarm Log	Audio Exception Detection	12.170qiuji	Encoding Device	CVR15	Camera1_12.170qiuji	Camera	
<input type="checkbox"/> Hik-SDK-Device		2016-01-26 15:30:26	Alarm Log	Audio Exception Detection	12.170qiuji	Encoding Device	CVR15	Camera1_12.170qiuji	Camera	
<input type="checkbox"/> Hik Onvif device		2016-01-26 15:30:26	Alarm Log	Motion Detection	172.10.9.82	Encoding Device	Local 6	Camera1_172.10.9.82	Camera	
<input type="checkbox"/> Zero Camera		2016-01-26 15:29:56	Alarm Log	Motion Detection	172.10.9.82	Encoding Device	Local 6	Camera1_172.10.9.82	Camera	
Alarm Type		2016-01-26 15:29:56	Alarm Log	Audio Exception Detection	12.170qiuji	Encoding Device	CVR15	Camera1_12.170qiuji	Camera	
All		2016-01-26 15:29:26	Alarm Log	Audio Exception Detection	12.170qiuji	Encoding Device	CVR15	Camera1_12.170qiuji	Camera	
<input checked="" type="checkbox"/> Video Loss		2016-01-26 15:28:56	Alarm Log	Motion Detection	172.10.9.82	Encoding Device	Local 6	Camera1_172.10.9.82	Camera	
<input checked="" type="checkbox"/> Video Tampering Detection		2016-01-26 15:28:56	Alarm Log	Audio Exception Detection	12.170qiuji	Encoding Device	CVR15	Camera1_12.170qiuji	Camera	
<input checked="" type="checkbox"/> Motion Detection		2016-01-26 15:28:26	Alarm Log	Audio Exception Detection	12.170qiuji	Encoding Device	CVR15	Camera1_12.170qiuji	Camera	
Start Time:		2016-01-26 15:28:26	Alarm Log	Motion Detection	172.10.9.82	Encoding Device	Local 6	Camera1_172.10.9.82	Camera	
2016-01-26 00:00:00		2016-01-26 15:27:56	Alarm Log	Motion Detection	172.10.9.82	Encoding Device	Local 6	Camera1_172.10.9.82	Camera	
End Time:		2016-01-26 15:27:55	Alarm Log	Audio Exception Detection	12.170qiuji	Encoding Device	CVR15	Camera1_12.170qiuji	Camera	
2016-01-26 23:59:59										
Search		Total:2918 Page:1/183 Item Per Page: Self-adaptive							Page: <input type="text"/>	Go

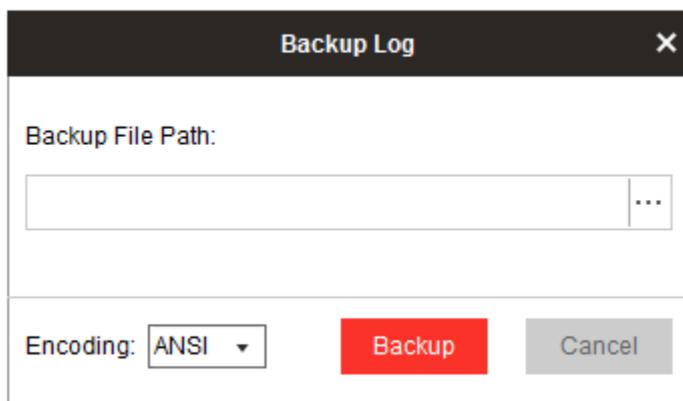
ログ ファイルのバックアップ

目的:

イベント/アラーム ログ ファイルはお使いの PC にエクスポートできます。

方法:

1. 必要なログ ファイルを検索します。
2. **[ログのバックアップ]**をクリックし、バックアップ ログ ダイアログ ボックスを開きます。
3.  アイコンをクリックして、ローカルの保存パスを選択します。
4. オプションとして、エクスポートするログのエンコーディング フォーマットを選択することもできます。
5. **[バックアップ]**をクリックし、見つかったログ ファイルをエクスポートします。



iVMS-5200 プロのアラーム情報

目的:

デバイス接続障害、録画ファイル検索エラーなど、iVMS-5200 プロ操作中のエラーやワーニングの情報を確認できます。

方法:

1. アラーム管理ページを開き、**[情報]**タブをクリックします。
2. 情報の詳細を確認できます。情報を削除するには、情報を右クリックして**[クリア]**をクリックするか、 をクリックしてすべての情報を削除します。

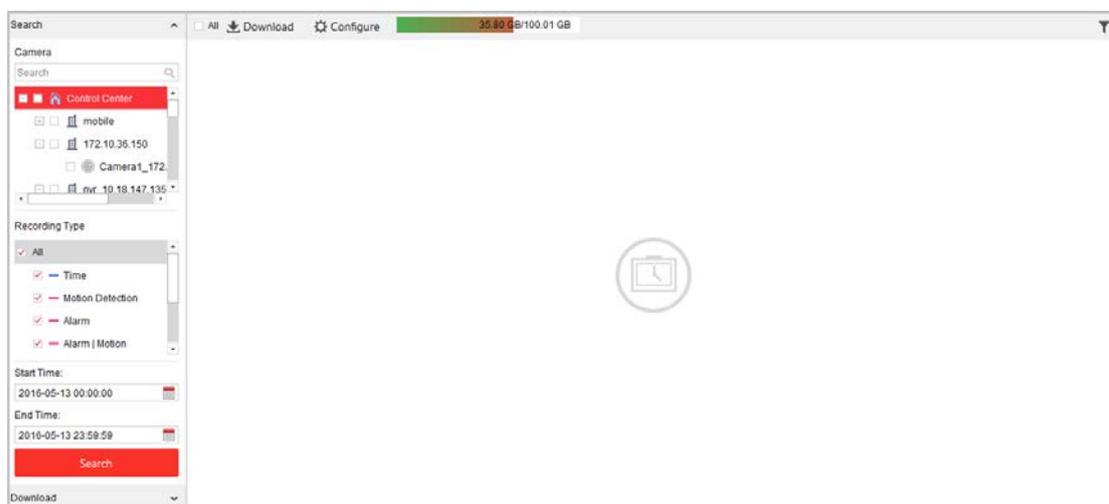
ダウンロードセンター

目的:

録画種別でデバイスの録画ファイルを検索し、それをお使いの PC に保存することができます。

コントロールパネルの  アイコンをクリックし、ダウンロードセンターページを開きます。

または[ビュー]->[ダウンロードセンター]をクリックしてダウンロードセンターページを開きます。

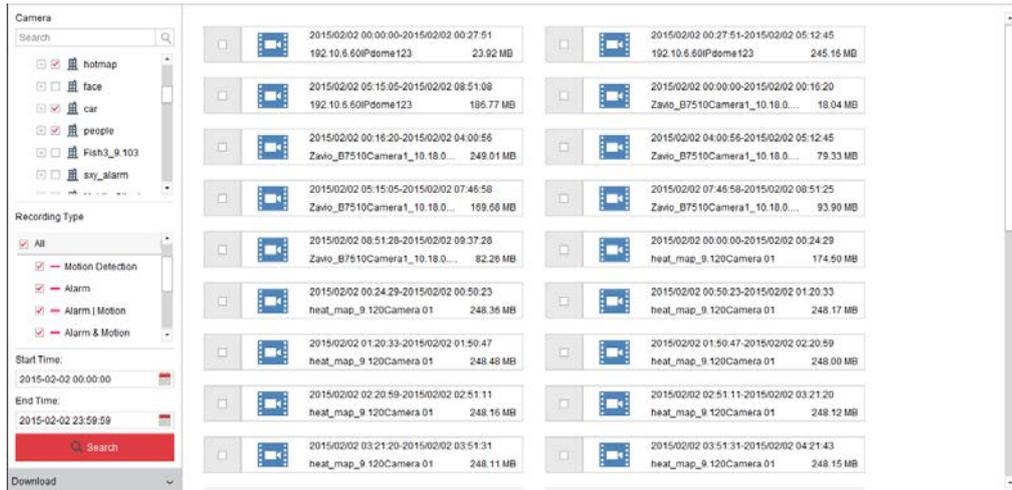


録画ファイルの検索

方法:

1. ダウンロードセンターページを開きます。
2. カメラ エリアでチェックボックスをチェックし、カメラ(複数可)またはエリア(複数可)を選択して録画ファイルを検索します。
3. 録画種別エリアでチェックボックスをチェックし、録画種別(複数可)を選択します。
4.  アイコンをクリックして録画ファイル検索範囲の開始時刻と終了時刻を指定します。
5. [検索] をクリックします。合致する録画ファイルがリスト上に表示されます。  をクリックしてフィルタ条件(タグまたは時間)を指定できます。

注意: タグはリモート再生中に付加されます。



6. チェックボックスをチェックし、ダウンロードするファイル(複数可)を選択します。[すべて]チェックボックスをクリックしてすべての録画ファイルを選択できます。
7. (オプション) [設定]をクリックして録画ファイルを保存する PC 上の保存パスを設定することができます。詳細な設定については以下を参照してください: [ファイル保存先パス設定](#)。
8. [ダウンロード]をクリックするとダウンロード ダイアログボックスがポップアップします。

[ダウンロードプレイヤー]をチェックすると、ダウンロードしたファイルを再生するためのプレイヤーをお使いの PC にダウンロードできます。

[同一カメラの録画ファイルを結合]チェックボックスをチェックすると、同一のカメラからの複数のファイル(2つ以上)を1つの大きなファイルに結合することもできます。

実際のネットワークの状態に応じてフロー制御を入力することもできます。

注意: 結合したビデオ ファイルの最大サイズは 2GB です。

Download

Download Player

Merge Record Files of One Camera

(You cannot merge the tag files.)

Flow Ctrl(kbps):

(Flow control is only available for video files stored on the device.)

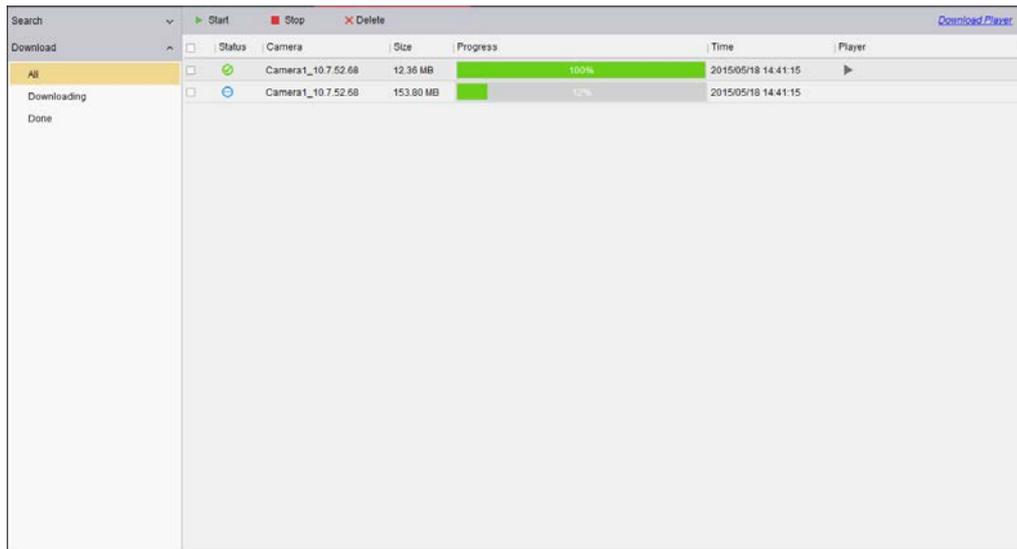
9. [OK]をクリックし、録画ファイルのダウンロードを開始します。

ダウンロード進捗の確認

録画ファイルのダウンロードの進捗を確認することができます。

方法:

1. [ダウンロード]タブをクリックするとすべてのダウンロード タスクが表示されます。



2. チェックボックスをチェックしてダウンロード対象を選択すると、[停止]をクリックしてダウンロードを停止したり、[開始]をクリックしてダウンロードを再開したり、[削除]をクリックしてダウンロード タスクを削除することができます(選択してダウンロードされた録画ファイルを削除することもできます)。ダウンロードされた録画ファイルは、プレイヤーの ▶ をクリックすることで再生できます。
3. [ダウンロード中]の項目をクリックすると、進行中のダウンロード タスクが確認できます。
4. [完了]の項目をクリックすると、完了したダウンロード タスクが確認できます。
5. [ダウンロード プレイヤー]をクリックすると、ダウンロードしたファイルを再生するためのプレイヤーをお使いの PC にダウンロードできます。

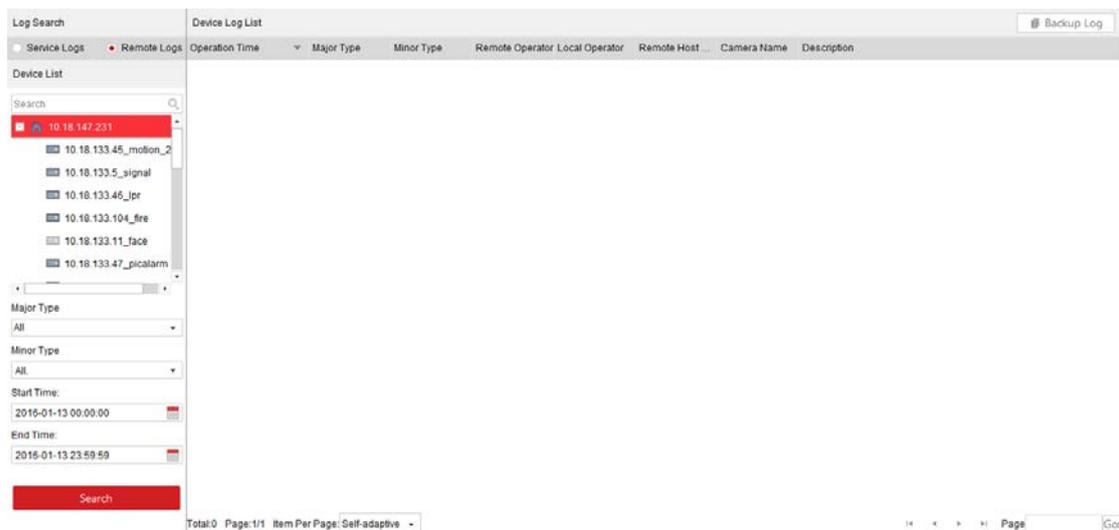
ログ管理

目的:

iVMS-5200 プロおよびそれに接続されたデバイスのログは検索して確認することができます。サーバログは iVMS-5200 プロ CMS または RSM のログファイルで、リモートログは接続されたデバイスのログファイルでローカルデバイスに保存されます。

コントロールパネルの  アイコンをクリックし、ログ検索ページを開きます。

または[ツール]->[ログ検索]をクリックしてログ検索ページを開きます。



サーバログファイルの検索

方法:

1. ログ検索ページを開きます。
2. サーバログのラジオボタンを選択してください。
3. サーバ種別を CMS または RSM から選択します。
4. ログ種別と対応する検索条件を選択します。ログ種別は 2 種類で、操作ログとシステム ログです。
 - **操作ログ:** 操作種別とユーザ名を選択できます。
 - **システムログ:** システム種別とユーザ名を選択できます。
5.  アイコンをクリックし、開始時刻と終了時刻を指定します。
6. [検索] をクリックします。合致するログファイルがリスト上に表示されます。

ログ情報の詳細を確認できます。

注意: ログ ファイルが多すぎる場合は検索条件を狭めてください。

Log Search		CMS Log List								Backup Log
<input checked="" type="radio"/> Service Logs	<input type="radio"/> Remote Logs	Operation Time	User Name	Log Type	Description Information	Device Name	Device Type	Area Name	Object Name	Object Type
CMS Type		2016-01-13 22:09:54	admin	System Log	User Login					
CMS		2016-01-13 21:50:28	admin	System Log	User Login					
Log Type		2016-01-13 21:27:19	RSM/admin	System Log	User Login					
System Log		2016-01-13 21:09:54	admin	System Log	User Login					
System Type		2016-01-13 21:07:20	admin	System Log	User Login					
All		2016-01-13 21:03:45	admin	System Log	User Login					
User Name		2016-01-13 20:52:07	admin	System Log	User Login					
All		2016-01-13 20:50:28	admin	System Log	User Login					
Start Time:		2016-01-13 20:38:27	RSM/admin	System Log	User Login					
2016-01-13 00:00:00		2016-01-13 20:35:02	RSM/admin	System Log	User Login					
End Time:		2016-01-13 20:35:02	RSM/admin	System Log	User Logout					
2016-01-13 23:59:59		2016-01-13 20:33:57	admin	System Log	User Login					
Search		2016-01-13 20:33:19	RSM/admin	System Log	User Login					
		2016-01-13 20:33:19	RSM/admin	System Log	User Logout					
		2016-01-13 20:32:39	RSM/admin	System Log	User Logout					
		2016-01-13 20:32:39	RSM/admin	System Log	User Login					
		2016-01-13 20:31:11	admin	System Log	User Login					
		2016-01-13 20:16:57	admin	System Log	User Logout					
		2016-01-13 20:14:42	admin	System Log	User Login					

Total: 128 Page: 1/7 Item Per Page: Self-adaptive

リモート ログ ファイルの検索

方法:

1. ログ検索ページを開きます。
2. リモート ログのラジオボタンを選択してください。
3. デバイスを選択してログ ファイルを選択します。
4. メジャー種別と対応するマイナー種別を選択します。
5.  アイコンをクリックし、開始時刻と終了時刻を指定します。
6. **[検索]** をクリックします。合致するログ ファイルがリスト上に表示されます。

操作時刻、ログ種別およびログ ファイルのその他の情報を確認できます。

注意: ログ ファイルが多すぎる場合は検索条件を狭めてください。

Log Search		Device Log List							Backup Log
<input type="radio"/> Server Logs <input checked="" type="radio"/> Remote Logs		Operation Time	Major Type	Minor Type	Remote Operator	Local Operator	Remote Host...	Camera Name	Description
Device List		2016-01-13 20:33:23	Operation	Remote: Para...	guest		61.146.48.106		
Search		2016-01-13 20:33:23	Operation	Remote: Para...	guest		110.228.6.151		
10.18.139.148_HDD		2016-01-13 20:33:23	Operation	Remote: Para...	guest		58.255.239.40		
192.168.0.122_HDD		2016-01-13 20:33:23	Operation	Remote: Para...	guest		92.81.96.22		
192.168.0.124_HDD		2016-01-13 20:33:23	Operation	Remote: Para...	guest		61.146.48.106		
192.168.0.131		2016-01-13 20:33:23	Operation	Remote: Para...	guest		61.146.48.106		
Intersection		2016-01-13 20:33:23	Operation	Remote: Para...	guest		113.91.189.31		
10.18.137.24		2016-01-13 20:33:23	Operation	Remote: Para...	guest		61.146.48.106		
7708		2016-01-13 20:33:23	Operation	Remote: Para...	guest		101.223.198.217		
Major Type		2016-01-13 20:33:23	Operation	Remote: Para...	guest		110.228.6.151		
All		2016-01-13 20:33:22	Operation	Remote: Para...	guest		223.62.234.81		
Minor Type		2016-01-13 20:33:22	Operation	Remote: Para...	guest		110.228.6.151		
All		2016-01-13 20:33:22	Operation	Remote: Para...	guest		153.99.5.218		
Start Time:		2016-01-13 20:33:22	Operation	Remote: Para...	guest		101.13.19.70		
2016-01-13 00:00:00		2016-01-13 20:33:22	Operation	Remote: Para...	guest		117.136.8.232		
End Time:		2016-01-13 20:33:22	Operation	Remote: Login	guest		58.255.239.40		
2016-01-13 23:59:59		2016-01-13 20:33:22	Operation	Remote: Login	guest		106.219.26.132		
Search		2016-01-13 20:33:22	Operation	Remote: Para...	guest		101.223.198.217		

Total: 100000 Page: 1/5264 Item Per Page: Self-adaptive

ログ ファイルのバックアップ

目的:

CMS ログおよびリモート ログを含むログ ファイルは、お使いの PC にエクスポートできます。

方法:

1. 必要なログ ファイルを検索します。
2. [ログのバックアップ]をクリックし、バックアップ ログ ダイアログ ボックスを開きます。
3.  アイコンをクリックして、ローカルの保存パスを選択します。
4. オプションとして、エクスポートするログのエンコーディング フォーマットを選択することもできます。
5. [バックアップ]をクリックし、見つかったログ ファイルをエクスポートします。

Backup Log
✕

Backup File Path:

...

Encoding: ANSI

Backup
Cancel

ローカル設定

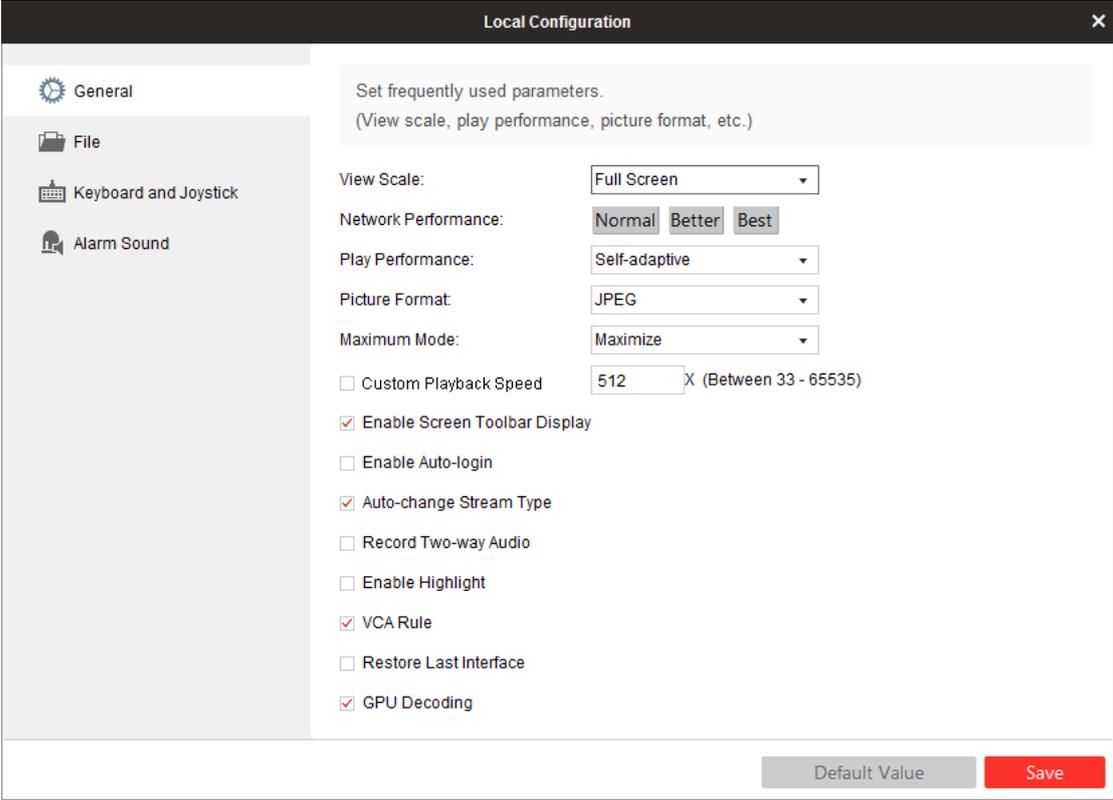
ローカル設定

目的:

一般パラメータ、ファイル保存先パス、キーボードおよびジョイスティックショートカットおよびアラーム音が設定できます。

コントロールパネルの  アイコンをクリックするか、

または[ツール] -> [ローカル設定]をクリックしてローカル設定ページを開きます。



The screenshot shows a window titled "Local Configuration" with a sidebar on the left containing menu items: General, File, Keyboard and Joystick, and Alarm Sound. The main area is titled "Set frequently used parameters. (View scale, play performance, picture format, etc.)" and contains the following settings:

- View Scale: Full Screen (dropdown)
- Network Performance: Normal, Better, Best (radio buttons)
- Play Performance: Self-adaptive (dropdown)
- Picture Format: JPEG (dropdown)
- Maximum Mode: Maximize (dropdown)
- Custom Playback Speed: 512 X (Between 33 - 65535) (checkbox)
- Enable Screen Toolbar Display (checkbox, checked)
- Enable Auto-login (checkbox)
- Auto-change Stream Type (checkbox, checked)
- Record Two-way Audio (checkbox)
- Enable Highlight (checkbox)
- VCA Rule (checkbox, checked)
- Restore Last Interface (checkbox)
- GPU Decoding (checkbox, checked)

At the bottom right, there are two buttons: "Default Value" and "Save".

注意: [デフォルト値]をクリックすると、すべてのローカル設定のデフォルトを復元できます。

一般設定

目的:

ビュースケール、ネットワークパフォーマンスなどを含む頻繁に利用されるパラメータを設定できます。

方法:

1. ローカル設定ページを開きます。
2. [一般]タブをクリックし、一般設定インターフェイスに入ります。
3. 一般パラメータを設定します。詳細については表 10.1 一般パラメータを参照してください。
4. **保存**をクリックして設定を保存します。

Set frequently used parameters.
(View scale, play performance, picture format, etc.)

View Scale:

Network Performance:

Play Performance:

Picture Format:

Maximum Mode:

HighSpeed Playback Set X (Between 33 - 65535)

Enable Screen Toolbar Display

Enable Auto-login

Auto-change Stream Type

Record Two-way Audio

Enable Highlight

VCA Rule

Restore Last Interface

GPU Decoding

表 10.1 一般パラメータ

パラメータ	説明
ビューの比率	ライブビューまたは再生におけるビデオのビューの比率です。全画面、4:3、16:9またはオリジナル解像度から設定できます。
ネットワークパフォーマンス	現在のネットワークのコンディションに応じて「標準」、「良好」、「最高」のいずれかに設定してください。

マンス	
再生パフォーマンス	ライブビデオ再生の性能です。PCのハードウェア性能に応じて「最小遅延」または「自動調整」のいずれかに設定できます。
画像形式	ライブビューまたは再生時のキャプチャー画像のフォーマットを設定します。
最大モード	最大化モードを最大化または全画面から選択します。最大化を選択した場合、ソフトウェアは最大表示になり、タスクバーが表示されます。全画面を選択した場合、ソフトウェアは全画面モードで表示されます。
カスタマイズ再生速度	再生速度を設定します。リモート再生ではビデオファイルをカスタマイズした速度で再生できます。
画面ツールバー表示を有効化	ライブビューまたはビデオ再生の各表示ウィンドウ上にマウスを動かした際に、各ウィンドウにツールバーを表示します。
自動ログインを有効化	iVMS-5200 プロのユーザ名とパスワードを保存し、コントロールクライアントに自動ログインできるようにします。
自動変更ストリームタイプ	ライブビューでのストリームタイプをウィンドウ分割および表示ウィンドウのサイズに応じて自動変更します。
双方向音声を録音	双方向音声中の音声を記録します。
ハイライトを有効化	ライブビューおよび再生時、検知したオブジェクトを緑色の四角形でマークします。
VCAルール	ライブビュー中にVCAルールを表示します。
最後に使ったインターフェイスを保存	クライアントの次回起動時、最後に開いていたインターフェイスを開きます。
GPUデコード	<p>ライブビューおよび再生時にGPUデコーディングを有効化しCPUリソースを節約します。</p> <p>注意:</p> <ul style="list-style-type: none"> お使いのPCがGPUデコードをサポートしている必要があります。 GPUデコーディングを有効化すると、以降、新たに開始されるライブビューおよび再生はGPUデコーディングを利用します。 GPUデコーディング有効化後、クライアントの画面表示がぼやける場合、GPUデコーディングを無効にしてください。

ファイル保存先パス設定

目的:

マニュアルまたはダウンロードされた録画ファイル、キャプチャされた画像および双方向音声の録音は、お使いの PC に保存されます。これらのファイルの保存先パスを設定できます。 マニュアル録画および画像を FTP サーバに保存する際に用いられる FTP 設定も変更できます。

方法:

1. ローカル設定ページを開きます。
2. [ファイル]タブをクリックし、ファイル保存先パス設定インターフェイスに入ります。
3. アイコンをクリックして、関連するファイルへのローカルパスを選択します。
 - **ビデオファイルの保存パス:** ビデオ ファイルとはライブ ビュー中にマニュアル録画したファイル、再生中にクリップしたビデオ、再生中にダウンロードされた録画ファイルおよびダウンロード センター ページでダウンロードされた録画ファイルのことを指します。
 - **画像の保存パス:** 画像とはライブ ビューおよび再生時にキャプチャされた画像のことを指します。
 - **音声ファイルの保存パス:** 音声ファイルとは双方向音声中に録音された音声ファイルのことを指します。
4. FTP 設定については、FTP サーバの IP アドレス、ポート番号、ログインユーザ名とパスワードを入力し、アップロードされる画像およびビデオ ファイルの保存先パスを指定してください。
5. **保存**をクリックして設定を保存します。

Set file saving path,
and FTP parameters, etc.

Saving Path of Video File:

Saving Path of Pictures:

Saving Path of Audio File:

FTP Settings

IP Address: Port:

User Name: Password:

Saving Path:

キーボードおよびジョイスティック ショートカット設定

目的:

DS-1003KI および DS-1004KI キーボード、PC キーボード、USB ジョイスティックおよび USB キーボード(DS-1005KI)ではシステムで頻繁に利用される機能が提供できます。よく用いる操作を迅速かつ簡単に行えるように、PC キーボード、USB ジョイスティックおよび USB キーボードのショートカットを設定できます。

注意: DS-1003KI、DS-1004KI および DS-1005KI キーボードを、コントロールクライアントが実行されている PC に接続する際の詳細な手順については、各キーボードのユーザ マニュアルを参照してください。

方法:

1. ローカル設定ページを開きます。
2. [キーボードとジョイスティック]タブをクリックして、キーボードとジョイスティック設定インターフェイスを開きます。
3. キーボードの場合: コントロールクライアントがインストールされた PC に DS-1003KI または DS-1004KI キーボードが接続されている場合、ドロップダウンリストから COM ポートを選択します。
4. PC キーボード、USB ジョイスティックおよび USB キーボードの場合:
 - I. 特定の機能をリストから選択します。
 - II. PC キーボード、USB ジョイスティックまたは USB キーボードの欄の下にあるアイテムをダブルクリックします。
 - III. 複合キーの操作または数字をドロップダウンリストから選択し、PC キーボード、USB ジョイスティックまたは USB キーボードの機能に対するショートカットとして設定します。
5. **保存**をクリックして設定を保存します。

Configuration DS-1003KI/1004KI Keyboard COM No,
PC keyboard and USB joystick shortcuts, etc.

DS-1003KI/1004KI Keyboard Settings:

DS-1003KI/1004KI Keyboard COM No:

PC Keyboard and USB Joystick Settings:

 Set up shortcuts of PC keyboard and USB joystick for frequently used functions of the system.

Index	Function	PC Keyboard	USB Joystick	USB Keyboard
1	Capture	Ctrl + Print Screen		Right Button
2	Fast Forward			
3	Slow Forward			
4	Focus (+)	Home		
5	Focus (-)	End		
6	Zoom in (+)	+		Clockwise Rotate
7	Zoom Out (-)	-		Counterclockwise Rotate
8	IRIS (+)	Page Up		
9	IRIS (-)	Page Down		
10	Light on			

アラーム音設定

目的:

動体検知アラーム、ビデオ異常アラームなどのアラームがトリガーされた場合、クライアントは音声警報を発するように設定でき、警報となる音声の設定も行えます。

方法:

1. ローカル設定ページを開きます。
2. [アラーム音]タブをクリックし、アラーム音設定インターフェイスに入ります。
3. ボイス エンジンまたはローカル音声ファイルのラジオボタンを選択します。

注意:

- ボイス エンジンについては、当該機能がお客様の PC のオペレーティング システムにおいてサポートされている必要があります。ボイス エンジンを選択した場合、アラームがトリガーされると Web クライアントで設定したボイス テキストが再生されます。

- ローカル音声ファイルの場合、ステップ4およびステップ5にしたがってください。
4.  アイコンをクリックして、アラームごとにローカルパス上の音声ファイルを選択します。
 5. オプションとして、 アイコンをクリックし、音声ファイルのテストを行えます。
 6. **保存**をクリックして設定を保存します。

注意: 音声ファイルのフォーマットは*.wav だけが利用できます。

Configuring the alarm sound of iVMS-5200 Professional,
Supporting the configuration of voice engine and local audio file.

Voice Engine (need support by the OS)

Local Audio Files

Motion Detection:	<input type="text" value="motion.wav"/>	<input type="button" value="..."/>	
Video/Audio Exception:	<input type="text" value="video_abnormal.wav"/>	<input type="button" value="..."/>	
Alarm Input:	<input type="text" value="alarm_input.wav"/>	<input type="button" value="..."/>	
Device Exception:	<input type="text" value="device_abnormal.wav"/>	<input type="button" value="..."/>	
VCA Alarm:	<input type="text" value="intel_alarm.wav"/>	<input type="button" value="..."/>	
Custom Alarm:	<input type="text" value="custom_alarm.wav"/>	<input type="button" value="..."/>	
Access Control Alarm:	<input type="text" value="door_alarm.wav"/>	<input type="button" value="..."/>	
POS Alarm:	<input type="text" value="pos_alarm.wav"/>	<input type="button" value="..."/>	

状態検知

状態検知

目的:

サーバ稼働ステータス、エンコーディング デバイスのオンラインステータス、カメラの録画スケジュールのステータスなど、サーバ、接続されたデバイス、デバイスのカメラのステータスが表示されます。ステータスの表示には2種類のビューが提供されています: 物理ビューはサーバおよびデバイスのステータスを表示し、論理ビューはエリアのカメラのステータスを表示します。

コントロールパネルのアイコンをクリックするか、

または[ツール] -> [状態検知]をクリックして状態検知ページを開きます。ステータス オーバービューではすべてのサーバモジュール、デバイス、カメラ、シグナルステータスおよび録画スケジュールの設定と録画ステータスが表示されます。

正常な状態でないリソースについては、対応するフィールド(例: オフライン、異常)をクリックすることで簡単に確認できます。



物理ビュー

方法:

1. 状態検知ページを開きます。
2. [物理ビュー]をクリックします。サーバの稼動ステータスおよびデバイスとサーバのオンラインステータスを確認できます。
3. デバイス ツリー パネル上で選択したデバイスまたはサーバをクリックすると、その種別のデバイスまたはサーバの情報が表示されます。

注意: リスト表示される情報はデバイスまたはサーバに応じて異なります。

例: デバイス ツリー パネル上でエンコーディング デバイスを選択した場合、追加されたエンコーディング デバイスすべてが表示されます。デバイスのニックネーム、IP アドレスまたはドメイン名、シリアル番号、ネットワーク ステータスおよび HDD ステータスが確認できます。

4. またはオプションとして、[異常のみ]チェックボックスをチェックして、異常状態になっているデバイスまたはサーバのみを表示することもできます。[フィルタ]フィールドにキーワードを入力してデバイスまたはサーバを検索することもできます。

Status Overview	Nickname	Address/Domain Name	Device Serial No.	Net Status	HDD Status
Physical View	1.2.3.4	1.2.3.4		🟢	🟢
Encoding Device	10.18.133.103	10.18.133.103	DS-2CD5124FWD-48420150401CCWR510903...	🟢	🟢
Central Storage Server	10.18.133.11	10.18.133.11	DS-2CD5024FWD-AF20150407CCWR511366...	🟢	🟢
Stream Media Server	10.18.133.45	10.18.133.45	DS-2CD2842FWD-422015110988WR554236136	🟢	🟢
	10.18.133.46	10.18.133.46	DS-2CD4A25FWD-IDH520150914CCWR54246	🟢	🟢
	10.18.133.6	10.18.133.6	DS-2CD4032FWD-A20140809CCWR475800953	🟢	🟢
	10.18.133.8	10.18.133.8	DS-2CD4A25FWD-IDH520150821CCWR53733...	🟢	🟢
	10.18.147.135	10.18.147.135	DS-8116HQH-SH1620151102AAWR55236507...	🟢	🟢
	10.18.147.5	10.18.147.5	DS-2CD632F-4/S20150529CCWR520295889	🟢	🟢
	2.1.3.5	2.1.3.5		🟢	🟢
	2.2.1.1	2.2.1.1		🟢	🟢
	2.3.3.1	2.3.3.1		🟢	🟢
	2.3.3.3	2.3.3.3		🟢	🟢
	3.2.1.4	3.2.1.4		🟢	🟢
	Bosch	10.18.133.3	404540120818010087	🟢	🟢
	dahua	172.10.42.112	PZCALW352W00134	🟢	🟢
	Fisheye	10.33.3.159	DS-2CD5362F-4/S20140529CCH467054683	🟢	🟢
	Speed	10.16.1.250	20141119CCWR490340679B	🟢	🟢

論理ビュー

方法:

1. 状態検知ページを開きます。
2. [論理ビュー]をクリックします。オンライン ステータス、シグナル ステータスおよび録画スケジュールが設定されたカメラの録画ステータスを確認できます。
3. エリア ツリー パネル上でエリアを選択した場合、そのエリアのカメラの情報が表示されます。

アドレス/ドメイン名: カメラが登録されたデバイスの IP アドレスまたはドメイン名です。

デバイスシリアル番号: カメラが登録されたデバイスのシリアル番号です。

接続: 接続数とは、デバイスから取得されているライブビュー、ネットワーク経由の再生または録画のストリーム数を指します。もし接続数が4であれば、それはそのデバイスからリモートライブビュー、再生または録画のストリームが4つ取得されていることを意味します。ストリームメディアサーバがフィールドに表示されている場合、デバイスからのストリームはストリームメディアサーバ経由で取得されていることを意味します。

4. オプションとして、**[異常のみ]**チェックボックスをチェックして、異常状態になっているカメラのみを表示することもできます。**[フィルタ]**フィールドにキーワードを入力してカメラを検索することもできます。

System Resource	Control Center_Camera(18)		Exception Only	Recording Sched...	Filter			
Status Overview	Nickname	Address/Domain Name	Device Serial No	Area	Connection	Net Status	Signal Status	Record Schedu...
Physical View	Camera 02	10.18.147.135	DS-8116HQH-SH1620151102AAWR55236...	10.18.1...	Connection Number 2			
Logical View	Camera 03	10.18.147.135	DS-8116HQH-SH1620151102AAWR55236...	10.18.1...	Connection Number 2			
Search	Camera 04	10.18.147.135	DS-8116HQH-SH1620151102AAWR55236...	10.18.1...	Connection Number 1			
Control Center	Camera1_10.18.133.103	10.18.133.103	IDS-2CD6124FWD-4H20150401CCWR510...	10.18.1...	Connection Number 6			
10.18.147.137	Camera1_10.18.133.11	10.18.133.11	IDS-2CD6024FWD-AF20150407CCWR511...	10.18.1...	Connection Number 13			
10.18.147.135	Camera1_10.18.133.45	10.18.133.45	DS-2CD2042FWD-4Z20151109BBWR5542...	10.18.1...	Connection Number 4			
10.18.133.45	Camera1_10.18.133.6	10.18.133.6	DS-2CD4032FWD-A20140809CCWR47580...	10.18.1...	Connection Number 5			
10.18.133.6	Camera1_Bosch	10.18.133.3	404540120818010087	Bosch	Stream Media Server...			
10.18.133.11	Camera1_dahua	172.10.42.112	PZC4LW352W00134	dahua	Stream Media Server...			
10.18.133.103	Camera1_Speed	10.16.1.250	20141119CCWR490340679B	Speed	Connection Number 3			
Bosch	Camera2_10.18.147.5	10.18.147.5	DS-2CD63C2F-IVS20150529CCWR520295...	10.18.1...	Connection Number 2			
dahua	Camera2_Fisheye	10.33.3.159	DS-2CD6362F-IVS20140529CCH467064...	Fisheye	Connection Number 0			
Speed	Camera3_10.18.147.5	10.18.147.5	DS-2CD63C2F-IVS20150529CCWR520295...	10.18.1...	Connection Number 2			
Fisheye	Camera3_Fisheye	10.33.3.159	DS-2CD6362F-IVS20140529CCH467064...	Fisheye	Connection Number 0			
	Camera4_10.18.147.5	10.18.147.5	DS-2CD63C2F-IVS20150529CCWR520295...	10.18.1...	Connection Number 2			
	Camera4_Fisheye	10.33.3.159	DS-2CD6362F-IVS20140529CCH467064...	Fisheye	Connection Number 0			
	IPCamera 01	10.18.147.5	DS-2CD63C2F-IVS20150529CCWR520295...	10.18.1...	Connection Number 10			
	IPCamera 1	10.18.147.135	DS-8116HQH-SH1620151102AAWR55236...	10.18.1...	Connection Number 2			

索引

E

E マップの追加 63

E マップ管理 63

I

iVMS-5200 プロのアラーム情報 106

P

POS ライブ ビューの開始と停止を参照してください 88

POS ライブビュー 85

POS 検索 91

POS 再生 55

V

VCA 再生 58

あ

アラームセンター 101

アラーム音設定 120

い

イベントのアラーム情報 102

イベント再生 54

インスタント再生 34

か

カスタムウィンドウ分割 37

き

キーボードおよびジョイスティック ショートカット設定 118

た

ダウンロードセンター 107

ひ

ヒートマップ 99

ビジネスインテリジェンス 81

ふ

ファイル保存先パス設定 117

フィッシュアイ モードでのライブビュー 38

フィッシュアイ再生 60

プリセット機能 78

ほ

ホットスポットのプレビュー 72

ホットスポットの追加 67

ホットスポットの編集 71

ホットスポット機能 66

ホットリージョンのプレビュー 77

ホットリージョンの追加 75

ホットリージョンの編集 77

ホットリージョン機能 75

ら

ライブビューでの PTZ 操作 26

ライブビューでのオートスイッチ
25

ライブビューのその他の機能 43

ライブビューの開始と停止 22

ライブビュー 19

ろ

ローカル設定 115

ログイン 15

ログ管理 111

漢字

一般設定 115

遠隔再生 45

機能モジュール 9

手動録画とキャプチャ 29

状態検知 123

人数カウント統計 97

説明 9

通常再生 46

動作環境 9

同期再生 57

物理ビュー 123

論理ビュー 124